

高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

平成28年1月
高山市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の期間	1
3 調査の項目	1
4 調査の方法	1
5 回収結果	1
6 標本の構成	2
7 その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

1 高山市への「誇り」や「愛着」	3
2 高山市への定住意向	7
3 高山市の暮らしやすさ	15
4 日常生活での不安	21
5 働く場としての高山市の魅力	27

2 高山市の市政運営について

1 市政運営への関心	33
2 今後の重要課題	36
3 高山市の取り組みに対する満足度と重要度	43

3 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

1 町内会への加入状況	48
2 まちづくり協議会の認知度	55
3 まちづくり活動に参加しやすくするための条件	58
4 重点的に協働で取り組むべき分野	63
5 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの	68

4 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

自由記述	73
------	----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、高山市第七次総合計画期間における市民意識の変化の比較分析のため、市民満足度の視点から評価検証を行うことを目的に実施

2 調査の期間

平成27年5月16日～6月10日

3 調査の項目

高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度と重要度

市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

- ・町内会への加入状況
- ・まちづくり協議会の認知度
- ・まちづくり活動に参加しやすくするための条件
- ・重点的に協働で取り組むべき分野
- ・協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

4 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布・回収、無記名式
調査対象	18歳以上の市民、3,000人
抽出方法	平成27年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数	3,000人
回収数	1,399人
回収率	46.6%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	564	40.3
	女性	773	55.3
	無回答	62	4.4
年齢	10・20代	87	6.2
	30代	137	9.8
	40代	200	14.3
	50代	215	15.4
	60代	334	23.9
	70代以上	409	29.2
	無回答	17	1.2
	居住地域	高山地域	909
丹生川地域		80	5.7
清見地域		47	3.4
荘川地域		20	1.4
一之宮地域		45	3.2
久々野地域		66	4.7
朝日地域		33	2.4
高根地域		14	1.0
国府地域		102	7.3
上宝・奥飛騨温泉郷地域		63	4.5
無回答		20	1.4
家族構成	単身世帯	121	8.7
	夫婦のみ	303	21.7
	二世帯世帯	582	41.6
	(うち中学生以下の子と同居)	(197)	(14.1)
	三世帯世帯	331	23.7
	(うち中学生以下の子と同居)	(189)	(13.5)
	その他(※1)	28	2.0
無回答	34	2.4	

		件数 (件)	構成比 (%)
職業	農林畜産業	91	6.5
	自営業	180	12.9
	会社員・公務員・団体職員	359	25.7
	パート・アルバイト・内職	235	16.8
	家事従事者	114	8.2
	学生	22	1.6
	無職	350	25.0
	その他(※2)	27	1.9
定住年数	無回答	21	1.5
	1年未満	11	0.8
	1年以上～5年未満	42	3.0
	5年以上～10年未満	56	4.0
	10年以上～20年未満	133	9.5
	20年以上	1,143	81.7
居住形態	無回答	14	1.0
	持ち家(分譲マンション含む)	1,225	87.6
	借家(アパート含む)	118	8.4
	間借	5	0.4
	社宅・寮	22	1.6
	その他(※3)	12	0.9
無回答	17	1.2	

「その他」の内容

※1 四世代世帯、兄弟のみ など

※2 会社役員、不動産賃貸 など

※3 宗教法人所有の寺に居住、老人施設入所中 など

7 その他

この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

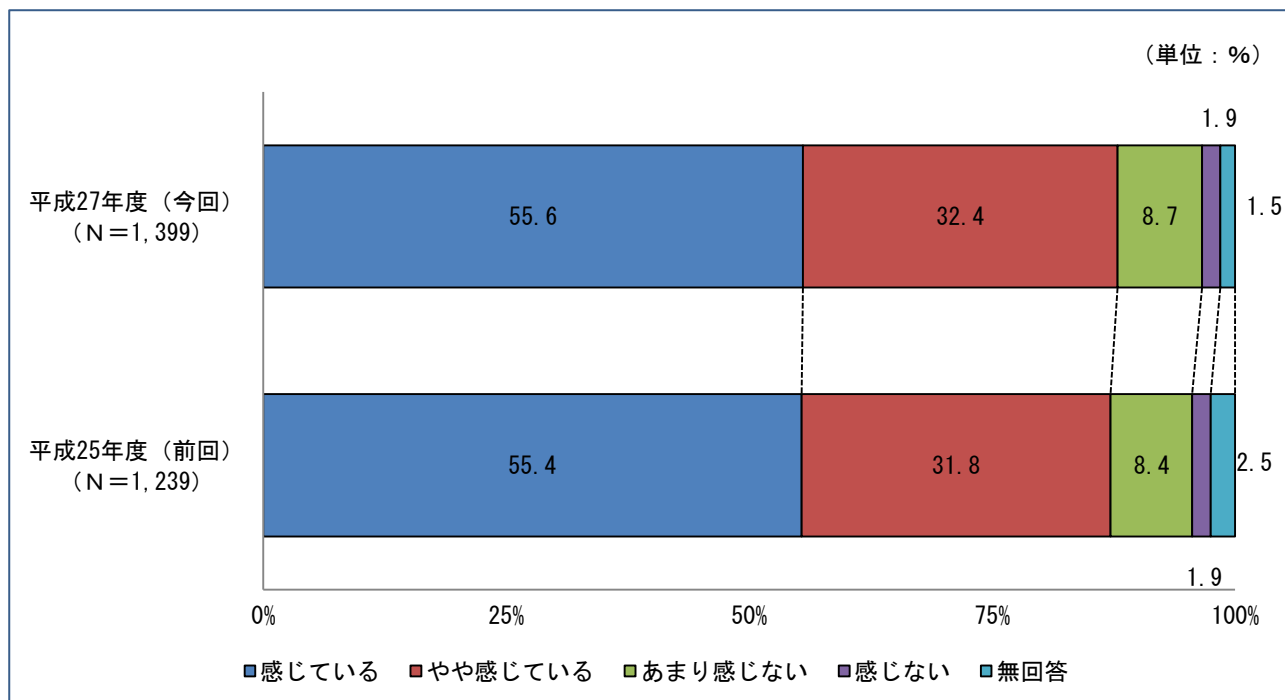
1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると88.0%を占め、前回（87.2%）とほぼ同じ高い割合を占めている。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	778	55.6
やや感じている	453	32.4
あまり感じない	121	8.7
感じない	26	1.9
無回答	21	1.5
計	1,399	

（標本数：1,399件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)					無回答
			感じている	やや感じている	ない	あまり感じない	感じない	
年齢	10代・20代	87	37.9	46.0	11.5	4.6	0.0	
	30代	137	48.2	41.6	5.1	4.4	0.7	
	40代	200	51.0	35.5	11.0	2.0	0.5	
	50代	215	55.3	36.7	7.4	0.5	0.0	
	60代	334	60.5	29.9	7.2	2.1	0.3	
	70代以上	409	61.6	25.7	10.3	1.0	1.5	
居住地域	高山地域	909	56.9	33.0	7.3	2.0	0.9	
	丹生川地域	80	71.3	16.3	12.5	0.0	0.0	
	清見地域	47	57.4	36.2	6.4	0.0	0.0	
	荘川地域	20	45.0	45.0	5.0	5.0	0.0	
	一之宮地域	45	53.3	35.6	6.7	4.4	0.0	
	久々野地域	66	60.6	24.2	10.6	3.0	1.5	
	朝日地域	33	42.4	51.5	6.1	0.0	0.0	
	高根地域	14	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	
	国府地域	102	50.0	35.3	13.7	1.0	0.0	
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	47.6	33.3	15.9	3.2	0.0	
定住年数	1年未満	11	27.3	63.6	9.1	0.0	81.8	
	1年以上～5年未満	42	23.8	52.4	11.9	11.9	0.0	
	5年以上～10年未満	56	50.0	32.1	14.3	1.8	0.0	
	10年以上～20年未満	133	45.1	39.8	12.0	2.3	0.0	
	20年以上	1,143	59.2	30.8	7.9	1.5	0.0	

【年齢別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、60代が最も高く（90.4%）、10代・20代が最も低い（83.9%）。

【居住地域別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、朝日地域が最も高く（93.9%）、高根地域が最も低い（71.5%）。

【定住年数別】

・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、1年未満が最も高く（90.9%）、1年以上～5年未満が最も低い（76.2%）。

・20年以上は他の定住年数に比べ、「感じている」の割合が高い。

1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

・「自然環境」の割合が最も高い。

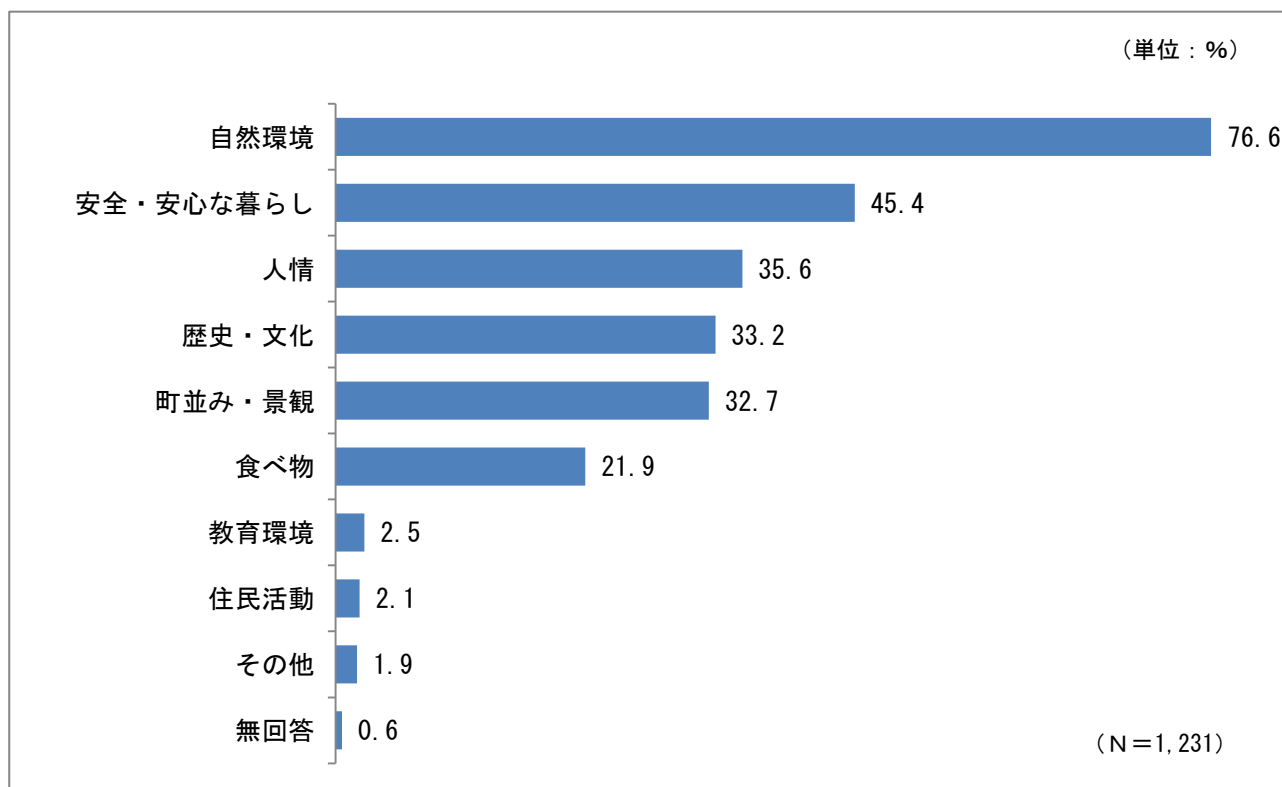
問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
自然環境	943	76.6
安全・安心な暮らし	559	45.4
人情	438	35.6
歴史・文化	409	33.2
町並み・景観	402	32.7
食べ物	269	21.9
教育環境	31	2.5
住民活動	26	2.1
その他 (※)	23	1.9
無回答	7	0.6
計	3,107	

(標本数：1,231件)

※「その他」の内容

- ・「生まれ育った場所だから」、「子育て支援の充実」、「近隣とのコミュニケーション」、「子どもたちが良い子」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	人情	歴史・文化	町並み・景観	食べ物	教育環境	住民活動	その他	無回答
年齢	10代・20代	73	74.0	32.9	37.0	12.3	53.4	35.6	2.7	2.7	5.5	0.0
	30代	123	69.1	39.8	30.9	25.2	48.0	24.4	4.1	1.6	1.6	0.0
	40代	173	72.3	37.0	31.8	34.7	36.4	23.7	6.4	0.6	3.5	1.2
	50代	198	78.8	41.9	30.3	41.4	39.4	24.7	2.5	0.5	0.5	0.5
	60代	302	80.8	52.0	33.4	36.4	26.5	19.5	0.7	4.0	1.3	0.7
	70代以上	357	77.0	50.4	43.4	32.5	23.0	17.6	1.7	2.2	1.4	0.6
居住地域	高山地域	817	72.8	46.5	31.7	35.5	38.9	23.5	1.8	1.7	2.1	0.5
	丹生川地域	70	87.1	42.9	30.0	38.6	27.1	15.7	5.7	0.0	1.4	0.0
	清見地域	44	84.1	43.2	45.5	29.5	13.6	15.9	6.8	2.3	0.0	2.3
	荘川地域	18	88.9	44.4	61.1	38.9	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0
	一之宮地域	40	95.0	50.0	35.0	30.0	27.5	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	久々野地域	56	76.8	37.5	46.4	28.6	16.1	26.8	3.6	8.9	1.8	0.0
	朝日地域	31	83.9	38.7	51.6	16.1	29.0	25.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	高根地域	10	70.0	20.0	50.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	国府地域	87	80.5	46.0	41.4	28.7	21.8	20.7	3.4	2.3	1.1	1.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域	51	86.3	47.1	54.9	13.7	11.8	15.7	7.8	2.0	2.0	2.0	
定住年数	1年未満	10	100.0	30.0	20.0	10.0	80.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0
	1年以上～5年未満	32	71.9	37.5	25.0	31.3	40.6	18.8	6.3	6.3	6.3	3.1
	5年以上～10年未満	46	69.6	37.0	37.0	32.6	30.4	21.7	8.7	6.5	4.3	0.0
	10年以上～20年未満	113	75.2	41.6	30.1	25.7	38.1	31.9	2.7	2.7	3.5	0.0
	20年以上	1,029	77.0	46.6	36.5	34.4	31.5	20.9	2.0	1.7	1.3	0.6

【年齢別】

- ・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・10代・20代は他の年齢に比べ「食べ物」の割合が高い。
- ・60代及び70代は他の年齢に比べ「安全・安心な暮らし」の割合が高い。

【居住地域別】

- ・全ての居住地域で「自然環境」の割合が最も高い。

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「自然環境」の割合が最も高い。

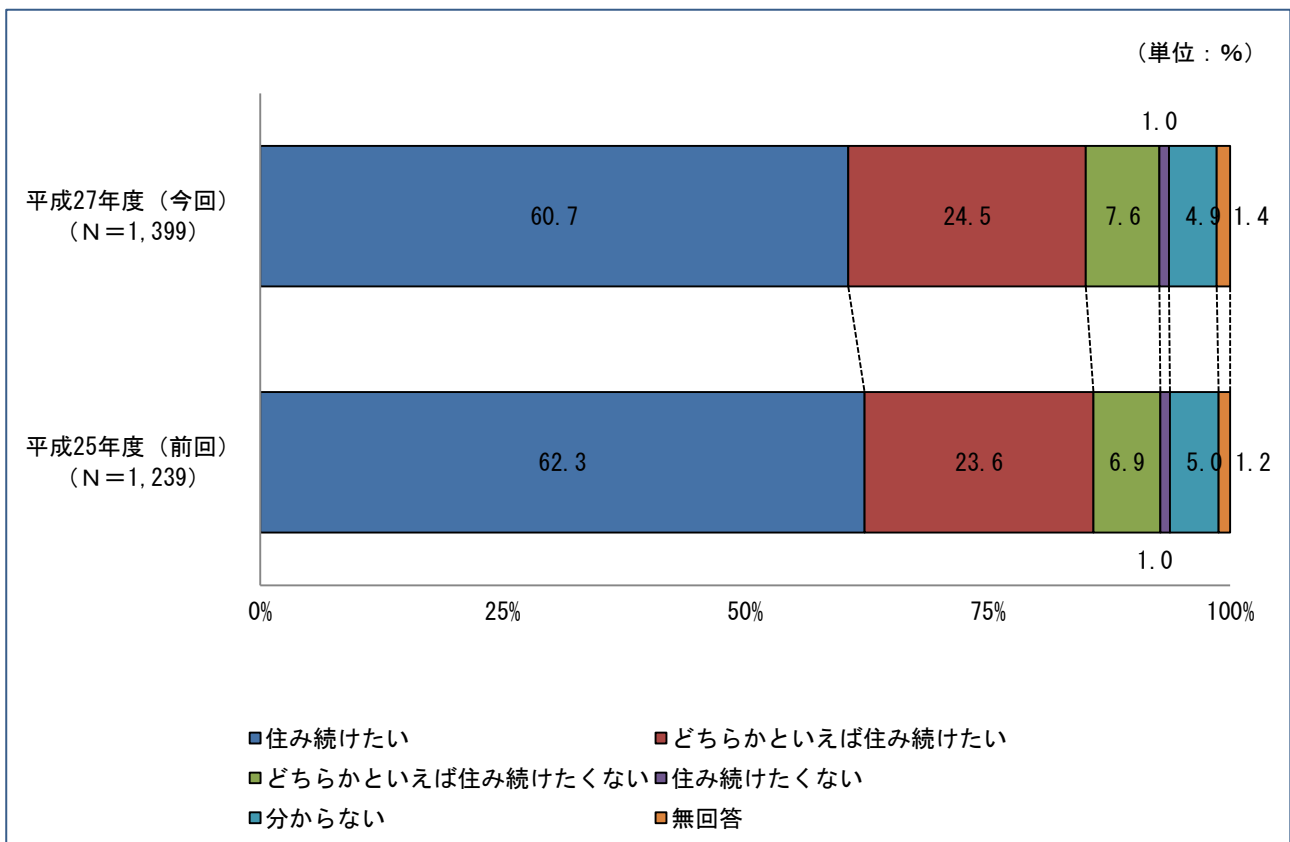
2 高山市への定住意向

- ・「住みたい」の割合が最も高い。
- ・「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせると 85.2%を占め、前回（85.9%）とほぼ同じ高い割合を占めている。

問2 あなたは、これからも高山市に住みたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住みたい	849	60.7
どちらかといえば住みたい	343	24.5
どちらかといえば住みたくない	106	7.6
住みたくない	14	1
分からない	68	4.9
無回答	19	1.4
計	1,399	

(標本数：1,399件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	87	34.5	31.0	16.1	3.4	12.6	2.3
	30代	137	54.7	28.5	6.6	0.7	8.8	0.7
	40代	200	48.5	34.5	8.0	2.5	6.5	0.0
	50代	215	54.4	31.2	11.6	0.0	2.3	0.5
	60代	334	63.5	24.6	7.2	0.9	3.6	0.3
	70代以上	409	76.8	14.2	4.4	0.5	3.7	0.5
居住地域	高山地域	909	61.9	25.0	6.9	1.2	4.5	0.4
	丹生川地域	80	60.0	26.3	10.0	0.0	3.8	0.0
	清見地域	47	63.8	19.1	12.8	0.0	4.3	0.0
	荘川地域	20	50.0	20.0	15.0	5.0	10.0	0.0
	一之宮地域	45	68.9	13.3	11.1	0.0	6.7	0.0
	久々野地域	66	63.6	21.2	4.5	0.0	6.1	4.5
	朝日地域	33	48.5	24.2	15.2	0.0	12.1	0.0
	高根地域	14	42.9	42.9	7.1	0.0	7.1	0.0
	国府地域	102	62.7	25.5	4.9	1.0	5.9	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	52.4	31.7	11.1	1.6	3.2	0.0

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、70代以上が最も高く（91.0%）、10代・20代が最も低い（65.5%）。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、国府地域が最も高く（88.2%）、荘川地域が最も低い（70.0%）。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	11	27.3	27.3	18.2	0.0	27.3	0.0
	1年以上～5年未満	42	28.6	28.6	19.0	9.5	14.3	0.0
	5年以上～10年未満	56	46.4	32.1	16.1	0.0	5.4	0.0
	10年以上～20年未満	133	43.6	33.8	11.3	1.5	9.0	0.8
	20年以上	1,143	65.6	23.2	6.3	0.7	3.7	0.5
居住形態	持ち家(分譲マンション含む)	1,225	63.4	23.8	7.4	0.7	4.1	0.6
	借家(アパート含む)	118	43.2	33.1	5.9	5.1	12.7	0.0
	間借	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・寮	22	31.8	45.5	13.6	0.0	9.1	0.0
	その他	12	66.7	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、20年以上が最も高く(88.8%)、1年未満が最も低い(54.6%)。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、持ち家が最も高く(87.2%)、借家(アパート含む)が最も低い(76.3%)。

2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・次いで、「市内に雇用の場が少ない」の割合が高い。

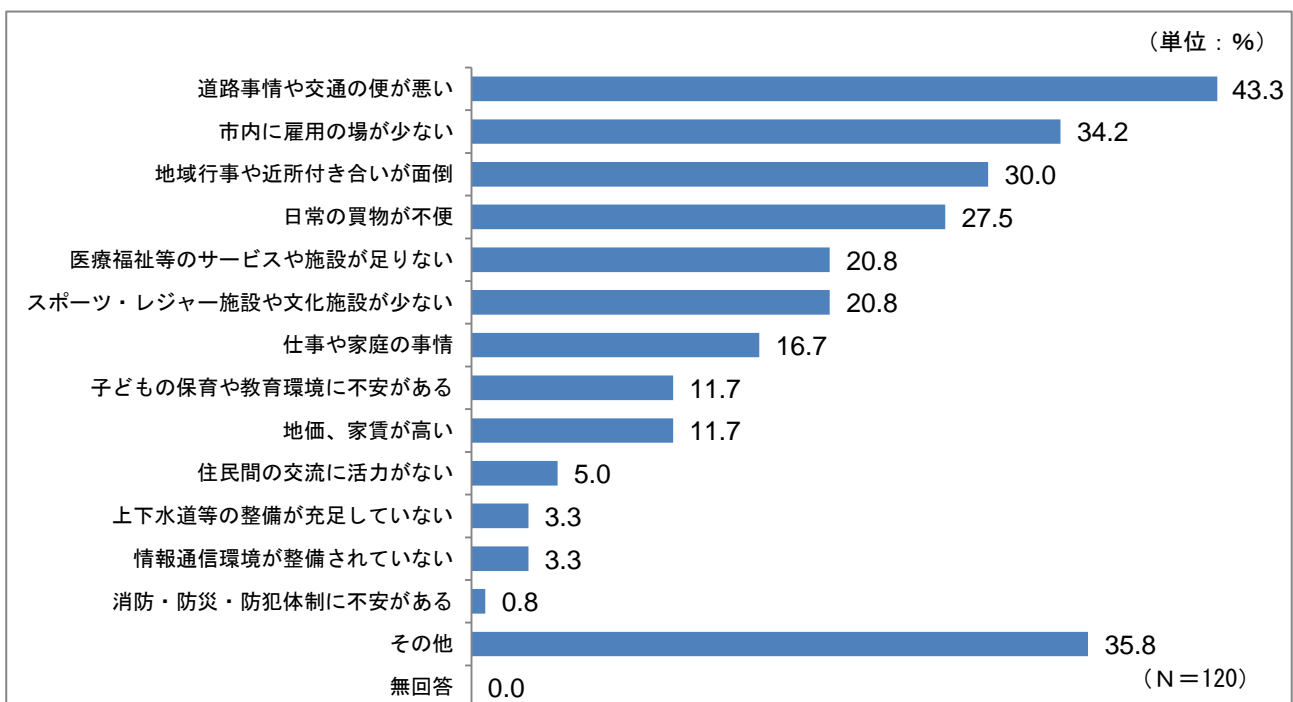
問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由はなんですか。（3つまで○印）

	回答数（件）	回答率（％）
道路事情や交通の便が悪い	52	43.3
市内に雇用の場が少ない	41	34.2
地域行事や近所付き合いが面倒	36	30.0
日常の買物が不便	33	27.5
医療福祉等のサービスや施設が足りない	25	20.8
スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	25	20.8
仕事や家庭の事情	20	16.7
子どもの保育や教育環境に不安がある	14	11.7
地価、家賃が高い	14	11.7
住民間の交流に活力がない	6	5.0
上下水道等の整備が充足していない	4	3.3
情報通信環境が整備されていない	4	3.3
消防・防災・防犯体制に不安がある	1	0.8
その他（※）	43	35.8
無回答	0.0	0.0
計	318	

（標本数：120件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦勞、暖房費等の負担など）」、「老後の生活が不安」、
- 「賃金水準が低い」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		17	10	21	25	27	20
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	29.4	40.0	47.6	56.0	51.9	25.0
	市内に雇用の場が少ない	70.6	40.0	23.8	40.0	11.1	35.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	11.8	20.0	33.3	20.0	51.9	30.0
	日常の買物が不便	41.2	40.0	9.5	20.0	33.3	30.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	11.8	20.0	14.3	40.0	18.5	15.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	29.4	40.0	33.3	12.0	14.8	10.0
	仕事や家庭の事情	17.6	0.0	14.3	28.0	11.1	20.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	29.4	50.0	9.5	4.0	0.0	5.0
	地価、家賃が高い	17.6	20.0	9.5	16.0	3.7	10.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	4.0	3.7	20.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	4.0	7.4	5.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	15.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	その他	35.3	10.0	42.9	36.0	48.1	25.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【年齢別】

- ・ 10代・20代及び70代以上は「市内に雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 30代は「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が最も高い。
- ・ 40代から60代は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い（60代は「地域行事や近所付き合いが面倒」と同率）。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		74	8	6	4	5	3	5	1	6	8
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	41.9	50.0	50.0	50.0	80.0	66.7	0.0	100.0	16.7	50.0
	市内に雇用の場が少ない	35.1	50.0	16.7	0.0	20.0	66.7	60.0	0.0	50.0	12.5
	地域行事や近所付き合いが面倒	28.4	12.5	33.3	50.0	40.0	66.7	40.0	0.0	16.7	37.5
	日常の買物が不便	23.0	37.5	66.7	25.0	20.0	0.0	20.0	100.0	16.7	50.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	17.6	12.5	0.0	25.0	0.0	100.0	20.0	100.0	33.3	37.5
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	23.0	25.0	16.7	0.0	40.0	33.3	20.0	0.0	16.7	0.0
	仕事や家庭の事情	17.6	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	33.3	25.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	10.8	25.0	0.0	0.0	0.0	33.3	40.0	0.0	0.0	12.5
	地価、家賃が高い	17.6	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	4.1	0.0	0.0	25.0	20.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	4.1	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	1.4	0.0	16.7	0.0	20.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	37.8	25.0	33.3	50.0	40.0	0.0	40.0	0.0	50.0	25.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

（高山地域を除く居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。）

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		2	12	9	17	80
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	50.0	33.3	66.7	35.3	43.8
	市内に雇用の場が少ない	100.0	25.0	22.2	41.2	33.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	0.0	33.3	11.8	38.8
	日常の買物が不便	0.0	33.3	44.4	29.4	25.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	8.3	11.1	23.5	23.8
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	50.0	25.0	22.2	23.5	18.8
	仕事や家庭の事情	0.0	33.3	0.0	5.9	18.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	100.0	25.0	11.1	17.6	6.3
	地価、家賃が高い	0.0	16.7	33.3	5.9	10.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	11.1	11.8	1.3
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	33.3	22.2	47.1	36.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【定住年数別】

- ・ 1年未満は「市内に雇用の場が少ない」、「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～5年未満は「市内に雇用の場が少ない」、「日常の買物が不便」、「仕事や家庭の事情」の割合が最も高い。
- ・ 5年以上～10年未満、20年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 10年以上～20年未満は、「市内に雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		ン含む) 持ち家 (分譲マンシヨ	借家 (アパート含む)	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		99	13	1	3	3
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	42.4	53.8	0.0	66.7	33.3
	市内に雇用の場が少ない	37.4	23.1	0.0	0.0	33.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	34.3	7.7	0.0	0.0	33.3
	日常の買物が不便	28.3	15.4	0.0	66.7	33.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	23.2	0.0	0.0	33.3	33.3
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	22.2	23.1	0.0	0.0	0.0
	仕事や家庭の事情	15.2	30.8	0.0	0.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	10.1	23.1	100.0	0.0	0.0
	地価、家賃が高い	7.1	30.8	0.0	33.3	33.3
	住民間の交流に活力がない	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	その他	32.3	38.5	100.0	66.7	66.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住形態別】

- ・間借を除く居住形態では「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

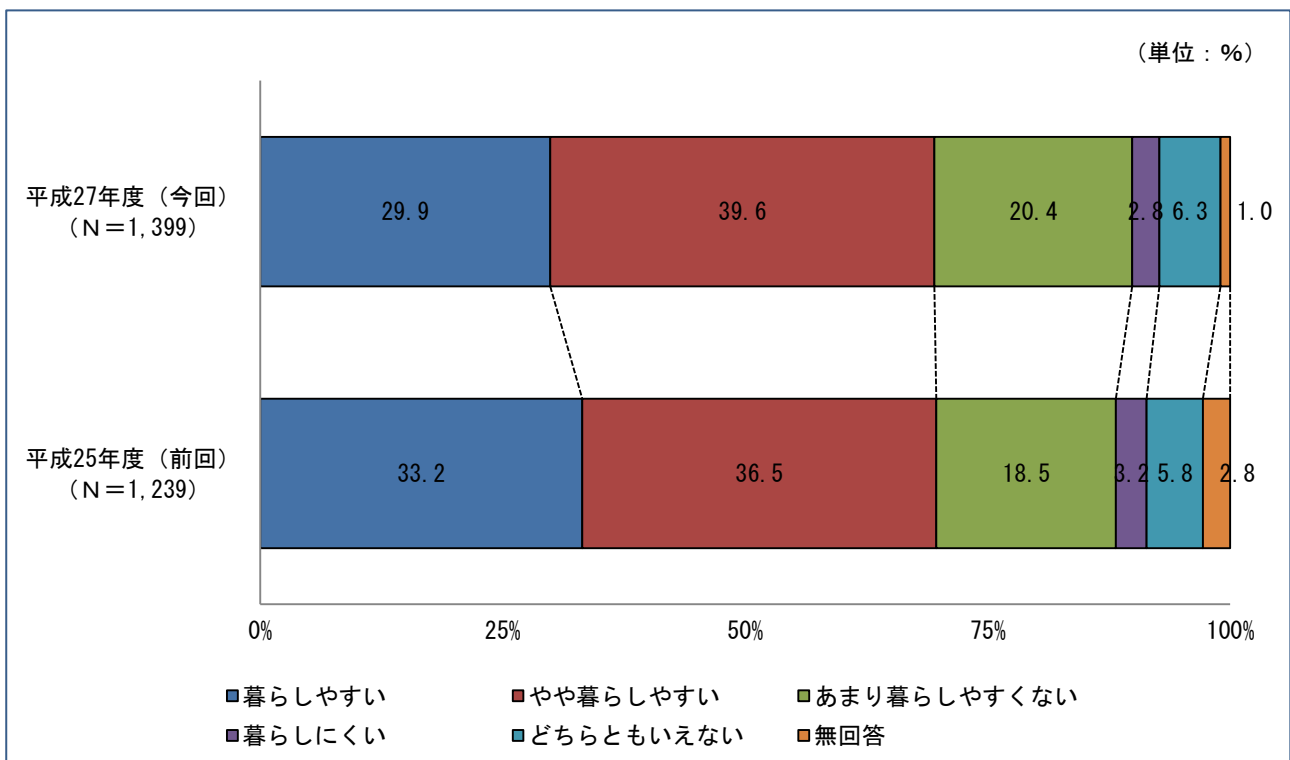
3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると69.5%を占め、前回の調査結果（69.7%）とほぼ同じ割合である。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	418	29.9
やや暮らしやすい	554	39.6
あまり暮らしやすくない	286	20.4
暮らしにくい	39	2.8
どちらともいえない	88	6.3
無回答	14	1.0
計	1,399	

(標本数：1,399件)



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	高山市の暮らしやすさ(%)					
			暮らしやすい	い やや暮らしやすい	すくない あまり暮らしやすい	暮らしにくい	ない どちらともいえない	無回答
年齢	10代・20代	87	27.6	31.0	28.7	6.9	5.7	0.0
	30代	137	23.4	42.3	27.0	2.2	5.1	0.0
	40代	200	20.5	39.5	27.5	4.0	8.0	0.5
	50代	215	26.0	39.1	29.3	1.9	2.8	0.9
	60代	334	29.6	44.9	15.0	2.7	6.6	1.2
	70代以上	409	38.9	36.4	13.0	2.2	7.8	1.7
居住地域	高山地域	909	30.0	41.0	19.7	3.2	5.2	0.9
	丹生川地域	80	32.5	32.5	23.8	1.3	8.8	1.3
	清見地域	47	27.7	29.8	31.9	2.1	8.5	0.0
	荘川地域	20	30.0	20.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	一之宮地域	45	33.3	40.0	22.2	2.2	2.2	0.0
	久々野地域	66	28.8	40.9	18.2	1.5	6.1	4.5
	朝日地域	33	24.2	33.3	33.3	0.0	9.1	0.0
	高根地域	14	7.1	21.4	35.7	14.3	21.4	0.0
	国府地域	102	36.3	49.0	5.9	1.0	6.9	1.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	17.5	36.5	28.6	4.8	11.1	1.6
家族構成	単身世帯	121	30.6	31.4	23.1	4.1	9.9	0.8
	夫婦のみ	303	27.4	43.2	17.2	3.6	7.3	1.3
	二世帯世帯(親と子)	582	29.9	37.5	22.7	2.7	6.4	0.9
	うち中学生以下の子と同居	(197)	(28.9)	(40.1)	(21.8)	(1.0)	(6.6)	(1.5)
	三世帯世帯(親と子と孫)	331	28.7	43.8	20.5	1.5	4.2	1.2
	うち中学生以下の子と同居	(189)	(28.6)	(48.7)	(16.4)	(1.6)	(3.7)	(1.1)
その他	28	42.9	35.7	7.1	3.6	10.7	0.0	

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、70代以上が最も高く（75.3%）、10代・20代が最も低い（58.6%）。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、国府地域が最も高く（85.3%）、高根地域が最も低い（28.5%）。

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、三世帯世帯が最も高く（72.5%）、単身世帯が最も低い（62.0%）。

3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・次いで、「市内に雇用の場が少ない」、「日常の買い物が不便」の割合が高い。

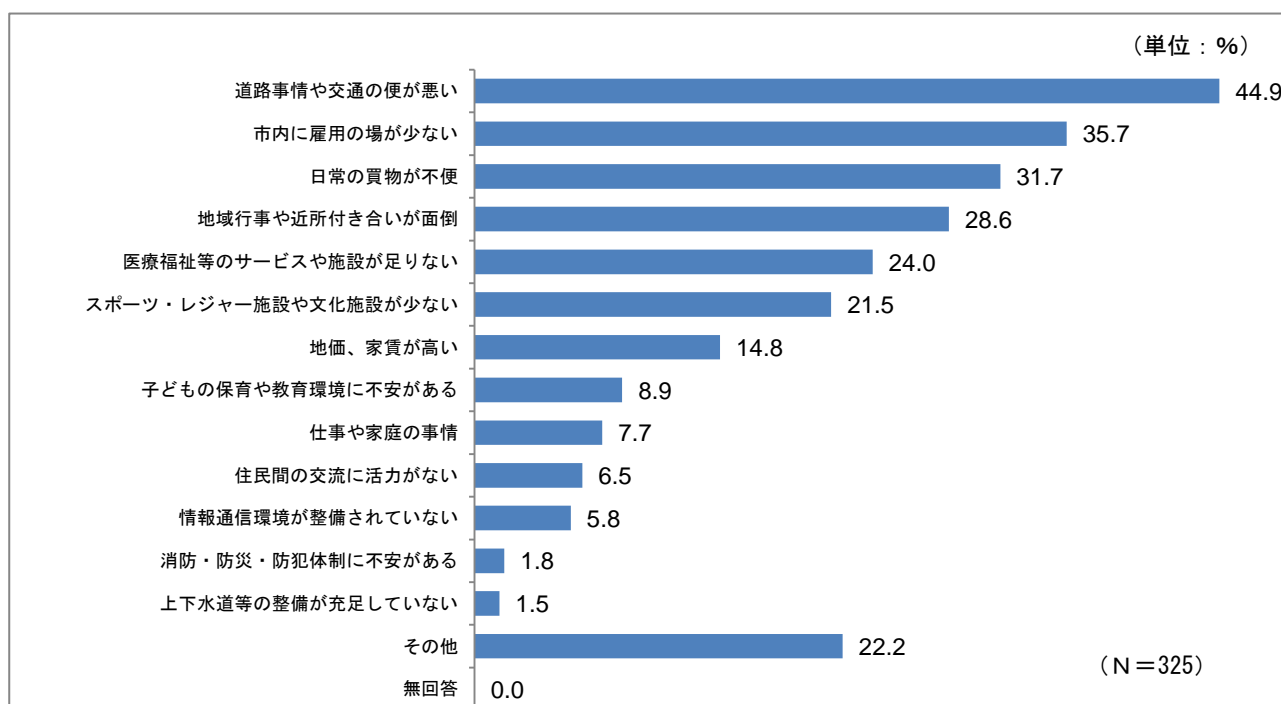
問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやすくない」に○をつけた方に伺います。
 どんなどころに暮らしにくさを感じますか。(3つまで○印)

	回答数(件)	回答率(%)
道路事情や交通の便が悪い	146	44.9
市内に雇用の場が少ない	116	35.7
日常の買い物が不便	103	31.7
地域行事や近所付き合いが面倒	93	28.6
医療福祉等のサービスや施設が足りない	78	24.0
スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	70	21.5
地価、家賃が高い	48	14.8
子どもの保育や教育環境に不安がある	29	8.9
仕事や家庭の事情	25	7.7
住民間の交流に活力がない	21	6.5
情報通信環境が整備されていない	19	5.8
消防・防災・防犯体制に不安がある	6	1.8
上下水道等の整備が充足していない	5	1.5
その他	72	22.2
無回答	0	0.0
計	831	

(標本数：325件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便である」、「賃金水準が低い」、「物価が高い」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		31	40	63	67	59	62
暮らしにくさを感じる理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	54.8	42.5	38.1	49.3	44.1	45.2
	市内に雇用の場が少ない	35.5	22.5	41.3	50.7	35.6	21.0
	日常の買物が不便	38.7	22.5	19.0	26.9	30.5	54.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	25.8	25.0	33.3	31.3	30.5	24.2
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	16.1	15.0	20.6	22.4	32.2	30.6
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	38.7	32.5	23.8	22.4	15.3	8.1
	地価、家賃が高い	12.9	27.5	12.7	10.4	15.3	14.5
	子どもの保育や教育環境に不安がある	6.5	25.0	12.7	6.0	3.4	4.8
	仕事や家庭の事情	3.2	5.0	7.9	10.4	10.2	6.5
	住民間の交流に活力がない	6.5	5.0	4.8	4.5	5.1	12.9
	情報通信環境が整備されていない	3.2	5.0	11.1	3.0	5.1	4.8
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	1.6	3.0	0.0	4.8
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	2.5	0.0	0.0	1.7	0.0
	その他	16.1	20.0	20.6	20.9	30.5	21.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・ 10代・20代、30代及び60代は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 40代及び50代は「市内に雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 70代は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。
- ・ 「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合は若い年代ほど高い。
- ・ 「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合は高齢になるほど高くなる傾向で、60代で最も割合が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		208	20	16	6	11	13	11	7	7	21
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	40.4	50.0	37.5	50.0	36.4	46.2	45.5	85.7	42.9	81.0
	市内に雇用の場が少ない	37.5	45.0	25.0	0.0	54.5	30.8	36.4	14.3	42.9	23.8
	日常の買物が不便	23.6	35.0	50.0	66.7	36.4	30.8	63.6	71.4	28.6	57.1
	地域行事や近所付き合いが面倒	28.8	25.0	37.5	50.0	27.3	30.8	36.4	0.0	28.6	23.8
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	20.7	20.0	6.3	16.7	9.1	69.2	18.2	42.9	57.1	42.9
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	27.9	20.0	12.5	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	14.3	0.0
	地価、家賃が高い	22.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	4.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.2	15.0	6.3	16.7	9.1	30.8	9.1	14.3	0.0	9.5
	仕事や家庭の事情	7.7	10.0	0.0	16.7	9.1	7.7	0.0	0.0	28.6	9.5
	住民間の交流に活力がない	7.7	0.0	6.3	16.7	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	2.4	15.0	31.3	16.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.0	0.0	6.3	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	14.3	4.8
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	23.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	25.5	15.0	25.0	16.7	27.3	7.7	0.0	28.6	14.3	14.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

- ・高山地域、丹生川地域、高根地域及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・一之宮地域は「市内に雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・清見地域、荘川地域及び朝日地域は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。
- ・久々野地域及び国府地域は「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (親と子)	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯 (親と子と孫)	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		33	63	148	(45)	73	(34)	3
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	39.4	47.6	44.6	(26.7)	45.2	(41.2)	33.3
	市内に雇用の場が少ない	18.2	23.8	39.9	(37.8)	43.8	(35.3)	66.7
	日常の買物が不便	27.3	50.8	26.4	(24.4)	28.8	(29.4)	33.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	21.2	30.2	30.4	(37.8)	27.4	(29.4)	33.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	15.2	27.0	22.3	(17.8)	28.8	(35.3)	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	15.2	20.6	20.3	(31.1)	28.8	(32.4)	0.0
	地価、家賃が高い	24.2	11.1	16.9	(22.2)	11.0	(11.8)	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	9.1	1.6	8.1	(11.1)	17.8	(26.5)	0.0
	仕事や家庭の事情	9.1	6.3	9.5	(11.1)	5.5	(5.9)	0.0
	住民間の交流に活力がない	9.1	9.5	6.8	(6.7)	2.7	(2.9)	0.0
	情報通信環境が整備されていない	3.0	3.2	6.8	(6.7)	6.8	(5.9)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	3.2	1.4	(2.2)	2.7	(2.9)	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	33.3
	その他	36.4	22.2	21.6	(17.8)	13.7	(11.8)	66.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【家族構成別】

- ・単身世帯、二世代世帯及び三世代世帯は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

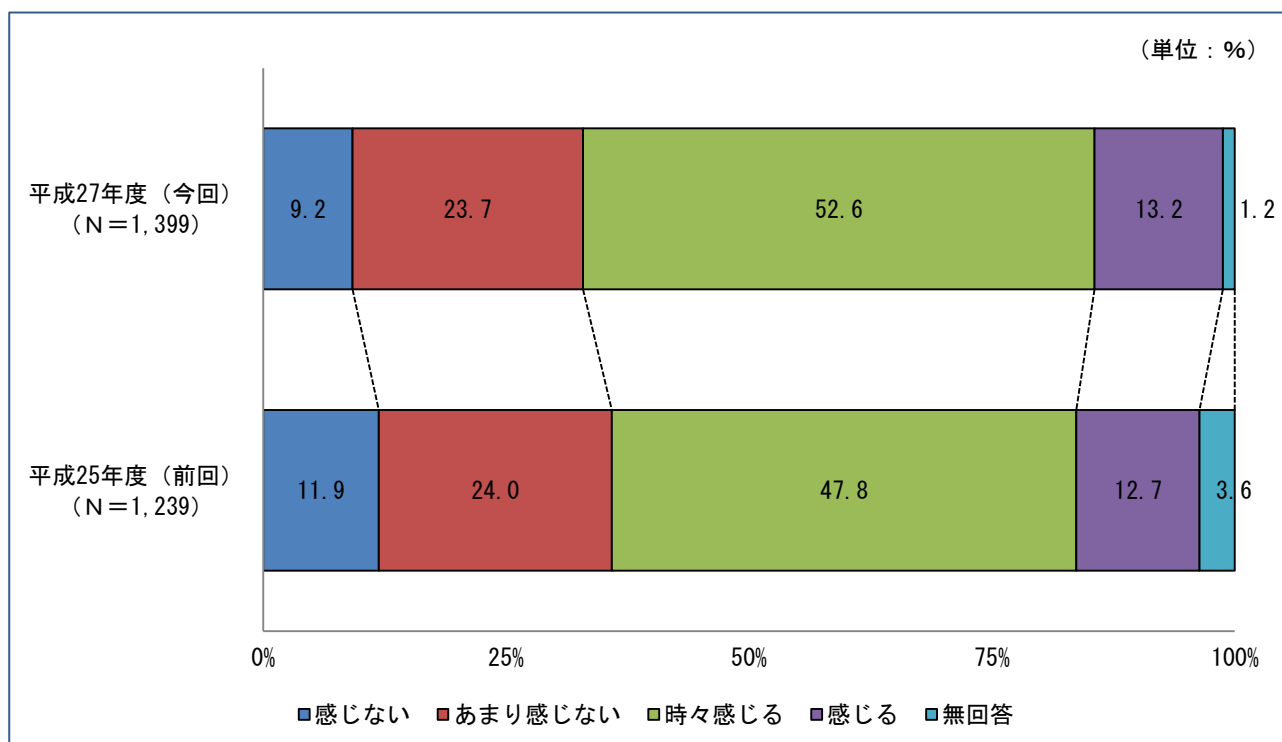
4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると 65.8%を占め、前回の調査結果（60.5%）に比べ 5.3ポイント上昇している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	129	9.2
あまり感じない	332	23.7
時々感じる	736	52.6
感じる	185	13.2
無回答	17	1.2
計	1,399	

(標本数：1,399件)



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	暮らしの中での不安(%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	87	9.2	36.8	47.1	6.9	0.0
	30代	137	8.8	26.3	48.9	16.1	0.0
	40代	200	3.5	23.0	57.0	15.5	1.0
	50代	215	5.1	18.1	60.5	14.4	1.9
	60代	334	9.3	24.9	54.5	9.9	1.5
	70代以上	409	14.7	22.7	46.7	14.4	1.5
居住地域	高山地域	909	9.6	25.2	50.2	13.6	1.4
	丹生川地域	80	7.5	16.3	65.0	8.8	2.5
	清見地域	47	6.4	19.1	59.6	14.9	0.0
	荘川地域	20	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	一之宮地域	45	6.7	31.1	51.1	11.1	0.0
	久々野地域	66	12.1	16.7	57.6	13.6	0.0
	朝日地域	33	18.2	18.2	54.5	9.1	0.0
	高根地域	14	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0
	国府地域	102	11.8	21.6	55.9	8.8	2.0
	上宝・奥飛驒温泉郷地域	63	4.8	25.4	57.1	12.7	0.0
家族構成	単身世帯	121	8.3	22.3	57.0	11.6	0.8
	夫婦のみ	303	10.2	23.1	51.2	14.5	1.0
	二世帯世帯(親と子)	582	7.7	22.7	54.5	13.6	1.5
	うち中学生以下の子と同居	(197)	(6.1)	(22.8)	(55.3)	(14.2)	(1.5)
	三世帯世帯(親と子と孫)	331	10.6	26.3	51.7	11.2	0.3
	うち中学生以下の子と同居	(189)	(10.6)	(28.6)	(52.9)	(7.9)	0.0
	その他	28	7.1	32.1	42.9	14.3	3.6

【年齢別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、50代が最も高く（74.9%）、10代・20代が最も低い（54.0%）。

【居住地域別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、高根地域が最も高く（85.7%）、一之宮地域が最も低い（62.2%）。

【家族構成別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、単身世帯が最も高く（68.6%）、三世帯世帯が最も低い（62.9%）。

4-2 不安を感じるどころ

- ・「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・次いで、「介護に対する不安」の割合が高い。

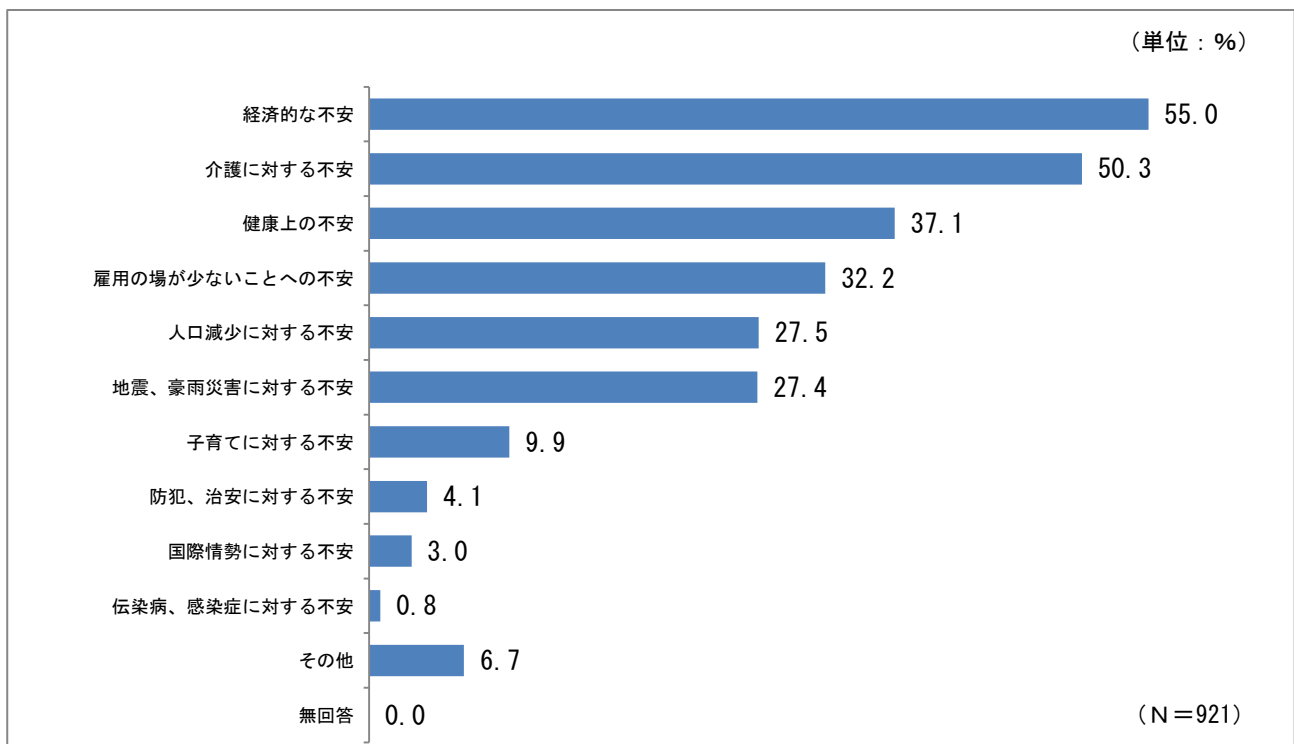
問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
経済的な不安	507	55.0
介護に対する不安	463	50.3
健康上の不安	342	37.1
雇用の場が少ないことへの不安	297	32.2
人口減少に対する不安	253	27.5
地震、豪雨災害に対する不安	252	27.4
子育てに対する不安	91	9.9
防犯、治安に対する不安	38	4.1
国際情勢に対する不安	28	3.0
伝染病、感染症に対する不安	7	0.8
その他	62	6.7
無回答	0	0.0
計	2,340	

(標本数：921件)

※「その他」の内容

- ・「自分の老後」、「若者の雇用の場の減少」、「福祉サービス」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		47	89	145	161	215	250
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	59.6	66.3	69.0	53.4	56.3	41.2
	介護に対する不安	17.0	23.6	37.9	49.7	65.1	60.8
	健康上の不安	8.5	13.5	22.1	23.0	48.4	58.4
	雇用の場が少ないことへの不安	51.1	39.3	41.4	44.1	21.9	22.4
	人口減少に対する不安	36.2	13.5	26.9	34.8	24.2	30.4
	地震、豪雨災害に対する不安	29.8	29.2	26.2	26.7	25.6	28.4
	子育てに対する不安	23.4	34.8	17.9	5.6	2.3	2.4
	防犯、治安に対する不安	8.5	9.0	2.8	2.5	4.2	3.2
	国際情勢に対する不安	4.3	3.4	1.4	3.1	3.3	3.6
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	2.2	0.0	0.6	0.5	0.8
	その他(具体的に)	4.3	7.9	6.2	10.6	4.7	6.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・ 50代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・ 60代以上は「介護に対する不安」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		580	59	35	16	28	47	21	12	66	44
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	57.4	44.1	60.0	31.3	71.4	48.9	33.3	33.3	62.1	38.6
	介護に対する不安	51.9	44.1	51.4	43.8	46.4	51.1	52.4	41.7	51.5	43.2
	健康上の不安	37.8	25.4	45.7	31.3	32.1	36.2	14.3	41.7	34.8	54.5
	雇用の場が少ないことへの不安	31.6	33.9	25.7	31.3	39.3	36.2	52.4	33.3	25.8	38.6
	人口減少に対する不安	21.0	52.5	25.7	62.5	14.3	31.9	61.9	66.7	28.8	45.5
	地震、豪雨災害に対する不安	26.4	28.8	25.7	6.3	46.4	14.9	28.6	25.0	30.3	43.2
	子育てに対する不安	9.1	13.6	2.9	18.8	7.1	17.0	19.0	8.3	7.6	6.8
	防犯、治安に対する不安	4.7	6.8	0.0	0.0	3.6	8.5	0.0	0.0	3.0	0.0
	国際情勢に対する不安	4.1	1.7	2.9	0.0	3.6	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	伝染病、感染症に対する不安	0.5	3.4	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(具体的に)	6.9	5.1	17.1	12.5	3.6	4.3	4.8	8.3	6.1	2.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・高山、清見、一之宮及び国府地域は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・久々野地域は「介護に対する不安」の割合が最も高い。
- ・丹生川、荘川、朝日及び高根地域は「人口減少に対する不安」の割合が最も高い。
- ・上宝・奥飛騨温泉郷地域は「健康上の不安」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯（親と子）	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯（親と子と孫）	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数(件)		83	199	396	(137)	208	(115)	16
不安を感じる割合(%)	経済的な不安	57.8	52.3	57.8	(68.6)	51.0	(52.2)	56.3
	介護に対する不安	50.6	62.8	42.7	(30.7)	52.9	(48.7)	50.0
	健康上の不安	51.8	48.7	31.6	(21.9)	29.3	(30.4)	50.0
	雇用の場が少ないことへの不安	20.5	24.1	35.6	(33.6)	39.4	(35.7)	25.0
	人口減少に対する不安	16.9	26.6	27.8	(29.9)	32.2	(22.6)	43.8
	地震、豪雨災害に対する不安	27.7	27.1	27.8	(23.4)	26.9	(29.6)	18.8
	子育てに対する不安	6.0	4.5	10.1	(24.8)	15.4	(23.5)	6.3
	防犯、治安に対する不安	6.0	4.0	5.1	(9.5)	2.4	(1.7)	6.3
	国際情勢に対する不安	3.6	3.5	2.8	(2.2)	2.9	(2.6)	6.3
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	1.0	1.0	(1.5)	0.0	0.0	0.0
	その他(具体的に)	7.2	8.5	5.8	(4.4)	7.7	(7.0)	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【家族構成別】

- ・単身世帯及び二世代世帯は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみ及び三世代世帯は「介護に対する不安」の割合が最も高い。
- ・単身世帯及び夫婦のみの世帯は他の家族構成に比べ、「健康上の不安」の割合が高い。

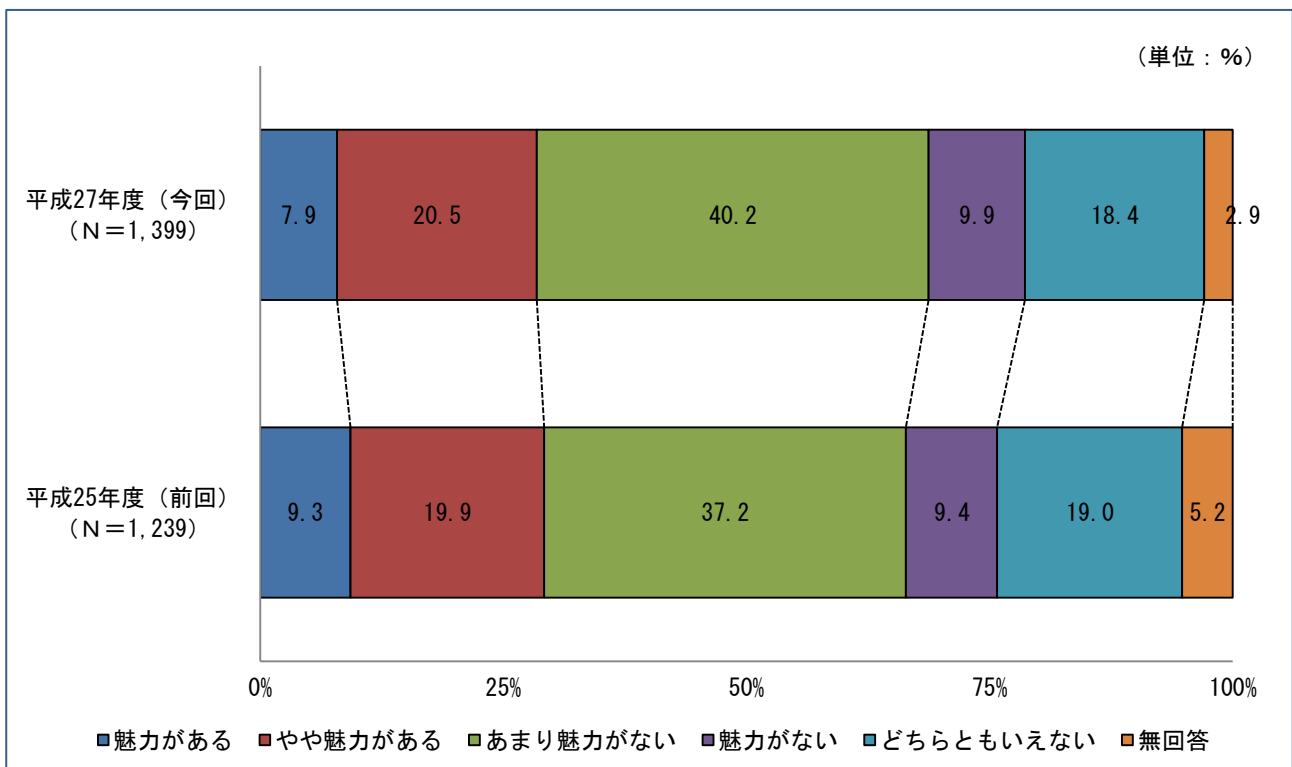
5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がある」・「やや魅力がある」(29.2%→28.4%)、「魅力がない」・「あまり魅力がない」(46.6%→50.1%)とも前回の調査結果に比べ魅力を感じる人の割合が低下している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。(1つに○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	111	7.9
やや魅力がある	287	20.5
あまり魅力がない	563	40.2
魅力がない	139	9.9
どちらともいえない	258	18.4
無回答	41	2.9
計	1,399	

(標本数：1,399件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
性別	男	564	9.4	21.1	39.5	11.2	17.2	1.6
	女	773	7.1	20.1	40.8	8.8	19.4	3.9
年齢	10代・20代	87	10.3	21.8	37.9	19.5	10.3	0.0
	30代	137	5.8	19.7	48.2	12.4	13.9	0.0
	40代	200	3.5	21.0	49.5	13.0	12.0	1.0
	50代	215	7.4	16.7	50.7	14.0	10.7	0.5
	60代	334	6.6	22.5	40.7	8.7	18.9	2.7
	70代以上	409	12.0	20.5	26.7	4.9	28.9	7.1

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、70代が最も高く(32.5%)、50代が最も低い(24.1%)。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、50代が最も高く(64.7%)、70代以上が最も低い(31.6%)。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
居住地域	高山地域	909	8.4	19.7	41.0	10.8	17.3	2.9
	丹生川地域	80	5.0	28.8	37.5	8.8	15.0	5.0
	清見地域	47	12.8	14.9	44.7	6.4	19.1	2.1
	荘川地域	20	5.0	15.0	20.0	15.0	45.0	0.0
	一之宮地域	45	6.7	20.0	51.1	11.1	11.1	0.0
	久々野地域	66	10.6	19.7	33.3	9.1	21.2	6.1
	朝日地域	33	3.0	24.2	45.5	9.1	12.1	6.1
	高根地域	14	0.0	14.3	35.7	14.3	28.6	7.1
	国府地域	102	9.8	20.6	38.2	6.9	22.5	2.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	4.8	25.4	34.9	6.3	27.0	1.6
職業	農林畜産業	91	23.1	20.9	23.1	3.3	27.5	2.2
	自営業(商工業・サービス業・建設業)	180	11.1	27.8	28.9	10.6	19.4	2.2
	会社員・公務員・団体職員	359	5.6	18.7	53.5	12.3	10.0	0.0
	パート・アルバイト・内職	235	5.1	17.4	48.5	11.5	16.6	0.9
	家事従事者	114	3.5	23.7	40.4	6.1	22.8	3.5
	学生	22	9.1	31.8	22.7	27.3	9.1	0.0
	無職	350	8.9	18.3	31.4	7.4	25.7	8.3
	その他	27	3.7	29.6	37.0	22.2	7.4	0.0

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、丹生川地域が最も高く（33.8%）、高根地域が最も低い（14.3%）。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、一之宮地域が最も高く（62.2%）、荘川地域が最も低い（35.0%）。

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、農林畜産業が最も高く（44.0%）、パート・アルバイト・内職が最も低い（22.5%）。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、会社員・公務員・団体職員が最も高く（65.8%）、農林畜産業が最も低い（26.4%）。

5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・次いで、「雇用の場が少ない」の割合が高い。

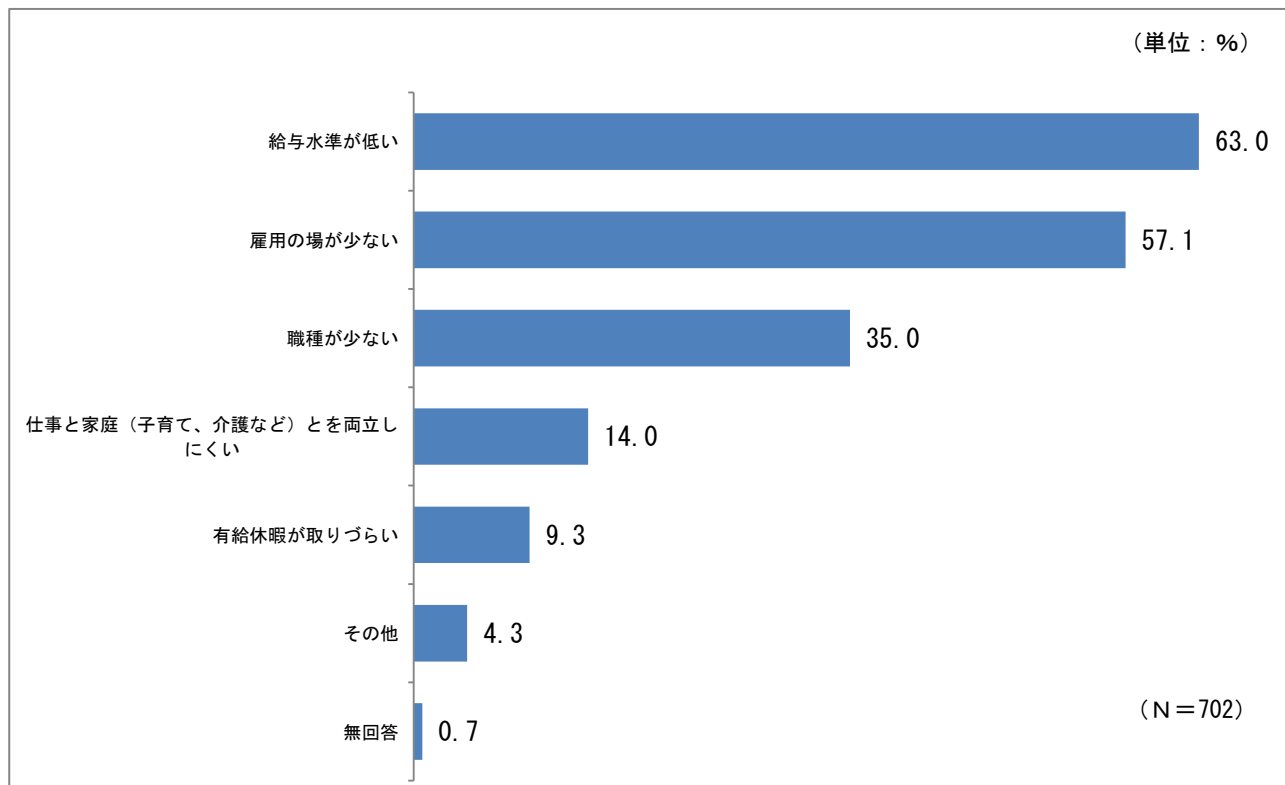
問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

	回答数（件）	回答率（％）
給与水準が低い	442	63.0
雇用の場が少ない	401	57.1
職種が少ない	246	35.0
仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにくい	98	14.0
有給休暇が取りづらい	65	9.3
その他	30	4.3
無回答	5	0.7
計	1,287	

（標本数：702件）

※「その他」内容

- ・「若者の働く場が少ない」、「福利厚生の水準が低い（育休・産休、介護休暇等）」 など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
性別	男	286	58.4	59.1	38.5	9.1	9.1	4.9	4.9
	女	383	67.4	54.6	32.6	18.0	10.2	3.4	3.4
年齢	10代・20代	50	62.0	42.0	52.0	6.0	10.0	10.0	10.0
	30代	83	65.1	44.6	24.1	34.9	15.7	1.2	1.2
	40代	125	71.2	53.6	24.8	19.2	12.8	4.0	4.0
	50代	139	63.3	63.3	37.4	11.5	7.2	6.5	6.5
	60代	165	64.8	61.2	37.6	6.7	8.5	3.6	3.6
	70代以上	129	51.2	62.8	41.1	10.9	5.4	1.6	1.6

【性別】

- ・ 男性は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 女性は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・ 女性は男性に比べ、「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が高い。

【年齢別】

- ・ 70代以外の年齢では「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・ 50代（「給与水準が低い」と同率）及び70代は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 10代・20代は他の年代に比べ「職種が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 30代は他の年代に比べ「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
居住地域	高山地域	471	66.0	54.1	34.2	14.6	8.7	5.1	5.1
	丹生川地域	37	51.4	64.9	40.5	10.8	8.1	2.7	2.7
	清見地域	24	70.8	50.0	33.3	12.5	12.5	4.2	4.2
	荘川地域	7	14.3	71.4	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3
	一之宮地域	28	67.9	67.9	35.7	14.3	7.1	3.6	3.6
	久々野地域	28	71.4	60.7	32.1	7.1	17.9	0.0	0.0
	朝日地域	18	61.1	66.7	38.9	16.7	0.0	0.0	0.0
	高根地域	7	14.3	71.4	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0
	国府地域	46	52.2	54.3	41.3	13.0	17.4	4.3	4.3
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	26	46.2	76.9	26.9	23.1	3.8	0.0	0.0
職業	農林畜産業	24	37.5	70.8	45.8	12.5	4.2	4.2	4.2
	自営業(商工業・サービス業・建設業)	71	50.7	52.1	31.0	12.7	5.6	9.9	9.9
	会社員・公務員・団体職員	236	66.5	57.2	31.8	14.4	13.6	3.4	3.4
	パート・アルバイト・内職	141	79.4	56.0	31.2	11.3	9.2	4.3	4.3
	家事従事者	53	52.8	50.9	35.8	24.5	3.8	7.5	7.5
	学生	11	72.7	45.5	63.6	0.0	0.0	9.1	9.1
	無職	136	52.9	64.7	41.2	13.2	8.1	1.5	1.5
	その他	16	68.8	37.5	43.8	18.8	6.3	6.3	6.3

【居住地域別】

- ・高山地域、清見地域、一之宮地域及び久々野地域は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・丹生川地域、荘川地域、一之宮地域（「給与水準が低い」と同率）、朝日地域、高根地域、国府地域及び上宝・奥飛騨温泉郷は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・全ての地域で「雇用の場が少ない」の割合が5割以上である。

【職業別】

- ・会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、家事従事者及び学生は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業、自営業及び無職は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

2 高山市の市政運営について

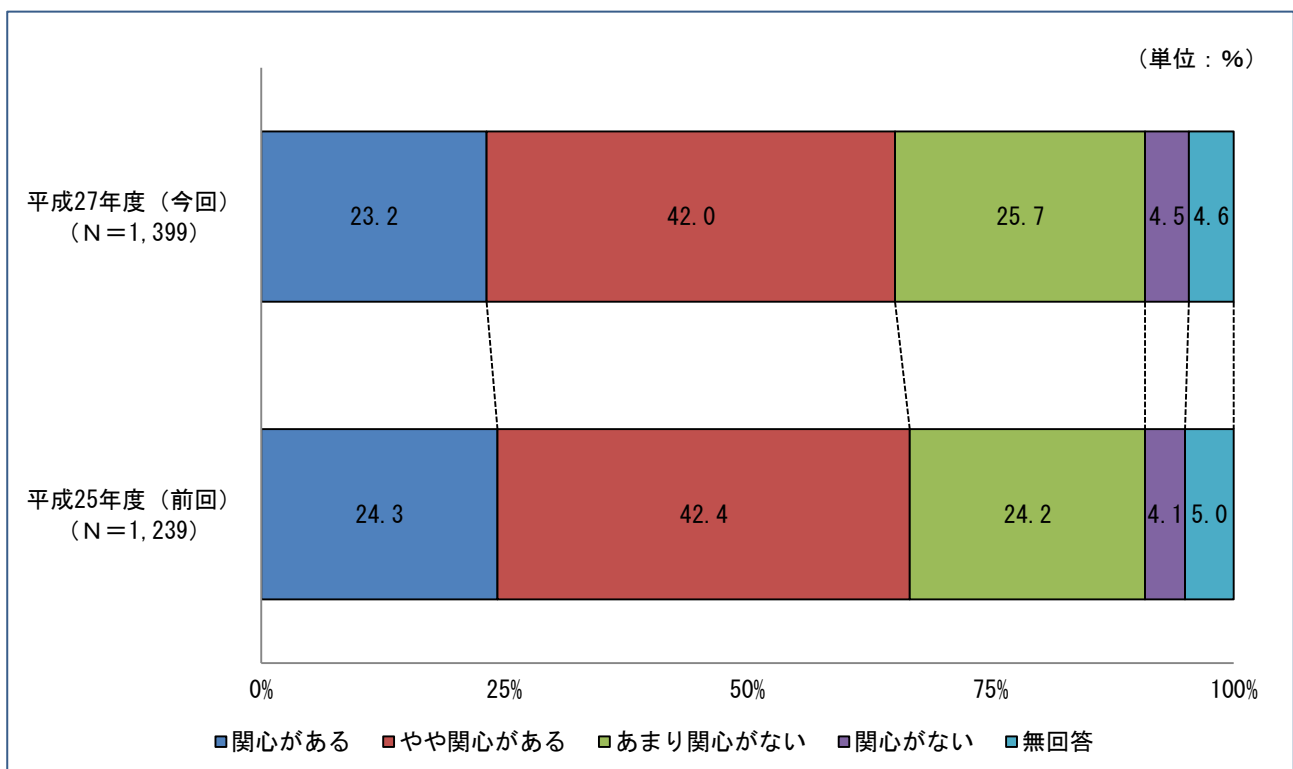
1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 65.2%を占め、前回の調査結果（66.7%）に比べ 1.5 ポイント低下している。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	324	23.2
やや関心がある	587	42.0
あまり関心がない	360	25.7
関心がない	63	4.5
無回答	65	4.6
計	1,399	

(標本数：1,399 件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
性別	男	564	29.1	40.6	22.3	3.5	4.4
	女	773	17.9	43.3	29.4	5.0	4.4
年齢	10代・20代	87	8.0	37.9	33.3	19.5	1.1
	30代	137	13.9	38.7	41.6	4.4	1.5
	40代	200	19.5	34.5	36.5	4.5	5.0
	50代	215	21.9	45.1	23.7	5.1	4.2
	60代	334	23.4	47.9	21.0	2.1	5.7
	70代以上	409	32.0	40.1	19.1	2.9	5.9

【性別】

- ・男女ともに「やや関心がある」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、70代以上が最も高く（72.1%）、10代・20代が最も低い（45.9%）。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	909	23.1	40.0	28.3	4.3	4.3
	丹生川地域	80	25.0	42.5	20.0	7.5	5.0
	清見地域	47	21.3	48.9	25.5	0.0	4.3
	荘川地域	20	30.0	30.0	25.0	10.0	5.0
	一之宮地域	45	31.1	46.7	13.3	6.7	2.2
	久々野地域	66	24.2	42.4	21.2	4.5	7.6
	朝日地域	33	9.1	60.6	21.2	3.0	6.1
	高根地域	14	0.0	64.3	21.4	0.0	14.3
	国府地域	102	22.5	50.0	19.6	3.9	3.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	27.0	31.7	28.6	4.8	7.9
定住年数	1年未満	11	27.3	54.5	0.0	18.2	0.0
	1年以上～5年未満	42	19.0	23.8	40.5	11.9	4.8
	5年以上～10年未満	56	25.0	39.3	26.8	5.4	3.6
	10年以上～20年未満	133	18.8	41.4	27.8	6.0	6.0
	20年以上	1,143	23.7	42.4	25.4	3.8	4.6

【居住地域別】

- ・全ての居住地域で「やや関心がある」の割合が最も高い（荘川地域は「関心がある」と同率）。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、一之宮地域が最も高く（77.8%）、上宝・奥飛騨温泉郷地域が最も低い（58.7%）。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、1年未満が最も高く（81.8%）、1年以上～5年未満が最も低い（42.8%）。
- ・1年以上～5年未満を除く定住年数では「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・1年以上～5年未満は「あまり関心がない」の割合が最も高い。

2 今後の重要課題

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・次いで、「医療・福祉サービスの確保」の割合が高い。

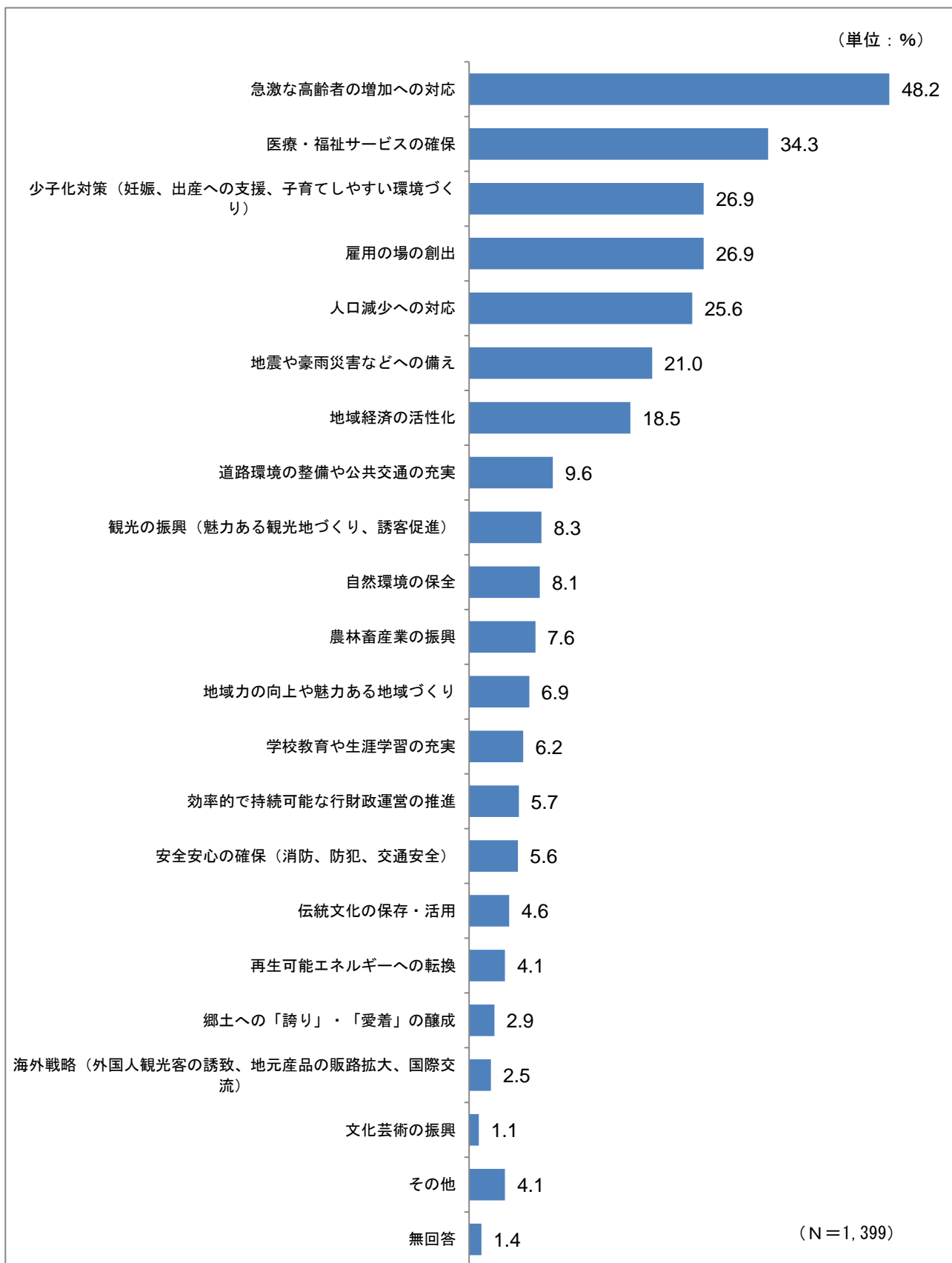
問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

	回答数（件）	回答率（％）
急激な高齢者の増加への対応	674	48.2
医療・福祉サービスの確保	480	34.3
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	377	26.9
雇用の場の創出	376	26.9
人口減少への対応	358	25.6
地震や豪雨災害などへの備え	294	21.0
地域経済の活性化	259	18.5
道路環境の整備や公共交通の充実	135	9.6
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	116	8.3
自然環境の保全	114	8.1
農林畜産業の振興	106	7.6
地域力の向上や魅力ある地域づくり	96	6.9
学校教育や生涯学習の充実	87	6.2
効率的で持続可能な行財政運営の推進	80	5.7
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	79	5.6
伝統文化の保存・活用	65	4.6
再生可能エネルギーへの転換	57	4.1
郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	41	2.9
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	35	2.5
文化芸術の振興	16	1.1
その他	57	4.1
無回答	20	1.4
計	3,922	

（標本数：1,399件）

※「その他」の内容

- ・「冬季の除雪対策」、「Uターン就職対策」、「結婚支援の充実」、「大学キャンパス誘致」、「空き家対策」、「発達障がい児への支援」 など



属性別集計（性別、年齢別）

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		564	773	87	137	200	215	334	409
今後の重要課題(%)	急激な高齢者の増加への対応	45.2	50.5	29.9	32.8	42.0	51.2	54.5	53.5
	医療・福祉サービスの確保	27.3	39.8	19.5	31.4	29.0	29.8	37.1	41.3
	少子化対策	26.8	27.4	35.6	47.4	22.0	27.4	24.6	23.0
	雇用の場の創出	30.5	25.0	37.9	29.9	31.0	37.2	25.4	17.8
	人口減少への対応	33.3	19.8	20.7	13.1	18.0	25.1	29.0	32.3
	地震や豪雨災害などへの備え	15.1	25.5	18.4	25.5	16.0	16.7	20.7	24.4
	地域経済の活性化	19.9	17.3	14.9	20.4	24.0	20.9	21.6	12.7
	道路環境の整備や公共交通の充実	8.0	10.3	21.8	12.4	9.5	6.5	8.4	8.3
	観光の振興	9.6	7.8	16.1	10.9	11.5	8.4	5.1	7.1
	自然環境の保全	10.3	6.9	4.6	6.6	7.5	9.3	10.8	6.6
	農林畜産業の振興	8.9	6.2	6.9	4.4	4.5	8.4	8.4	8.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.4	7.5	6.9	5.8	7.0	9.8	6.0	6.6
	学校教育や生涯学習の充実	5.7	6.5	9.2	14.6	12.0	4.7	3.9	2.9
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.3	3.5	2.3	4.4	6.0	4.7	7.8	5.6
	安全安心の確保	6.0	4.9	1.1	5.8	4.5	6.5	4.8	7.3
	伝統文化の保存・活用	5.9	4.0	9.2	5.8	5.5	1.9	4.8	3.9
	再生可能エネルギーへの転換	4.6	3.8	2.3	4.4	7.5	5.1	3.3	2.7
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.2	2.5	4.6	2.2	3.0	2.3	2.1	3.9
	海外戦略	2.7	2.5	8.0	4.4	3.0	1.9	1.5	1.7
	文化芸術の振興	1.2	1.0	1.1	0.7	2.0	2.3	0.3	1.0
その他	4.8	3.8	4.6	2.9	6.5	5.6	3.0	3.2	
無回答	0.7	1.8	2.3	0.0	1.0	0.0	1.8	2.4	

【性別】

- ・男女ともに「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代・20代及び30代を除く年代では「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・10代・20代は「雇用の場の創出」の割合が最も高い。
- ・30代は「少子化対策」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		909	80	47	20	45	66	33	14	102	63
今後の重要課題(%)	急激な高齢者の増加への対応	50.4	33.8	55.3	45.0	51.1	45.5	39.4	42.9	43.1	44.4
	医療・福祉サービスの確保	36.0	20.0	31.9	15.0	24.4	40.9	27.3	35.7	35.3	42.9
	少子化対策	26.6	36.3	25.5	15.0	28.9	40.9	30.3	14.3	24.5	19.0
	雇用の場の創出	27.4	28.8	23.4	30.0	31.1	16.7	30.3	21.4	26.5	28.6
	人口減少への対応	23.4	28.8	23.4	55.0	20.0	27.3	36.4	50.0	24.5	41.3
	地震や豪雨災害などへの備え	21.9	20.0	14.9	0.0	28.9	15.2	21.2	21.4	17.6	22.2
	地域経済の活性化	18.8	12.5	17.0	25.0	24.4	24.2	12.1	21.4	22.5	11.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	8.9	11.3	6.4	5.0	15.6	9.1	0.0	42.9	2.9	23.8
	観光の振興	8.4	7.5	6.4	15.0	6.7	6.1	9.1	7.1	5.9	14.3
	自然環境の保全	8.0	8.8	6.4	10.0	15.6	9.1	12.1	0.0	6.9	3.2
	農林畜産業の振興	5.5	15.0	23.4	0.0	11.1	12.1	9.1	0.0	8.8	4.8
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.9	12.5	12.8	5.0	2.2	10.6	9.1	0.0	10.8	4.8
	学校教育や生涯学習の充実	6.2	7.5	8.5	10.0	2.2	4.5	9.1	7.1	8.8	3.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.7	5.0	6.4	10.0	6.7	3.0	3.0	0.0	7.8	6.3
	安全安心の確保	5.3	2.5	2.1	15.0	4.4	10.6	6.1	14.3	7.8	4.8
	伝統文化の保存・活用	4.6	6.3	2.1	15.0	0.0	1.5	6.1	0.0	9.8	0.0
	再生可能エネルギーへの転換	4.8	1.3	4.3	0.0	4.4	3.0	3.0	0.0	2.0	3.2
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	2.8	5.0	2.1	10.0	4.4	0.0	9.1	0.0	2.9	0.0
	海外戦略	2.9	1.3	4.3	0.0	2.2	0.0	9.1	0.0	0.0	3.2
	文化芸術の振興	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.5	5.0	6.4	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	2.9	4.8	
無回答	1.2	5.0	0.0	0.0	2.2	0.0	3.0	0.0	2.9	0.0	

【居住地域別】

- ・高山地域、清見地域、一之宮地域、久々野地域、朝日地域、国府地域及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・丹生川地域は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・荘川地域及び高根地域は「人口減少への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (親と子)	うち中学生以下の子と同居	三世代世帯 (親と子と孫)	うち中学生以下の子と同居	その他
標本数(件)		121	303	582	(197)	331	(189)	28
今後の重要課題(%)	急激な高齢者の増加への対応	43.0	52.5	48.8	(45.7)	46.2	(43.9)	35.7
	医療・福祉サービスの確保	31.4	37.0	34.9	(33.5)	31.7	(30.2)	32.1
	少子化対策	18.2	22.8	29.0	(32.0)	29.3	(32.3)	46.4
	雇用の場の創出	20.7	24.1	28.5	(26.4)	30.5	(26.5)	10.7
	人口減少への対応	24.0	30.0	23.2	(20.8)	26.3	(24.3)	32.1
	地震や豪雨災害などへの備え	24.8	23.1	20.3	(23.4)	19.6	(21.2)	14.3
	地域経済の活性化	15.7	18.5	17.9	(19.3)	21.1	(20.1)	21.4
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.7	8.3	11.2	(9.6)	8.5	(9.0)	3.6
	観光の振興	11.6	6.3	8.9	(10.2)	8.2	(9.5)	7.1
	自然環境の保全	12.4	9.9	5.8	(5.6)	9.1	(10.6)	10.7
	農林畜産業の振興	4.1	4.0	7.6	(6.1)	10.9	(10.6)	7.1
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.6	6.9	6.5	(6.6)	6.6	(6.3)	14.3
	学校教育や生涯学習の充実	4.1	5.0	7.0	(14.2)	6.3	(6.3)	7.1
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.8	7.9	4.8	(3.6)	5.7	(5.3)	3.6
	安全安心の確保	6.6	5.6	5.5	(6.1)	5.4	(5.8)	3.6
	伝統文化の保存・活用	3.3	5.6	4.1	(5.1)	5.4	(6.9)	3.6
	再生可能エネルギーへの転換	7.4	3.0	4.3	(3.6)	3.6	(4.8)	3.6
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	5.0	1.3	2.9	(3.0)	3.9	(4.2)	3.6
	海外戦略	5.8	1.0	1.9	(2.5)	3.9	(4.2)	3.6
	文化芸術の振興	1.7	1.7	1.0	(1.0)	0.9	(0.5)	0.0
その他	6.6	4.6	4.5	(4.1)	2.1	(3.2)	3.6	
無回答	4.1	1.7	1.4	(0.5)	0.3	(0.5)	0.0	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	建設業	自営業（商工業・サービス業・）	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職
標本数(件)		91	180	359	235	114	22	350	27
今後の重要課題(%)	急激な高齢者の増加への対応	42.9	45.6	46.2	49.8	50.9	22.7	53.4	37.0
	医療・福祉サービスの確保	23.1	28.3	28.1	40.4	36.0	27.3	42.0	44.4
	少子化対策	33.0	33.9	28.4	23.8	28.1	31.8	22.3	33.3
	雇用の場の創出	18.7	23.9	36.8	28.5	21.1	36.4	21.4	14.8
	人口減少への対応	36.3	28.9	23.4	19.6	21.9	27.3	29.1	25.9
	地震や豪雨災害などへの備え	11.0	17.2	17.5	25.1	26.3	18.2	24.3	22.2
	地域経済の活性化	13.2	24.4	21.7	18.7	17.5	18.2	12.6	29.6
	道路環境の整備や公共交通の充実	7.7	7.2	11.7	8.9	14.0	13.6	7.4	11.1
	観光の振興	3.3	14.4	10.0	6.4	6.1	22.7	6.6	3.7
	自然環境の保全	12.1	9.4	6.7	7.7	12.3	9.1	6.6	11.1
	農林畜産業の振興	39.6	3.9	5.3	6.0	1.8	4.5	6.0	3.7
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	13.2	10.0	5.8	8.9	5.3	0.0	4.3	11.1
	学校教育や生涯学習の充実	2.2	3.3	8.1	8.5	8.8	4.5	4.3	14.8
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.7	7.8	6.7	3.0	4.4	0.0	5.1	11.1
	安全安心の確保	3.3	9.4	4.2	6.4	5.3	0.0	6.3	0.0
	伝統文化の保存・活用	5.5	5.0	3.6	3.8	8.8	13.6	4.0	0.0
	再生可能エネルギーへの転換	4.4	2.8	4.5	6.0	4.4	4.5	3.1	0.0
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	6.6	2.8	2.8	2.1	1.8	9.1	3.1	0.0
	海外戦略	3.3	2.8	3.3	1.3	1.8	4.5	2.3	3.7
	文化芸術の振興	0.0	2.2	1.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0
その他	0.0	4.4	4.5	4.7	3.5	0.0	4.0	11.1	
無回答	1.1	0.6	0.0	1.3	3.5	4.5	2.9	0.0	

【職業別】

- ・ 学生以外の職業で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・ 学生は「雇用の場の創出」の割合が最も高い。
- ・ 農林畜産業は他の職業に比べ、「人口減少への対応」、「農林畜産業の振興」の割合が高い。
- ・ 学生は他の職業に比べ、「観光の振興」、「伝統文化の保存・活用」の割合が高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		11	42	56	133	1,143
今後の重要課題(%)	急激な高齢者の増加への対応	9.1	38.1	35.7	33.1	51.3
	医療・福祉サービスの確保	27.3	19.0	28.6	35.3	35.3
	少子化対策	45.5	40.5	30.4	27.1	26.3
	雇用の場の創出	27.3	31.0	28.6	27.8	26.7
	人口減少への対応	18.2	14.3	16.1	24.8	26.7
	地震や豪雨災害などへの備え	27.3	19.0	23.2	25.6	20.3
	地域経済の活性化	9.1	23.8	19.6	20.3	18.3
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.1	9.5	14.3	15.0	8.7
	観光の振興	9.1	16.7	10.7	12.8	7.4
	自然環境の保全	9.1	7.1	8.9	8.3	8.0
	農林畜産業の振興	18.2	9.5	5.4	3.8	7.6
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.1	0.0	10.7	4.5	7.3
	学校教育や生涯学習の充実	18.2	9.5	14.3	9.0	5.3
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	2.4	8.9	5.3	5.8
	安全安心の確保	18.2	0.0	7.1	6.8	5.5
	伝統文化の保存・活用	0.0	4.8	7.1	4.5	4.5
	再生可能エネルギーへの転換	9.1	4.8	5.4	6.0	3.7
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	0.0	2.4	3.6	2.3	3.1
	海外戦略	9.1	4.8	1.8	3.0	2.4
	文化芸術の振興	9.1	2.4	3.6	0.8	1.0
その他	0.0	9.5	5.4	3.0	3.9	
無回答	0.0	2.4	0.0	1.5	1.5	

【定住年数別】

- ・ 5年以上～10年未満及び20年以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・ 10年以上～20年未満は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 1年未満及び1年以上～5年未満は「少子化対策」の割合が最も高い。

3 高山市の取り組みに対する満足度と重要度

【満足度】

- ・「安全で安心な水を安定して供給する」が最も高く、「誰もが能力を活かして働くことのできる環境を整備する」がもっとも低い。
- ・上位3施策について前回の調査結果と比べると、3施策とも前回と同じ順位となっている。
- ・下位3施策について前回の調査結果と比べると、43位と42位は前回と同じだが、41位の「災害に強いまちをつくる」は前回の34位から41位に下がっている。

【重要度】

- ・「災害に強いまちをつくる」が最も高く、「あらたな文化の創造と振興を図る」が最も低い。
- ・上位3施策について前回の調査結果と比べると、3施策は前回と同じであるが、「災害に強いまちをつくる」が「いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する」に替わって1位になっている。
- ・下位3施策について前回の調査結果と比べると、順位の入替わりがあるが、3施策とも前回と同じとなっている。

問8 高山市では、「第七次総合計画」に基づき、平成17年度から平成26年度の10年間、様々な施策に取り組んできました。あなたは、これらの施策についてどのようにお考えですか。それぞれの施策ごとにあなたの考えに近いものを選んでください。（あてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

【A】あなたは、現在、この施策にどのくらい満足していますか。

【B】あなたは、今後、まちづくりをすすめていくうえで、この施策がどのくらい重要だと思いますか。

（「重要度」、「満足度」における点数化の方法）

【A】現在の満足度	点数	【B】今後の重要度	点数
1 満足である	→ 50点	1 重要である	→ 50点
2 やや満足である	→ 25点	2 やや重要である	→ 25点
3 やや不満である	→ -25点	3 あまり重要でない	→ -25点
4 不満である	→ -50点	4 重要でない	→ -50点
5 分からない	→	5 分からない	→
無回答	→ 計算対象外	無回答	→ 計算対象外

（計算式）

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times (50) + (\text{やや満足}) \times (25) + (\text{やや不満}) \times (-25) + (\text{不満}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times (50) + (\text{やや重要}) \times (25) + (\text{あまり重要でない}) \times (-25) + (\text{重要でない}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

【A】現在の満足度

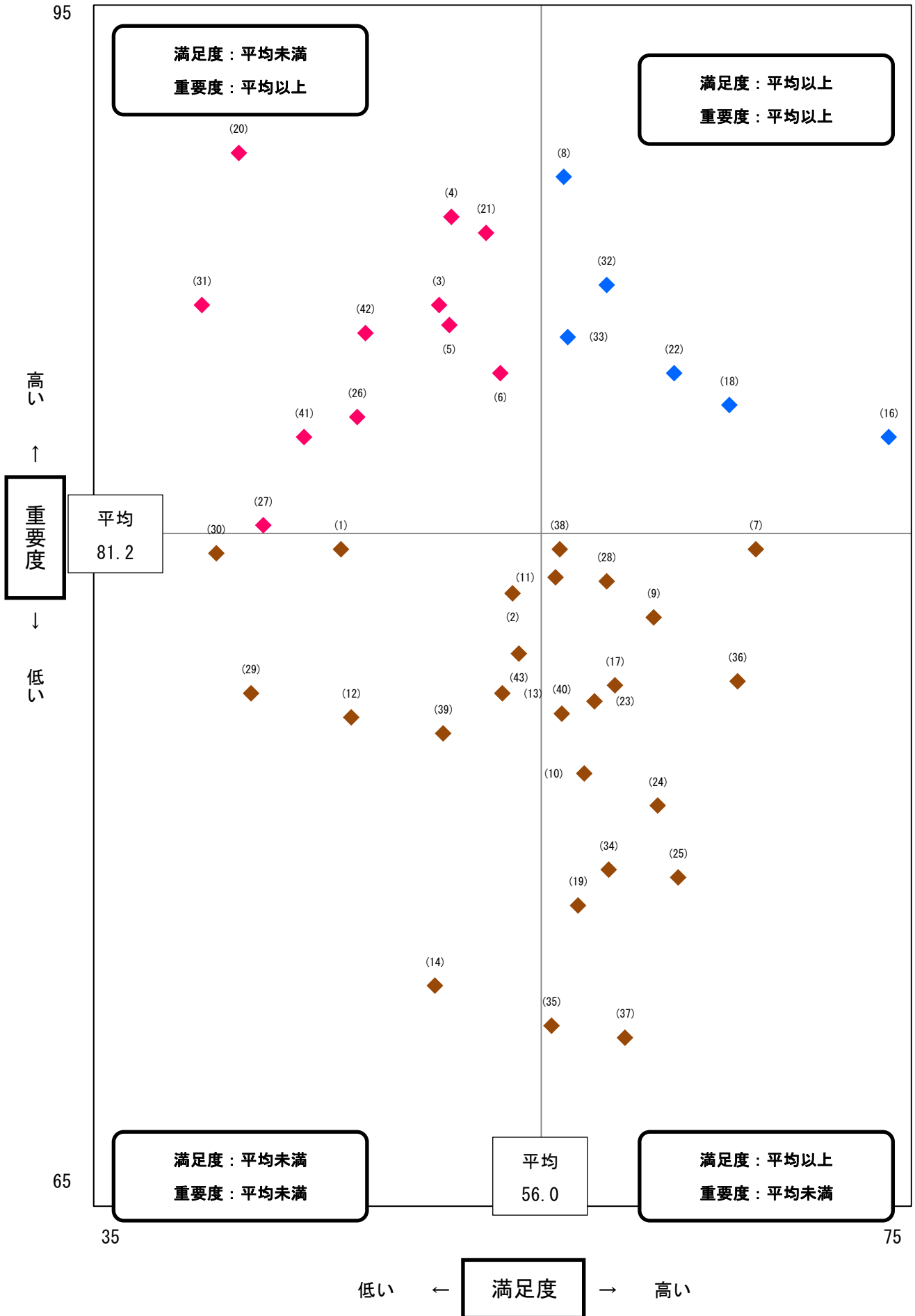
基本施策	(分野)	点数	順位	(前回 H25)	
				点数	順位
(15) 安全で安心な水を安定して供給する	(上・下水道)	75.8	1	73.8	1
(16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	(上・下水道)	73.9	2	73.0	2
(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する	(健康・保健・医療)	67.4	3	68.3	3
(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	(文化)	66.5	4	66.9	4
(18) 資源循環型社会の実現を図る	(環境・衛生)	66.1	5	66.8	5
(25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	(観光)	63.6	6	61.8	10
(22) 日常生活における安全を確保する	(安全)	63.4	7	62.1	9
(24) 人々のこころを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う	(観光)	62.6	8	61.3	11
(9) 恵まれた自然を守り活かす	(自然)	62.4	9	66.5	6
(37) あらたな文化の創造と振興を図る	(文化)	61.0	10	62.2	7
(17) 快適に暮らせる環境を整備する	(環境・衛生)	60.5	11	60.4	13
(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	(生涯学習)	60.2	12	62.2	7
(32) 義務教育の充実を図る	(学校教育)	60.1	13	58.2	19
(28) 安定した畜産経営環境を整備する	(畜産業)	60.1	13	60.2	14
(23) 消費生活の安全と向上を図る	(安全)	59.5	15	60.6	12
(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	(景観)	59.0	16	59.6	15
(19) 情報社会の恩恵を享受する	(情報)	58.7	17	57.9	20
(33) 幼児教育や高等教育の充実を図る	(学校教育)	58.2	18	57.6	23
(8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	(健康・保健・医療)	58.0	19	57.9	20
(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	(市民参画)	57.9	20	58.3	18
(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる	(地域)	57.8	21	58.8	17
(11) 便利で快適な道路環境を整備する	(道路・交通)	57.6	22	55.3	29
(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	(スポーツ)	57.4	23	58.9	16
(43) 地域全体の調和のとれた発展を図る	(行財政運営)	55.8	24	55.8	27
(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる	(地域福祉)	55.5	25	57.7	22
(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	(住宅・公園)	55.0	26	57.4	24
(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	(障がい者福祉)	54.9	27	56.6	26
(21) 災害における市民の暮らしを守る	(防災)	54.2	28	56.9	25
(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	(児童福祉)	52.5	29	54.8	30
(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる	(高齢者福祉)	52.4	30	55.7	28
(39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる	(地域)	52.1	31	54.7	31
(3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	(地域福祉)	51.9	32	54.7	31
(14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する	(住宅・公園)	51.7	33	52.6	33
(42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る	(行財政運営)	48.3	34	50.2	34
(26) 個性ある農業生産地づくりを行う(農業を基盤とした体験交流の促進を図る)	(農業)	47.9	35	49.1	36
(12) 公共交通機関の利便性を高める	(道路・交通)	47.6	36	48.5	38
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	(土地利用)	47.1	37	47.9	39
(41) 簡素で効率的な行政運営を行う	(行財政運営)	45.3	38	49.0	37
(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	(林業)	43.3	39	43.9	40
(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	(商業)	42.7	40	41.7	41
(20) 災害に強いまちをつくる	(防災)	42.1	41	50.2	34
(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	(工業)	41.0	42	40.3	42
(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	(労働)	40.3	43	38.4	43

【B】今後の重要度

基本施策	(分野)	点数	順位	(前回)	
				点数	順位
(20) 災害に強いまちをつくる	(防災)	91.3	1	89.8	2
(8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	(健康・保健・医療)	90.7	2	91.5	1
(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	(児童福祉)	89.7	3	89.8	2
(21) 災害における市民の暮らしを守る	(防災)	89.3	4	87.8	7
(15) 安全で安心な水を安定して供給する	(上・下水道)	88.0	5	88.5	4
(32) 義務教育の充実を図る	(学校教育)	88.0	5	88.0	6
(3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	(地域福祉)	87.5	7	87.3	9
(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	(労働)	87.5	7	87.5	8
(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる	(高齢者福祉)	87.0	9	86.7	12
(42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る	(行財政運営)	86.8	10	88.1	5
(33) 幼児教育や高等教育の充実を図る	(学校教育)	86.7	11	86.8	11
(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	(障がい者福祉)	85.8	12	86.9	10
(22) 日常生活における安全を確保する	(安全)	85.8	12	86.0	14
(18) 資源循環型社会の実現を図る	(環境・衛生)	85.0	14	84.5	17
(26) 個性ある農業生産地づくりを行う(農業を基盤とした体験交流の促進を図る)	(農業)	84.7	15	85.1	16
(16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	(上・下水道)	84.2	16	85.5	15
(41) 簡素で効率的な行政運営を行う	(行財政運営)	84.2	16	86.3	13
(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	(林業)	82.0	18	82.3	22
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	(土地利用)	81.4	19	83.3	19
(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する	(健康・保健・医療)	81.4	19	83.4	18
(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる	(地域)	81.4	19	82.7	21
(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	(工業)	81.3	22	82.8	20
(11) 便利で快適な道路環境を整備する	(道路・交通)	80.7	23	81.5	25
(28) 安定した畜産経営環境を整備する	(畜産業)	80.6	24	82.1	23
(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる	(地域福祉)	80.3	25	81.6	24
(9) 恵まれた自然を守り活かす	(自然)	79.7	26	80.7	27
(43) 地域全体の調和のとれた発展を図る	(行財政運営)	78.8	27	81.3	26
(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	(文化)	78.1	28	78.3	32
(17) 快適に暮らせる環境を整備する	(環境・衛生)	78.0	29	79.3	28
(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	(住宅・公園)	77.8	30	76.4	35
(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	(商業)	77.8	30	79.2	29
(23) 消費生活の安全と向上を図る	(安全)	77.6	32	77.7	34
(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	(市民参画)	77.3	33	78.9	30
(12) 公共交通機関の利便性を高める	(道路・交通)	77.2	34	76.1	36
(39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる	(地域)	76.8	35	78.7	31
(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	(景観)	75.8	36	77.8	33
(24) 人々のこころを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う	(観光)	75.0	37	73.6	38
(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	(生涯学習)	73.4	38	74.5	37
(25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	(観光)	73.2	39	72.4	40
(19) 情報社会の恩恵を享受する	(情報)	72.5	40	72.8	39
(14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する	(住宅・公園)	70.5	41	70.0	43
(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	(スポーツ)	69.5	42	70.8	42
(37) あらたな文化の創造と振興を図る	(文化)	69.2	43	71.1	41


満足度と重要度の相関図


※相関図中の番号は、次頁の基本施策一覧の番号となっています



(参考) 第七次総合計画基本施策一覧 (施策体系順)

分野		基本施策
土地利用		(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る
地域福祉		(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる
		(3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる
児童福祉		(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる
高齢者福祉		(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる
障がい者福祉		(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる
健康・保健・医療		(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する
		(8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
自然		(9) 恵まれた自然を守り活かす
景観		(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する
道路・交通		(11) 便利で快適な道路環境を整備する
		(12) 公共交通機関の利便性を高める
住宅・公園		(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する
		(14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する
上・下水道		(15) 安全で安心な水を安定して供給する
		(16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る
環境・衛生		(17) 快適に暮らせる環境を整備する
		(18) 資源循環型社会の実現を図る
情報		(19) 情報社会の恩恵を享受する
防災		(20) 災害に強いまちをつくる
		(21) 災害における市民の暮らしを守る
安全		(22) 日常生活における安全を確保する
		(23) 消費生活の安全と向上を図る
観光		(24) 人々のこころを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う
		(25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう
農業		(26) 個性ある農業生産地づくりを行う
林業		(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する
畜産業		(28) 安定した畜産経営環境を整備する
商業		(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る
工業		(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る
労働		(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する
学校教育		(32) 義務教育の充実を図る
		(33) 幼児教育や高等教育の充実を図る
生涯学習		(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる
スポーツ		(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
文化		(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える
		(37) あらたな文化の創造と振興を図る
地域		(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる
		(39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる
市民参画		(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む
行財政運営		(41) 簡素で効率的な行政運営を行う
		(42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る
		(43) 地域全体の調和のとれた発展を図る

 …前頁の満足度と重要度の相関図における、満足度：平均未満、重要度：平均以上の施策

 …前頁の満足度と重要度の相関図における、満足度：平均以上、重要度：平均以上の施策

3 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

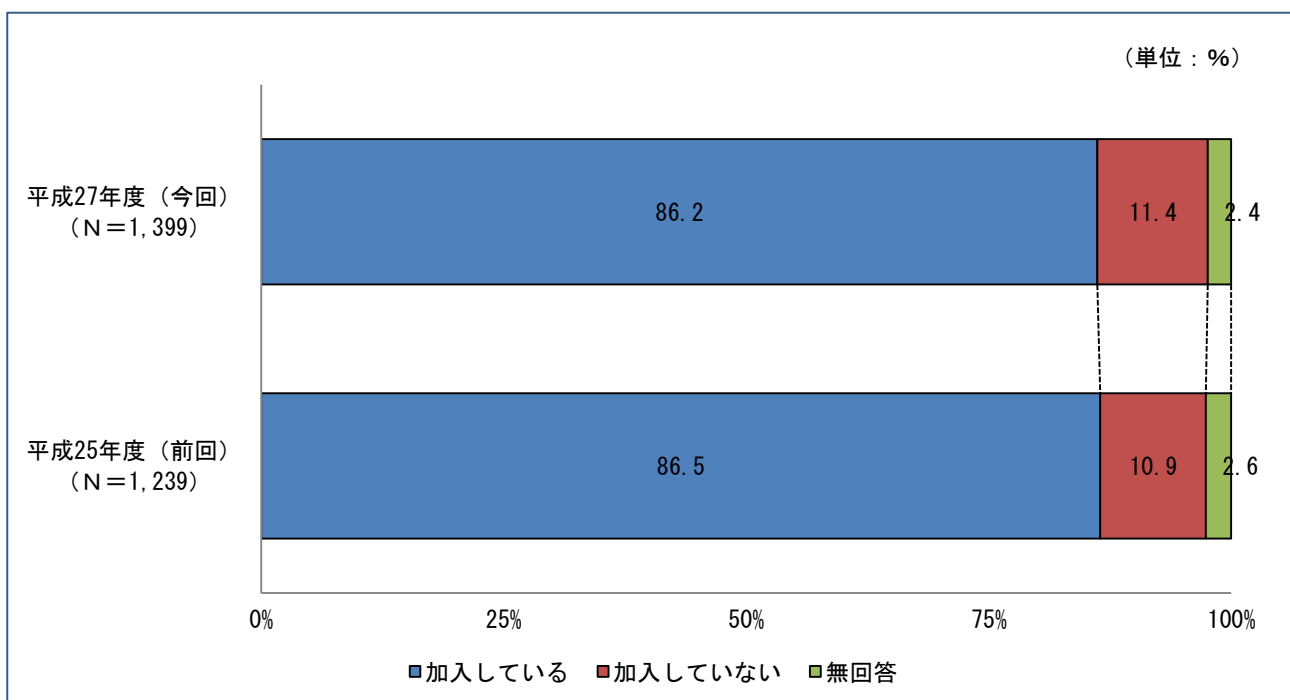
1 町内会への加入状況

・「加入している」が86.2%で、前回の調査結果（86.5%）とほぼ同じ割合である。

問9 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	1,206	86.2
加入していない	160	11.4
無回答	33	2.4
計	1,399	

(標本数：1,399件)



属性別集計（年齢別、家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	87	71.3	27.6	1.1
	30代	137	67.9	32.1	0.0
	40代	200	87.5	12.5	0.0
	50代	215	91.2	6.0	2.8
	60代	334	89.5	7.2	3.3
	70代以上	409	89.5	7.1	3.4
家族構成	単身世帯	121	58.7	33.1	8.3
	夫婦のみ	303	90.1	7.9	2.0
	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	582 (197)	87.5 (87.3)	10.8 (11.7)	1.7 (1.0)
	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	331 (189)	90.0 (89.4)	8.5 (9.0)	1.5 (1.6)
	その他	28	92.9	7.1	0.0
定住年数	1年未満	11	27.3	72.7	0.0
	1年以上～5年未満	42	50.0	47.6	2.4
	5年以上～10年未満	56	71.4	28.6	0.0
	10年以上～20年未満	133	88.7	9.0	2.3
	20年以上	1,143	88.5	8.9	2.5
居住形態	持ち家	1,225	91.1	6.7	2.2
	借家	118	40.7	56.8	2.5
	間借	5	40.0	40.0	20.0
	社宅・寮	22	68.2	27.3	4.5
	その他	12	91.7	8.3	0.0

【年齢別】

- ・全ての年齢で「加入している」の割合が最も高い。

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「加入している」の割合が最も高い。

【定住年数別】

- ・1年未満は「加入していない」の割合が最も高く、それ以外の定住年数は「加入している」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・借家及び間借は「加入していない」の割合が最も高く、それ以外の居住形態は「加入している」の割合が最も高い（間借は「加入している」と「加入していない」は同率）。

1-2 町内会に加入しない理由

・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

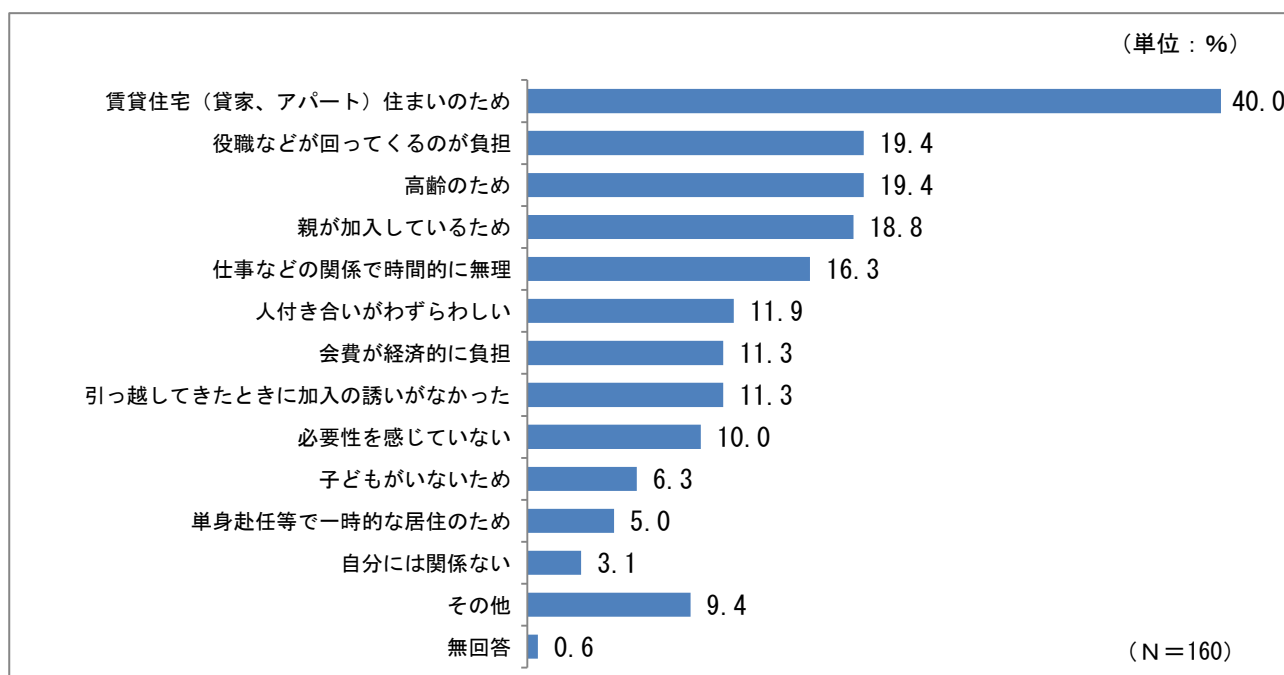
問9-2 問9で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（3つまで○印）

	回答数（件）	回答率（％）
賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	64	40.0
役職などが回ってくるのが負担	31	19.4
高齢のため	31	19.4
親が加入しているため	30	18.8
仕事などの関係で時間的に無理	26	16.3
人付き合いがわずらわしい	19	11.9
会費が経済的に負担	18	11.3
引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	18	11.3
必要性を感じていない	16	10.0
子どもがいないため	10	6.3
単身赴任等で一時的な居住のため	8	5.0
自分には関係ない	5	3.1
その他	15	9.4
無回答	1	0.6
計	292	

（標本数：160件）

※「その他」の内容

・「子どもが加入しているため」、「健康上の理由」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		24	44	25	13	24	29
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	33.3	43.2	64.0	61.5	37.5	13.8
	役職などが回ってくるのが負担	12.5	15.9	24.0	30.8	29.2	10.3
	高齢のため	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	86.2
	親が加入しているため	25.0	38.6	20.0	15.4	0.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	8.3	15.9	20.0	30.8	16.7	13.8
	人付き合いがわずらわしい	16.7	11.4	16.0	7.7	16.7	0.0
	会費が経済的に負担	12.5	11.4	12.0	15.4	4.2	13.8
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	16.7	9.1	16.0	7.7	16.7	3.4
	必要性を感じていない	12.5	6.8	8.0	0.0	16.7	13.8
	子どもがいないため	4.2	6.8	16.0	15.4	0.0	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	16.7	2.3	4.0	7.7	0.0	3.4
	自分には関係ない	4.2	2.3	4.0	0.0	0.0	6.9
	その他	12.5	6.8	0.0	0.0	20.8	13.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	

【年齢別】

- ・ 10代～60代は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		40	24	63	(23)	28	(17)	2
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	65.0	54.2	39.7	(52.2)	0.0	0.0	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	10.0	16.7	28.6	(34.8)	7.1	(5.9)	50.0
	高齢のため	10.0	29.2	19.0	(13.0)	17.9	(17.6)	50.0
	親が加入しているため	2.5	12.5	19.0	(8.7)	50.0	(52.9)	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	20.0	25.0	14.3	(13.0)	10.7	(11.8)	0.0
	人付き合いがわずらわしい	7.5	0.0	15.9	(13.0)	10.7	(5.9)	50.0
	会費が経済的に負担	5.0	0.0	23.8	(34.8)	3.6	0.0	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	15.0	8.3	15.9	(30.4)	0.0	0.0	0.0
	必要性を感じていない	5.0	20.8	12.7	(8.7)	3.6	(5.9)	0.0
	子どもがいないため	10.0	12.5	3.2	0.0	3.6	(5.9)	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	17.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自分には関係ない	2.5	4.2	0.0	0.0	10.7	(17.6)	0.0
	その他	5.0	4.2	7.9	(4.3)	21.4	(17.6)	50.0
無回答	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世帯世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・三世帯世帯は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		8	20	16	12	102
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	37.5	60.0	62.5	66.7	30.4
	役職などが回ってくるのが負担	0.0	20.0	18.8	33.3	18.6
	高齢のため	12.5	10.0	6.3	8.3	24.5
	親が加入しているため	25.0	10.0	12.5	8.3	22.5
	仕事などの関係で時間的に無理	25.0	5.0	31.3	0.0	17.6
	人付き合いがわずらわしい	0.0	10.0	25.0	8.3	10.8
	会費が経済的に負担	0.0	5.0	12.5	16.7	12.7
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	12.5	25.0	12.5	8.3	8.8
	必要性を感じていない	0.0	10.0	0.0	16.7	10.8
	子どもがいないため	0.0	10.0	12.5	8.3	4.9
	単身赴任等で一時的な居住のため	25.0	20.0	6.3	0.0	1.0
	自分には関係ない	0.0	5.0	6.3	8.3	1.0
	その他	0.0	10.0	0.0	8.3	11.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。

属性別集計(居住形態別)

		居住形態				
		持ち家	借家	間借	社宅・寮	その他
標本数(件)		82	67	2	6	1
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	3.7	85.1	50.0	50.0	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	20.7	17.9	0.0	0.0	100.0
	高齢のため	32.9	4.5	0.0	0.0	0.0
	親が加入しているため	34.1	3.0	0.0	0.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	17.1	17.9	0.0	0.0	0.0
	人付き合いがわずらわしい	11.0	10.4	0.0	16.7	100.0
	会費が経済的に負担	13.4	10.4	0.0	0.0	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	2.4	22.4	0.0	16.7	0.0
	必要性を感じていない	11.0	10.4	0.0	0.0	0.0
	子どもがいないため	4.9	9.0	0.0	0.0	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	0.0	9.0	0.0	33.3	0.0
	自分には関係ない	4.9	1.5	0.0	0.0	0.0
	その他	13.4	1.5	50.0	16.7	100.0
無回答	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住形態別】

- ・持ち家以外の居住形態は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・持ち家は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

2 まちづくり協議会の認知度

- ・「名前は知っている」の割合が最も高い。
- ・「よく知っている」と「名前は知っている」を合わせると71.9%を占めている。

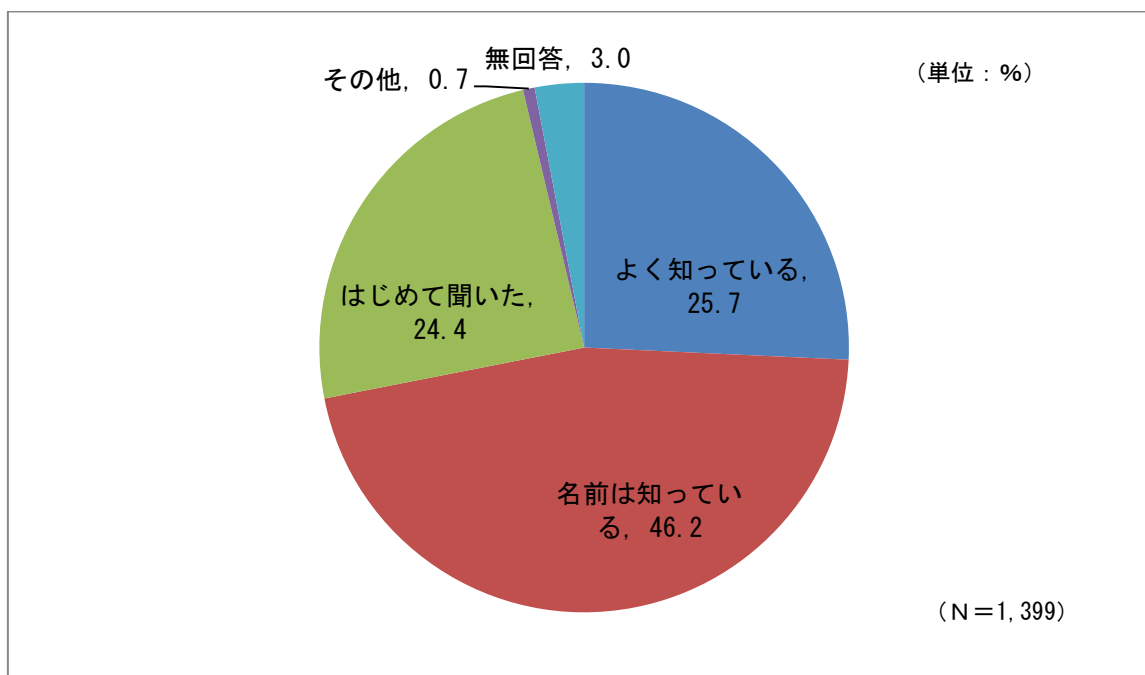
問10 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会について知っていますか。(1つに○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会をよく知っている	360	25.7
名前は知っているが、何をする組織かわからない	646	46.2
まちづくり協議会という名前をはじめて聞いた	341	24.4
その他	10	0.7
無回答	42	3.0
計	1,399	

(標本数：1,399件)

※「その他」の内容

- ・「なんとなく知っている」など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の認知度(%)					その他	無回答
			よく知っている	名前を知っているが、何を する組織かわからない	名前を知っているが、何を する組織かわからない	名前を知っているが、何を する組織かわからない	名前を知っているが、何を する組織かわからない		
年齢	10代・20代	87	9.2	39.1	51.7	0.0	0.0		
	30代	137	9.5	48.9	40.9	0.0	0.7		
	40代	200	25.0	49.5	25.5	0.0	0.0		
	50代	215	25.6	48.4	21.4	2.3	2.3		
	60代	334	30.8	45.2	18.3	1.5	4.2		
	70代以上	409	31.5	44.3	18.8	0.0	5.4		
居住地域	高山地域	909	21.7	44.8	29.9	0.7	3.0		
	丹生川地域	80	37.5	51.3	7.5	1.3	2.5		
	清見地域	47	29.8	53.2	12.8	0.0	4.3		
	荘川地域	20	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
	一之宮地域	45	28.9	51.1	17.8	0.0	2.2		
	久々野地域	66	42.4	42.4	7.6	1.5	6.1		
	朝日地域	33	33.3	45.5	15.2	0.0	6.1		
	高根地域	14	21.4	57.1	14.3	7.1	0.0		
	国府地域	102	34.3	47.1	16.7	1.0	1.0		
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	63	22.2	55.6	17.5	0.0	4.8		
定住年数	1年未満	11	9.1	18.2	72.7	0.0	0.0		
	1年以上～5年未満	42	16.7	28.6	50.0	2.4	2.4		
	5年以上～10年未満	56	16.1	67.9	16.1	0.0	0.0		
	10年以上～20年未満	133	15.0	54.1	28.6	0.8	1.5		
	20年以上	1,143	28.0	45.1	22.7	0.7	3.4		
居住形態	持ち家	1,225	27.7	46.6	22.1	0.7	2.9		
	借家(アパート含む)	118	9.3	44.1	43.2	0.0	3.4		
	間借	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		
	社宅・寮	22	13.6	36.4	45.5	0.0	4.5		
	その他	12	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0		

【年齢別】

- ・ 10代・20代は「まちづくり協議会という名前をはじめて聞いた」の割合が最も高い。
- ・ 30代以上は「名前は知っているが、何を
する組織かわからない」の割合が最も高い。

【居住地域別】

- ・ 全ての地域で「名前は知っているが、何を
する組織かわからない」の割合が最も高い（荘川地域と久々野地域では「よく知っている」、「名前は知っているが、何を
する組織かわからない」は同率）。

【定住年数別】

- ・ 1年未満及び1年以上～5年未満は「まちづくり協議会という名前をはじめて聞いた」の割合が最も高い。
- ・ 5年以上は「名前は知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家及び借家（アパート含む）は「名前は知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。
- ・ 社宅・寮は「まちづくり協議会という名前をはじめて聞いた」の割合が最も高い。

3 まちづくり活動に参加しやすくするための条件

- ・「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・次いで、「簡単に参加できる」、「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が高い。

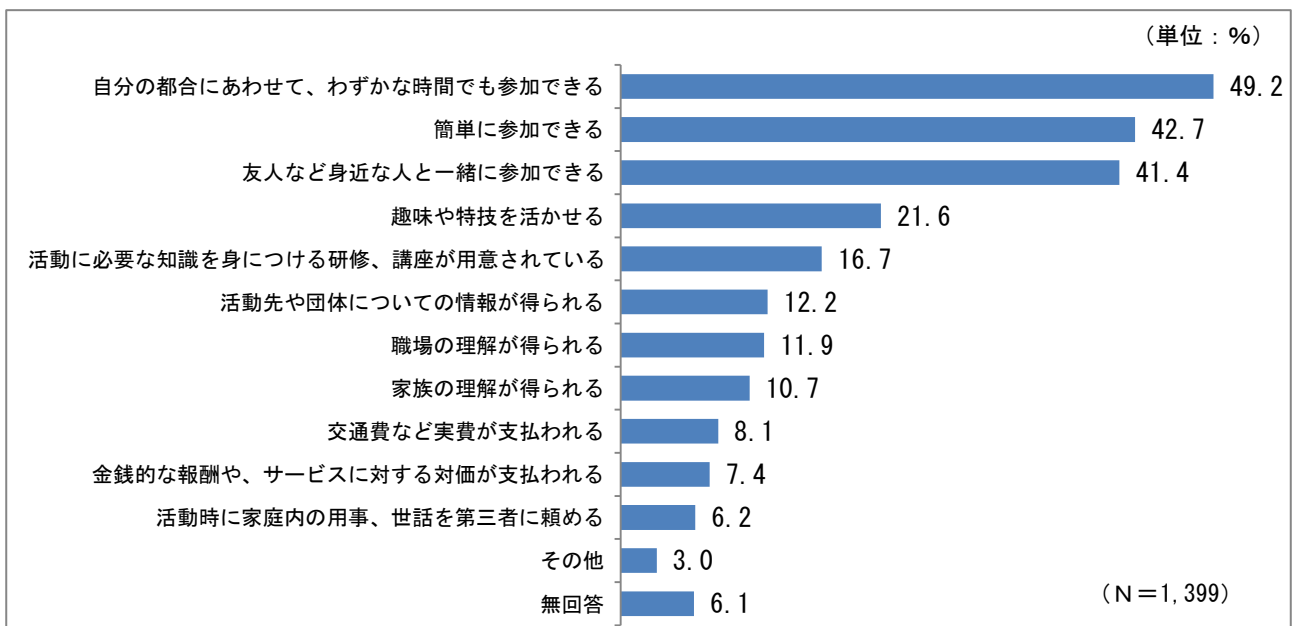
問10 あなたは、地域活動や市民活動など、まちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	688	49.2
簡単に参加できる	598	42.7
友人など身近な人と一緒に参加できる	579	41.4
趣味や特技を活かせる	302	21.6
活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	233	16.7
活動先や団体についての情報が得られる	171	12.2
職場の理解が得られる	167	11.9
家族の理解が得られる	149	10.7
交通費など実費が支払われる	114	8.1
金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	103	7.4
活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	87	6.2
その他	42	3.0
無回答	85	6.1
計	3,318	

(標本数：1,399件)

※「その他」の内容

- ・「高齢、障がい、病気でなければ」、「オンライン会議等、各々の空き時間に参加しやすい仕組みがあれば」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		564	773	87	137	200	215	334	409
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	52.1	48.4	56.3	56.2	53.5	54.4	50.3	39.9
	簡単に参加できる	41.0	44.9	44.8	46.0	40.0	47.0	45.5	38.4
	友人など身近な人と一緒に参加できる	36.3	45.1	47.1	40.9	35.0	31.2	37.1	52.3
	趣味や特技を活かせる	28.5	16.7	23.0	18.2	19.0	26.0	24.3	19.3
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	15.1	17.7	10.3	14.6	11.5	25.1	20.1	14.7
	活動先や団体についての情報が得られる	12.8	11.5	9.2	10.9	6.0	17.7	14.7	11.5
	職場の理解が得られる	13.8	10.9	14.9	29.2	26.0	10.7	8.7	2.2
	家族の理解が得られる	8.3	12.7	2.3	4.4	9.5	9.8	11.4	14.7
	交通費など実費が支払われる	7.8	8.4	16.1	15.3	7.0	6.5	6.3	7.3
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	8.7	6.3	13.8	9.5	10.5	7.9	6.6	3.9
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	3.9	8.3	8.0	13.9	14.0	2.8	3.0	3.7
	その他	3.5	2.3	0.0	1.5	3.0	1.4	2.7	5.1
無回答	5.1	6.0	2.3	0.7	2.5	2.8	5.7	12.5	

【性別】

- ・男性・女性とも「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代～60代は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・70代以上は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		121	303	582	197	331	189	28
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	47.1	47.5	53.6	(53.8)	45.6	(45.5)	39.3
	簡単に参加できる	40.5	41.9	43.5	(42.1)	44.7	(45.0)	35.7
	友人など身近な人と一緒に参加できる	36.4	40.3	42.8	(44.7)	41.1	(41.8)	42.9
	趣味や特技を活かせる	19.8	24.1	19.4	(16.8)	24.2	(21.7)	17.9
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	8.3	19.8	16.7	(15.2)	18.4	(15.9)	14.3
	活動先や団体についての情報が得られる	10.7	14.5	10.1	(8.1)	14.2	(13.8)	14.3
	職場の理解が得られる	12.4	7.9	14.9	(19.8)	10.3	(10.6)	17.9
	家族の理解が得られる	3.3	10.6	11.2	(11.7)	12.1	(11.1)	7.1
	交通費など実費が支払われる	14.0	4.6	8.6	(8.6)	8.2	(10.1)	10.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	8.3	5.6	7.0	(6.6)	7.9	(6.3)	10.7
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	5.0	4.3	7.4	(12.7)	6.9	(10.6)	3.6
	その他	4.1	3.6	2.7	(3.0)	2.4	(1.6)	3.6
無回答	14.0	5.6	4.5	(4.1)	5.7	(5.3)	7.1	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で、「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		91	180	359	235	114	22	350	27
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	46.2	53.9	53.5	50.2	50.0	59.1	40.3	59.3
	簡単に参加できる	45.1	40.0	41.5	49.4	50.9	54.5	37.4	37.0
	友人など身近な人と一緒に参加できる	42.9	34.4	35.7	42.6	51.8	54.5	46.9	29.6
	趣味や特技を活かせる	23.1	24.4	23.7	20.0	14.0	13.6	21.1	22.2
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	18.7	21.1	14.2	18.7	20.2	9.1	14.3	25.9
	活動先や団体についての情報が得られる	17.6	12.8	9.5	13.2	14.0	18.2	12.3	11.1
	職場の理解が得られる	2.2	7.2	26.7	15.3	6.1	4.5	2.6	3.7
	家族の理解が得られる	18.7	7.8	6.7	8.5	17.5	0.0	14.3	7.4
	交通費など実費が支払われる	4.4	7.2	9.7	8.5	7.0	9.1	7.7	11.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	2.2	6.7	10.0	8.9	2.6	9.1	5.7	11.1
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	8.8	6.7	6.4	6.8	9.6	0.0	3.4	14.8
	その他	1.1	2.8	1.7	3.4	2.6	0.0	5.1	0.0
無回答	7.7	6.1	3.1	2.6	2.6	4.5	11.7	11.1	

【職業別】

- ・ 農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、学生は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・ 家事従事者及び無職は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		11	42	56	133	1,143
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	54.5	52.4	64.3	48.9	48.4
	簡単に参加できる	45.5	42.9	35.7	45.1	42.8
	友人など身近な人と一緒に参加できる	27.3	19.0	35.7	42.9	42.5
	趣味や特技を活かせる	27.3	26.2	23.2	24.1	21.0
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	0.0	9.5	17.9	15.8	17.3
	活動先や団体についての情報が得られる	27.3	7.1	8.9	13.5	12.3
	職場の理解が得られる	9.1	16.7	25.0	9.0	11.5
	家族の理解が得られる	0.0	7.1	5.4	8.3	11.4
	交通費など実費が支払われる	0.0	19.0	14.3	10.5	7.3
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	9.1	16.7	10.7	7.5	6.7
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	9.1	11.9	14.3	8.3	5.4
その他	9.1	9.5	1.8	1.5	2.9	
無回答	0.0	2.4	3.6	4.5	6.5	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

4 重点的に協働で取り組むべき分野

・「福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）」の割合が最も高い。

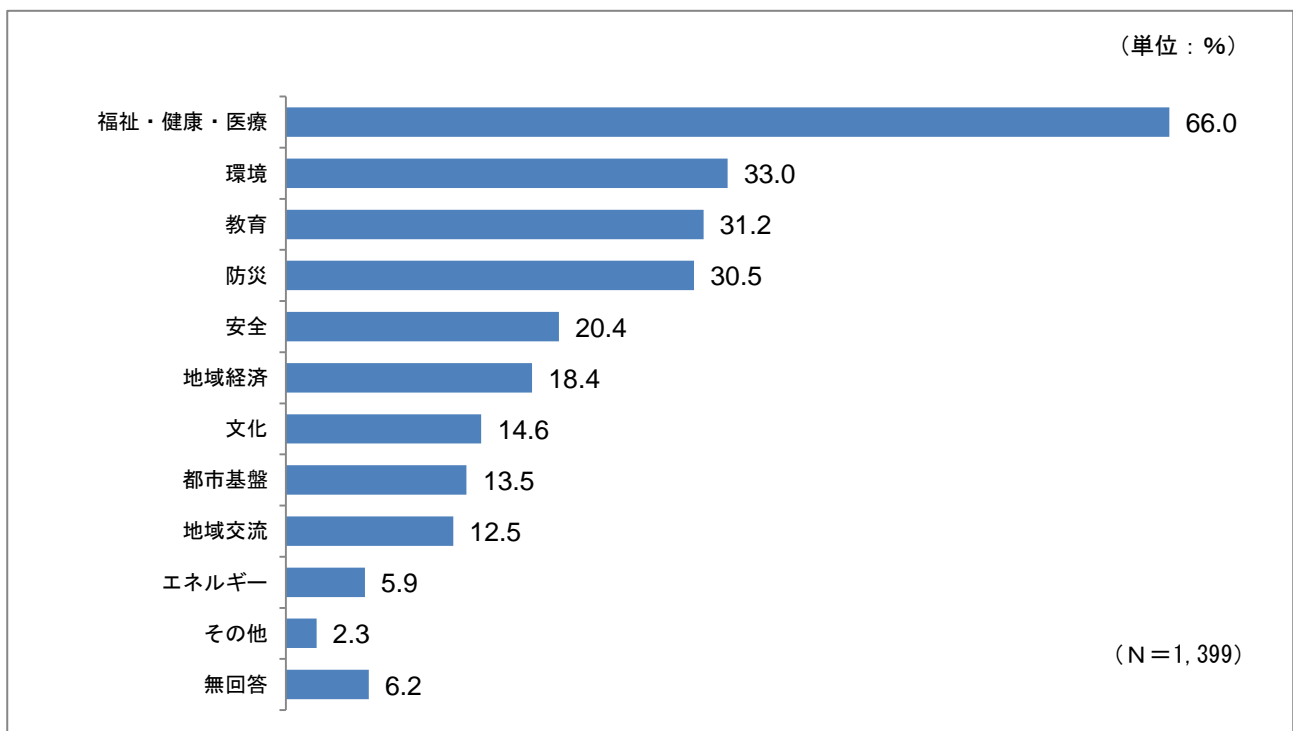
問12 あなたは、どのような分野を重点的にまちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。（3つまで〇印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	923	66.0
環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	461	33.0
教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	437	31.2
防災（災害予防、被災者支援など）	426	30.5
安全（防犯、交通安全など）	286	20.4
地域経済（商店街の活性化など）	258	18.4
文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	204	14.6
都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	189	13.5
地域交流（地域活動、ボランティア、NPO活動など）	175	12.5
エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	83	5.9
その他（※）	32	2.3
無回答	87	6.2
計	3,561	

（標本数：1,399件）

※「その他」内容

・「雇用の場の創出」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		564	773	87	137	200	215	334	409
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	58.3	71.8	58.6	70.1	61.5	63.7	65.9	69.7
	環境	35.5	31.0	28.7	27.7	24.5	36.3	44.0	28.4
	教育	30.5	32.7	36.8	44.5	37.0	33.0	23.7	27.6
	防災	28.2	32.3	27.6	32.8	29.5	36.3	30.5	27.9
	安全	21.5	20.8	25.3	28.5	23.0	19.1	19.8	17.6
	地域経済	18.8	18.4	28.7	24.8	21.5	20.5	16.8	12.7
	文化	16.5	13.8	19.5	18.2	14.0	12.6	13.2	14.9
	都市基盤	17.4	10.5	13.8	10.9	14.5	13.0	16.2	12.0
	地域交流	14.0	12.0	12.6	9.5	19.0	15.8	12.3	9.3
	エネルギー	6.0	6.0	5.7	2.9	8.5	5.6	6.9	5.4
	その他	3.0	1.9	3.4	1.5	3.0	2.3	1.5	2.7
	無回答	4.6	6.1	1.1	1.5	2.5	2.3	5.7	13.2

【性別】

- ・男女とも「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・全ての年代で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。
- ・「地域経済」は年齢が若いほど割合が高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						その他
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	
標本数(件)		121	303	582	(197)	331	(189)	28
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	55.4	64.4	67.5	(66.0)	67.7	(69.8)	75.0
	環境	26.4	32.0	33.7	(29.9)	32.3	(31.2)	42.9
	教育	25.6	27.4	29.7	(38.1)	40.8	(41.8)	14.3
	防災	28.1	34.0	31.8	(31.5)	26.0	(22.8)	39.3
	安全	17.4	16.5	21.3	(26.4)	24.5	(24.3)	28.6
	地域経済	18.2	17.8	19.8	(21.3)	18.1	(20.1)	10.7
	文化	22.3	15.5	11.7	(11.7)	17.2	(16.4)	7.1
	都市基盤	11.6	13.5	15.1	(13.2)	11.2	(10.6)	14.3
	地域交流	11.6	12.9	13.7	(10.7)	11.8	(11.1)	3.6
	エネルギー	8.3	5.6	6.2	(6.1)	4.8	(5.8)	14.3
	その他	4.1	2.0	2.1	(2.0)	2.4	(1.6)	3.6
	無回答	12.4	8.3	4.5	(4.1)	4.8	(5.3)	3.6

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。
- ・三世帯世帯は他の家族構成に比べ、「教育」の割合が高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		91	180	359	235	114	22	350	27
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	70.3	59.4	63.0	68.5	68.4	50.0	70.3	63.0
	環境	45.1	33.3	30.4	33.2	36.8	31.8	31.4	11.1
	教育	39.6	27.8	33.7	30.2	30.7	45.5	27.1	44.4
	防災	25.3	20.6	32.6	33.6	34.2	13.6	31.7	40.7
	安全	16.5	20.0	22.0	23.0	27.2	13.6	17.7	18.5
	地域経済	13.2	28.9	20.3	22.6	15.8	31.8	9.1	18.5
	文化	17.6	17.2	17.8	11.5	14.9	22.7	11.1	11.1
	都市基盤	12.1	17.2	15.0	13.2	7.0	18.2	12.3	11.1
	地域交流	14.3	12.2	15.9	13.2	8.8	9.1	9.4	18.5
	エネルギー	3.3	8.3	5.0	7.7	7.9	4.5	5.1	3.7
	その他	3.3	3.3	1.4	3.4	0.9	0.0	2.6	0.0
	無回答	3.3	6.1	3.3	3.8	4.4	4.5	12.0	11.1

【職業別】

- ・全ての職業で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		11	42	56	133	1,143
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	72.7	57.1	58.9	63.2	67.0
	環境	9.1	21.4	30.4	35.3	33.2
	教育	27.3	42.9	37.5	37.6	29.8
	防災	27.3	26.2	30.4	40.6	29.5
	安全	9.1	16.7	25.0	19.5	20.8
	地域経済	18.2	16.7	21.4	17.3	18.5
	文化	36.4	21.4	21.4	8.3	14.6
	都市基盤	0.0	7.1	17.9	11.3	13.9
	地域交流	18.2	9.5	19.6	12.0	12.4
	エネルギー	9.1	4.8	8.9	9.8	5.4
	その他	9.1	9.5	3.6	1.5	2.0
	無回答	9.1	4.8	1.8	3.8	6.6

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

5 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

・「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。

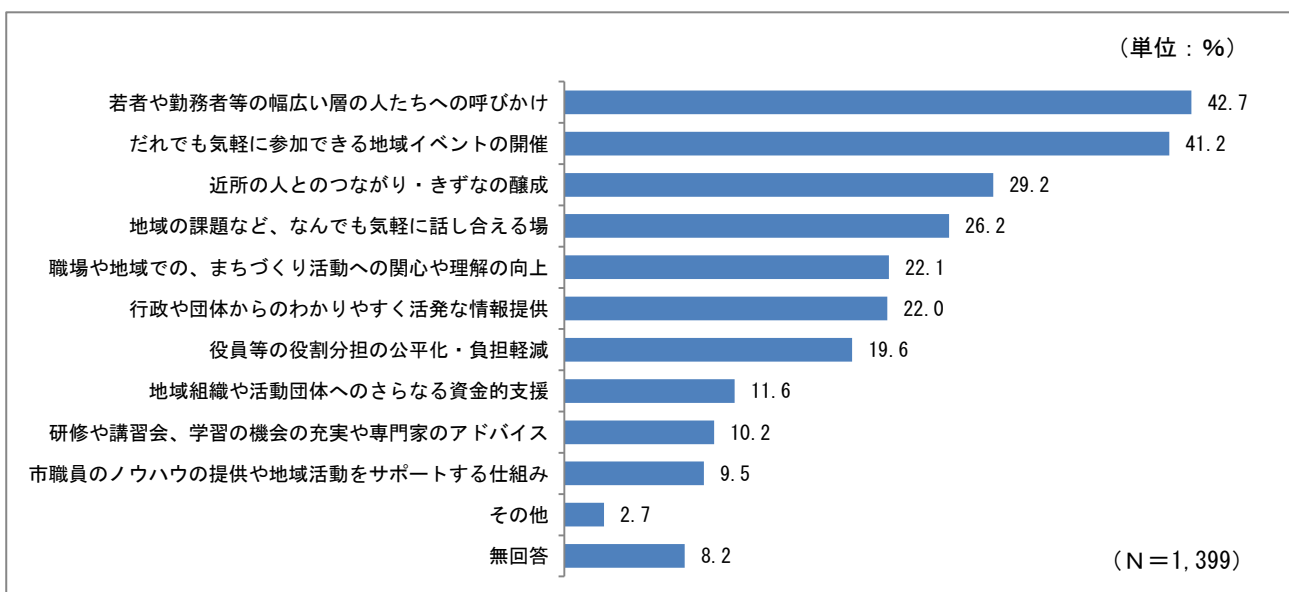
問13 あなたは、まちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、主に何が必要であると考えますか。（3つまで○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	598	42.7
だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	576	41.2
近所の人とのつながり・きずなの醸成	409	29.2
地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	366	26.2
職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	309	22.1
行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	308	22.0
役員等の役割分担の公平化・負担軽減	274	19.6
地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	162	11.6
研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	143	10.2
市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	133	9.5
その他（※）	38	2.7
無回答	115	8.2
計	3,431	

（標本数：1,399件）

※「その他」の内容

- ・「役員、係だけの協議にならないこと」、「第三者の意見を取り入れる仕組み作り」、「行政のリード」、「子供の時からの地域活動への参加の意識づけ」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		564	773	87	137	200	215	334	409
協働でまちづくりをすすめていくために必要なもの(%)	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	39.4	45.9	48.3	42.3	42.5	42.8	42.5	41.6
	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	37.4	44.4	52.9	47.4	44.0	33.0	40.4	39.4
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	30.0	28.6	17.2	29.2	21.0	25.1	28.4	39.1
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	29.8	24.1	12.6	16.8	21.0	22.8	30.2	33.0
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	21.6	22.9	25.3	32.8	29.0	29.3	19.2	13.2
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	22.0	22.0	23.0	20.4	18.0	25.6	27.2	18.6
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	22.3	18.1	18.4	26.3	28.0	24.2	19.8	11.0
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	13.3	10.5	12.6	10.9	10.0	14.4	13.2	9.8
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	9.8	11.1	11.5	6.6	7.5	10.7	12.3	10.8
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	10.6	8.8	3.4	10.2	11.0	8.8	10.8	9.3
	その他	4.3	1.7	4.6	2.2	4.5	4.7	1.5	1.5
	無回答	7.6	7.2	3.4	5.1	4.5	5.6	6.6	14.7

【性別】

- ・男女とも「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代～40代は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。
- ・50代以上は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		121	303	582	(197)	331	(189)	28
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	37.2	38.9	43.8	(48.2)	45.6	(43.4)	53.6
	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	44.6	42.2	40.9	(42.1)	37.2	(42.3)	42.9
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	23.1	33.3	30.2	(32.5)	26.6	(25.9)	42.9
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	26.4	29.4	24.7	(23.9)	26.0	(24.9)	21.4
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	21.5	20.8	22.2	(22.8)	24.5	(24.3)	17.9
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	14.0	23.1	22.3	(20.8)	24.5	(22.8)	17.9
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	10.7	16.5	22.5	(20.8)	21.1	(19.0)	21.4
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	8.3	10.6	12.4	(13.2)	13.3	(14.8)	10.7
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	7.4	11.2	10.0	(8.1)	10.9	(11.6)	7.1
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	9.9	8.9	9.6	(10.7)	10.6	(7.9)	7.1
	その他	5.0	2.6	1.9	(1.0)	3.3	(2.1)	3.6
無回答	16.5	8.9	6.2	(4.6)	7.3	(6.9)	7.1	

【家族構成別】

- ・単身世帯及び夫婦のみ世帯は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。
- ・二世帯世帯及び三世帯世帯は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		91	180	359	235	114	22	350	27
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	41.8	39.4	44.6	44.3	49.1	36.4	39.4	44.4
	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	34.1	37.8	40.1	44.7	44.7	50.0	40.6	48.1
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	33.0	25.6	23.4	29.8	29.8	22.7	36.9	25.9
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	34.1	30.0	20.6	22.6	18.4	13.6	32.6	40.7
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	17.6	22.8	30.4	27.7	20.2	13.6	12.6	14.8
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	23.1	20.0	23.7	24.3	24.6	18.2	19.7	14.8
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	26.4	21.7	22.3	23.8	17.5	22.7	12.0	11.1
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	16.5	13.3	13.9	11.5	8.8	13.6	8.9	7.4
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	11.0	8.9	8.6	9.8	20.2	4.5	9.7	14.8
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	12.1	10.6	8.9	8.9	7.0	0.0	10.9	11.1
	その他	3.3	3.3	3.6	1.3	3.5	9.1	1.4	3.7
無回答	8.8	8.3	5.3	3.8	4.4	4.5	15.1	11.1	

【職業別】

- ・ 農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員及び家事従事者は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。
- ・ パート・アルバイト・内職、学生及び無職は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		11	42	56	133	1,143
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	63.6	38.1	42.9	42.1	42.8
	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	63.6	40.5	33.9	38.3	41.6
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	0.0	14.3	30.4	28.6	30.4
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	9.1	14.3	25.0	25.6	26.9
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	9.1	23.8	25.0	25.6	21.7
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	18.2	16.7	21.4	21.8	22.5
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	27.3	21.4	19.6	22.6	19.1
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	9.1	11.9	23.2	9.8	11.4
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	18.2	16.7	8.9	8.3	10.2
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	0.0	7.1	5.4	10.5	9.8
	その他	18.2	11.9	3.6	3.0	2.1
無回答	0.0	11.9	7.1	4.5	8.4	

【定住年数別】

- ・ 1年未満、5年以上は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。
- ・ 1年未満及び1年以上～5年未満は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。

4 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

最後に、将来に向けた高山市のまちづくりについて、ご意見、提言などがございましたらご自由にご記入ください。(自由記述)

土地利用
<p>・高山駅周辺をもっと活気がある場所になるよう工夫する。</p>
<p>・高山駅舎について。新高山駅の改築ありがとうございます。バリアフリーになるのは、すごく良い進歩に感じます。ただ、完成イメージ図の外観が、「都市的な箱型」になっている事に疑問を感じました。高山への観光客が、私達市民が求めている外観なのでしょうか？説明会ではなく、アンケートは取られましたか？観光客にリサーチされましたか？そして何より、「日本の原風景を残す街」、「飛騨の小京都」と紹介され(Wikiより)、市民憲章に「文化をたっとび、伝統を活かし…」と挙げている高山市の方向が、近代の箱型駅で良いのか、甚だ疑問です。駅の大きなデザインを変える事は難しいと思いますので、「三角屋根」や「千鳥格子」、「瓦屋根のバスターミナル」など、追加施工する事で、日本一原風景を大切にする市を目指してほしいです。</p>
<p>・現在、高山駅、その周辺地域、施設等の新築整備に向け、工事が行われていますが、飛騨地域、高山地域の玄関口として、高山らしい駅舎がどのようなものとなるか、市民の私達には一向に伝わっていません。飛騨から、匠が日本中に散り、大工技術を広めています。建築士、建築家、工芸士、家具職人等、又、飛騨には高山、飛騨を心から愛する人々が沢山みえます。多分野から集い、新しい高山駅舎を、匠達も職人さんも遠慮なく、物が言える「場」が設けられなかったまま、有名な建築家に設計が決まってしまうようで、とても残念です。私的には、「木」の駅舎を望んで、市民参加の場を探していましたが、駅工事現場のパスを見て、ありきたりの近代的な形になりそうで心配しています。暮らす人々も観光でみえる人にも、列車から降りた時に、ワクワクするような高山らしい駅となります事を切に祈っています。私の周りの方々の意見を集約して書いています。</p>
<p>・高山市は美しい町です。美しい環境を守ることが大事です。山を崩さない、田畑を潰して変なものを作らせない。50年後、高山の人口は半分になるでしょう。その時に、スーパーやガソリンスタンドのない所に人は住めません。広げたものを少しずつ中心にまとめて、子孫に負債や無駄な施設を残さない。未来を見つめる事が大事です。自動車は自動運転になり、高速道路もさほど重要でなくなります。どこにお金をかけるかは地方は特に重要です。</p>
<p>・あまり、開発ばかりしすぎて、本来の高山らしさを無くす事になると、観光客もいなくなるし、バランスが大切だと思います。色々新しくしすぎず、古き良きものを残していけば良いと思います。</p>
<p>・公共施設、公園等、増やしてほしい。</p>
<p>・駅周辺も変わりました。今後10年後、宮トンネル、かわる事でしょう。</p>
<p>・倒木の災害が多かったのを考えますと、もっとも森林の手入れ、そして休田、畑が高齢化と共に放置され、熊、猪等の被害にもつながっていると思います。余りにも、山、田、畑が荒れ果てているように思います。代がかわり、自分の山、田、畑はどこまでなのか？高山市も自然の所に目を向け、次世代の為にも考えてもらいたく要望します。</p>

<p>・高山へ訪れる人は心の安らぎを求めて来られると思うので、開発するよりも現状の維持に努めてもらいたい。</p>
<p>福祉</p>
<p>・結婚していない30代、40代が目立つような気がします。本人から行けない場合が多いかと思うので（土地柄もあるのかな？）、周りがPRしていく必要があるかもしれない。</p>
<p>・合併当時、人口約97000人、世帯数34000戸、10万人都市目標でしたが、残念ながら都市へ都市へと流出。村民は高山に流出しますが！少子、高齢化（全体的）傾向、市は結婚支援等対策を講じて見えますが、是非、結婚し、子供を産んでほしい。</p>
<p>・身のまわりに、独身の方が非常に多いので、市の方で、何か良いアイデア等で、出会いの場をつくって頂けたらいいなと思います。</p>
<p>・数年住んでみて、市街地以外ではいざという時（雪災害、豪雨）に対応や支援がなく、不安がある。高齢者が多く若者の少ない地区への手助けをもう少し厚くしてほしい。若い人たちは幼児を抱えているのでなかなか他人まで手を回せない。</p>
<p>・高山市温泉施設使用の際の負担。（高齢者だけでなく幅広い世代への補助も欲しい）</p>
<p>・体の元気な人が生活保護金をもらっています。仕事が見つかるまでは、市の美化の仕事をしてもらっても良いのではないですか。でないとい生働かないと思います。</p>
<p>・私の町内の民生委員さんは、困っている人がいても知らん顔です。町内の人達も、名前だけの人だと言っています。以前の方はよく心配して見守ってくれたと言っています。</p>
<p>・独居暮らしの支援</p>
<p>・市の職員や、地区の役員（民生委員）などに、相談や悩みなどの守秘義務を必ず守ってもらいたい。安心して生活できるように相談などしても、かえって心の負担を感じている人の話を聞きます。住みよいまちにする為に、基本的な所をあらためる必要があると思います。高山市に住みたいと思ってもらう為に、まずは地区、町内と小さい所から始めないと、と思います。</p>
<p>・今回アンケートと直接関係ないかと思いますが、自分は健康のため、昭和町の福祉センターの三階の作業室を利用させてもらっています。広い会場を無料でお借りできる事にいつも感謝しています。ただ、会場の床は固く、おまけに金属のボックスの蓋が少し出ています。高齢なので一寸した段差につまずいたり、膝に負担がきたりしています。目的の違う設備なので無理かもしれませんが、できればフローリングにして、上履きでの使用にしていただけるとありがたいと思っています。財政の問題もあるかと思いますが、是非ともご検討ください。</p>
<p>・「バリアフリー」という言葉。とても大切ですし、聞こえは良いですが、歩道と車道の境を無くしてしまうバリアフリーには疑問を感じます。確かにベビーカーでも自転車でも手押し車でも、歩道から「そこで、そっちに行きたい！」という時やすれ違いの時など、縁石が無ければ・・・という事もあるでしょう。でも、その縁石があるからこそ、もし万が一車がハンドル操作を誤って突っ込んで来ても事故が防げたり、縁石があるからこそ、駐停車する車がそれ以上内側へ入ってこない。縁石が無いと、いくら路面を色分けしても、車は車道が広くなったと感じ、絶対寄せて停めるようになります。そうすると、歩道そのものが塞がれてしまい余計に危険ですし、接触することもあると思います。車道と歩道をしっかり分けて、子供達もお年寄りも誰もが安心安全に歩けるスペースを、敢えて縁石を設けることで確保できると思います。</p>

<p>・私の子供は、障がいがあります。老人や身体が不自由な方には、バリアフリーがすすんでおり、「やさしいまちづくり」をするには、どこをというのが、分かりやすいと思いますが、精神や心臓病、自閉症など目に見えない障がいがある人にとって、「やさしいまち」とは、きっと分かりにくいのではないかと思います。外国人観光客がたくさんやってくる高山市なので、外国語が分からなくても何とか知ろうとする、分かってもらう、もてなそうとする、その気持ちが相手に伝わり、リピーターも多いのではないかと思います。「やさしいまち」とは、全ての人にとって、分かりやすいという意味もあるのかなと思います。</p>
<p>・人口減少対策や子育て支援は、きめ細かく、かつわかりやすい政策が必要だと思う。三世帯同居、共働き、両親が遠方、親の看・介護等、経済的なサポートと周囲の理解や協力などのサポート、それらがあって良かったと感じられるような、一人ひとりや世帯に届くような行政やまちづくりが必要だと思う。</p>
<p>・老人、子供が安全、安心して生活出来る様考えて下さい。</p>
<p>・何よりも、幼児、児童、お年寄り、障がい者など守られなければならない者が、安心して生活できる高山になってほしいと思います。次に、市民皆が笑って過ごせるような不安の少ない、希望の持てるまちになるといいと思います。</p>
<p>・不妊治療の所得制限をなくしてほしい。治療費の為にただ働きしている状況で仕事も辞められず、精神的にも経済的にも辛い。</p>
<p>・「まちづくり」につながるのかどうか分かりませんが、私は何年か不妊治療をしました。高山市は、他の地域に比べて助成金も多く、銀行からも特別な融資などあり、素晴らしいと思います。不妊治療は、ゴールのないトンネルの中を、ずっとさ迷っているような感覚になります。金銭面、精神面、体験した人間にしか分からない思いがあります。不妊治療した事ありますか？助成制度内容について、年2度までしか助成してもらえない。正直、不満もあります。不妊治療の高度な治療（男性不妊や、体外受精、顕微授精）は、県外などです。交通費は助成されません。私は、名古屋の病院でしたが、交通費だけでも大変な金額でした。少子化対策、少子化対策と言われますが、正直、全額負担してくれるくらいの気持ちが欲しいです。高山市にも沢山の不妊の方がいると思います。子供が欲しい、でも金銭面で諦める人もいます。不安な気持ちで治療を続けるのは辛いです。安心して思う存分治療ができる時が来るといいなと思います。誰もが子供を望む権利はありますよね？</p>
<p>・子供が安心して遊べる場所がほしい。</p>
<p>・児童館を充実して頂きたいです。町の中心部には、児童館がいくつかありますが、少し離れるとありません。現在、中心部より離れた場所に住宅地が多くあります。せめて、学校区に一ヶ所の割合であると、とてもありがたいです。子供達も自分で行ける場所があれば、友達や親との待ち合わせ場所や、交流の場が出来るので、是非検討して頂きたいです。</p>
<p>・出産・子育てが安心してできるまちづくりをお願いしたいです。子供がのびのびと安心して遊べるキレイな公園。（昔からある松倉中の公園の所は危なっかしいです。最近、色が塗られキレイになりました。ありがとうございます。のぼる所が良くなれば、と近所のママさん達と話しています。）</p>
<p>・今高山市では、義務教育終了までは医療費無料となっており、他の県・市より充実しています。私も子供を育てている時は本当に助かりました。この制度はぜひ続けて頂きたいと思います。子育て世代が住みやすいと感じることにもつながっていると思います。</p>

<p>・ 高校卒業まで医療費無償制度。</p>
<p>・ 共働きの夫婦が多く、親も高齢の為、子供が出来た時の不安が大きい。安心して預けられる託児所を増やしてほしい。</p>
<p>・ 子供が幼いと、託児所や保育園になりますが、時間がどうしても合わない、働きたくても雇用の条件と合わず、働けない現実があります。幼い子供を目の届く所で見て頂けるようなサポートや、職場が増えるといいなと思っています。免許や資格があっても、活かせないのが、歯がゆい思いをしています。</p>
<p>・ 家には、未就学児がいます。いずれ、保育園に預けて働く予定です。もしもの時の病児保育や、子育てしながらも働きやすいまちなのか、働く上で不安はたくさんあります。全ての不安を取り除く事は難しいですが、少しでも働くママの味方であるまちであってほしいなと思います。</p>
<p>・ 保育について一國島市長の公約通り保育時間は長く延長できるようになったが・・・例えば一時保育では岡本保育園で土曜日預かると書いてあるのに、実際は預かってもらえない。今年度より一時保育の保育料が安くなったはずなのに、中山保育園は前年度のまま。書類上と現状の違が多くみられる。また、公務員に合わせたルールも多い。夜働く自営業者。19：00から預かってくれる場所はないか？と沢山の方に聞いても見つからず、市役所に聞くも「ありません」と即答。夕陽ヶ丘は「出張の時なら可能」と言われた。どうして日中預かる保育園はあるのに、夜間サポートはないのか？不満である。核家族も増えてくる将来、何か対策はないのか？飲食、旅館業等、夜間の一時保育をしてほしい人は多くいるはずです。</p>
<p>・ 保育料ですが、第5階層～8階層まで同じで、例えば社長さん（とび抜けて収入の良い方）等と5階層に入ってしまった人が同額な事に納得いきません。何の為の階層区分なのでしょう？皆に分かるよう説明して頂きたいです。</p>
<p>・ 両親共働きの家や、夕方遅くまで働く親も増えてきているので、核家族に限って小学校6年生頃までは6：30～7：00頃まで預かってくれるとありがたい。</p>
<p>・ 高山市の留守家庭児童教室は、1年生～3年生までの利用になっているが、飛騨市では6年生まで利用が出来ると聞いた。高山市でも、6年生まで利用出来るようにはならないか。働きたくても働けない、制限する事ばかりが増えて、将来が不安。仕事と子育てを両立しやすい環境になるように期待したい。</p>
<p>・ 子育て世代として、少子化対策の各支援を受けられる事ができる、子育てしやすい環境にとっても感謝しています。しかし、その中で、夫婦共働きをしている家庭が多く、私達が子供の頃のような、ゆったりとした子育てが難しくなっています。時代の流れだから、仕方のない部分もありますが、これからも、家庭の絆を大切に出来る生活を送れるような環境を目指して頂きたいと思います。学童保育を、小学6年生までにしてほしいです。</p>
<p>・ 今後は増々高齢化が進み、少子化に伴う人口減少、様々な金銭面での負担増など、不安は沢山あります。まずは子供を育てやすく、子供が育ちやすいよう、子育て支援の充実を願います。近年、治安も悪くなっており、自分が子供の頃とは高山市内も変わってきました。誰を信じていいのかも分からない世の中ですから、まず近所のつながりが大切だと思います。そして共働きが増えている今、休日（土日・祝祭日）も子供を預けられる、残業のある平日も19時までは見てもらえるなど、休日や時間を気にせず働けるよう、又子供達も安心して過ごせるよう、早急に取り組んで頂きたいです。いくら小学校高学年でも、今の世の中でカギっ子は問題だと思います。核家族が増えている今、事件・事故が起きる前に受け入れる体制を整えて欲しいと思います。これが整う事で働きやすくなり、また女性の仕事復帰も出来るようになると思います。実際に危ない</p>

<p>目にあった子、子供だけで不安なまま親の帰宅を待っている子は沢山います。でも生活していく上で、家庭を犠牲にして共働きするしかない人は沢山います。市で現状をしっかりと把握し、改善策を早く実行して欲しいです。</p>
<p>・「児童福祉」について 留守家庭児童教室の充実を期待したいです。教室によっては100人を超えるところもあります。しかし、教室に入っている担当者の人数は必ずしも十分であるとは言えません。働きながら子育てしてみえる方が安心して預けられる環境をつくっていただきたい。担当者も子どもが相手に難しい仕事だと思いますが、手厚くしていただきたい。産前に2才の子どもを保育園に預けようとした際、当初は無理かもしれないと言われました。結果的には入れることができたのですが、出産前後の何かと大変な時なので、要望がある時には原則受け入れる体制を取っていただきたいです。（子育てに関わる支援金などは本当に助かるのですが）高山市も子どもの数が減ってきています。このことについて「仕方ない」ではなく手を打ってほしい。私は「子育て環境の整備」に尽きると思います。「高山市だったら、子どもを産んでも何とか育てていける」と言われるようなまちをつくっていただきたいです。（もちろん今も十分暮らしやすい町だと思いますが）</p>
<p>・父親の育児休暇を企業が率先して導入し、利用しやすい体制を高山市として行ってほしい。保育園の入園状況（両親の仕事）を、5時間就労とせず、少し緩和してほしい。それに見合う仕事が多々ありません。</p>
<p>・子供達が喜んで住める町、市。</p>
<p>・子育てについては、周りに子たくさんの方々が増えた様に思います。支援が充実してるからなんでしょうか。いいことだと思います！</p>
<p>・子育て支援をこのまま続けてほしい。</p>
<p>・保育園～小学生の子供が三人います。高山市は、子育て支援が充実していて、とてもありがたいと思っております。どうかこれからも、子育て世代が住みやすい高山市であってほしいです。</p>
<p>・子育てについて、以前より、制度も補助も手厚くなっていると思います。有りがたい事です。</p>
<p>・子供、若者が希望をもてるように一年寄りは増加するが、やはり子供、若者が大切。母親が安心して子育てできることに力を注いで下さい。</p>
<p>・人口がどんどん減っている事、子供の数が減っている事がさみしいです。</p>
<p>・人口減少が心配。宝である子供が健やかに又、たくさん生まれる政策を祈っています。</p>
<p>・少子化になりつつあり、子供達の遊び場や、教育費、給食費、医療費等をもっと手厚くしてほしい。</p>
<p>・市長にもっと庶民の暮らしのことを考えてほしい。税金が高すぎる。もっと年寄りが生活しやすいまちへ。あまりにも生活がしにくい。</p>
<p>・年を取るとなかなか外へ出にくくなります。健康のためにも、そんな人々が集まって、歩いたり話し合ったり仲良しになれるといいと思います。私は、自分で行くところを作って忙しくしています。</p>
<p>・私を含め高齢者がどんどん増えると思います。だから人生の終末は在宅で出来ればと思う。病院や施設に入れば、手厚く看護された生かされるだけではないのか？まちの経済も大変になるでしょう。在宅で余生を送ることを考えてみたいです。近隣に迷惑がかかることも生じるでしょう。そんな時など、介護保険の適用など考えられないものなのでしょうか？（年寄りの寝言です）</p>

<p>・地域全体での高齢化が進んでいるため、介護サービス等の福祉を充実させることが急務だと思います。</p>
<p>・私は年ですから、まずは人の世話にならない事が一番。私は障がい者ですが、毎日、自分の事は自分でする事。まず、朝、自分の物は自分で洗濯する。それから仕事に出る。まだ毎日、車で仕事に出ますが、まずは健康でなければ出来ない。甘えがあっては出来ない。老人ホームにも仕事に行きますが、私よりも10歳も15歳も若いのに入ってみえますが、財政も大変。私は健康で有りがたい。88歳まで働きたいと思って、毎日感謝して働いて居ります。</p>
<p>・当たり前ですが、高齢者にやさしいまちづくりに、医療費の少ない市になります事を願っています。私共夫婦は、80歳を超えた老人です。年金も少なく、医療費は3割負担です。どうしてか分かりません。</p>
<p>・普段、日常の生活で、物事難しく考えた事はありませんが、高齢者が、安心して暮らせる高山であってほしいと思う。</p>
<p>・お年寄りにやさしいまちに。</p>
<p>・少子高齢化が進む中、子供達に迷惑をかけることなく、高齢者（親）が年金で施設に入れるように考えてほしいです。手とり足とりの行き届きすぎる施設は不要です。安全に生活出来て、食事提供してもらえれば満足です。そのような施設を作ってほしいです。</p>
<p>・安くて簡単に即座に入所できる老人施設を増やして欲しい。</p>
<p>・住みやすい町に必要なのは、誰もが不安なく老後を暮らせる事に尽きる。そのためには、必要なときに入所出来る老人ホームがあることが絶対に必要である。</p>
<p>・60歳代の夫婦二人暮らしです。主人は少し体が悪く、私が急に入院するような事があった時、一人で居る事に心配があり、そんな時どうすれば良いか、介護の方にお尋ねしたところ、その程度の介護（支援）度ではどうする事も出来ないとの事でした。これからもっと、老人世帯が増えると思います。緊急時、短期入所出来て見ていただける施設が必要だと思います。</p>
<p>・高齢者が希望する施設を充実させてほしい。</p>
<p>・高山も高齢者で一人住まいの家が増え、介護施設に入りたくとも入れない状態です。市の方で格安の介護施設、老人ホームを考えて頂きたいと思います。</p>
<p>・高根、日和田の方から、冬は施設にお年寄りが集まって生活していると聞きましたが、それもお年寄りが今より更に多くなれば限界がくると思います。そこもどうかしていただければと、難しいことは重々承知しておりますが、そう思っています。</p>
<p>・後継者のいない老年になるばかりの者が、どのように財産を処理したら生活出来るか教えてほしい。</p>
<p>・介護に対する不安</p>
<p>・仕事をしながらの介護は家族や色々な方の協力がかなり必要です！</p>
<p>・高齢者（二人だけの生活）のための民生委員の見回り。春、夏、冬。</p>
<p>・介護にしても他県と比べると高すぎ。住みづらいのは、みえてる気がします。実際、子供達は高山にはいません。姑は介護が必要。現実問題です。</p>
<p>・雇用や福祉が心配です。高齢者の方の施設も増えデイサービスの車もたくさん見かけ、以前よりは住みやすいのかとも思いますが、まだまだ介護は大変そうです。少しでも良い方向に改善されることを望みます。</p>
<p>・日に日に、弱っていく自分に不安でいっぱいです。近い所に大きなお店（運動が出来る位）があったらいいなあと思います。</p>

・介護タクシーが予約制で、利用する日時は指定した日でないと利用できないようです。いずれ私も高齢の部類に入り、体も満足に動かなくなる日も来るようになります。電話一本でいつでも利用できるようなタクシー会社があったらいいなあと思います。車イスの方もいらっしゃるし、高齢者は段々増えていきます。介護専用のタクシー会社が当番制でもよいのであれば便利になると思います。

・私は視覚障害者ですが、この文章もルーペを使って書いています。もう少し福祉に力を入れてほしい、やや不満です。

・障がい児者が安心して暮らせるようにしてほしい。特に、子どもの発達障害を専門的に診る医師や理学・作業・言語療法士、療育の専門家や施設が不足している現状を改善してほしい。専門医が高山にいない為、岐阜市や県外まで仕事や学校を休んで通院しなければならない現状を改善してほしい。リハビリ、療育の機会が少ない。小中学校の特別支援学級の先生の知識不足、人数不足、障がいについての普通学級の先生の知識不足、これらを改善してほしい。また、学校全体で発達障がい児が学習に集中できるように教室の張り紙を少なくしたり、一日のスケジュールを壁に貼って終わったら裏返すなどの工夫をしたり、全児童に発達障がい児と同じ状況を体験させたりして、差別をなくす取り組みをしてほしい。東京町田市の小学校でたくさん工夫して良い成果をあげているそうです。障がい児者も健常の人たちと共に安心して暮らせるまちにほしい。障がい児者を差別したり、理解してくれていない人がほとんどです。色々な障がいがあり、人それぞれ違うことを知って、個人を尊重できる社会になるといいと思います。障がいの状態が少しでもよくなるように、進学・就職・老後・世話をしている家族もサポートする体制も作ってほしいです。

・障がいがある方などに優しいまちにしてほしい。障がいがある方などに支援をしてほしい。

・高山市は福祉が充実していて、住みやすいと思います。児童福祉も恵まれています。障がい者福祉（児童）の面で更に充実させてほしい。特別支援学校が各地に増えていますが、同時に、支援の必要な子も増えています。肢体不自由等ではなく、発達障がい、グレーゾーンの子が増えています。親も子供が多動なのかどうなのか、支援が必要なのかどうなのか、対応の方法が分からないと周りでも良く聞きます。児童精神科医など、児童発達支援の専門家を増やすなどしてほしい。研修会等も行してほしい。明らかに診断のつく症状の子以外の、グレーゾーンの子、ちょっと気になる子に対応してくれる専門家。あゆみ学園さんで、とても積極的に取り組んでみえますが、市としても、更に補助、助成をお願いしたい。

・65歳になり年金生活に入ります。健康について不安になります。生きがいが見つけれられる縁でも得られればいいかなと思います。

健康・保健・医療

・高山の中心街に居住しています。お陰様で、大変便利で住みやすい環境で生活しています。高山は自然に恵まれ、そのうえ下水道の整備が進み水も美しいと思います。水道水も大変美味しいです。毎年の健康診査も必ず受けさせて頂きありがたいです。これ以上望んだら罰が当たるかもしれませんが、不安と少し不満が有ります。長野の温泉へ行くと何ヵ所も、温泉施設の中にプールが併設されています。地域のお年寄りが多数利用されていて、健康増進を奨めてみえます。運動施設も町中に有ります。高山は、ビックアリーナではとても不便だと思います。もし自分が年を取ったら、ビックアリーナまでどうやって行くのか考えてしまいます。老人施設でリハビリに通うより、もう少し若いうちに体力増進出来るシステムが高山には不足している様に思えて残念です。

<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康維持の為に、誰でも気軽に参加できる施設をつくって頂きたいです。医療費削減の為に。
<ul style="list-style-type: none"> ・温水プールが出来ると良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増えているので、施設の充実も大変だと思うが、医者との連携プレーで、穏やかな看取りができるようなシステムにしてもらいたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が休日に熱を出した時、病院は休日診療所だけで、しかも開いている時間も短く、不便だと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・村も変わりました。学校は統合、商店減。でも、医療等ありがたい。週何度も出張してただける。各種検診、色々面倒見てもらえる事等、ありがたく思っています。高齢者、丈夫でない人、特にお世話おかけします。よろしく願い申し上げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の健診が、今、集団になっていますが、本来、異常を見つける為の検診が流れ作業的に感じます。私事ですが、子供に異常が、後々発見する形になり、（私が個人的に受診）治療が難しく、リスクが大きいと言われました。また、医療機関も高山市外でと言われ、通常であれば、市内で落とせるお金も、他の市町村等に落とす形になっています。検診も集団ではなく、個人でかけられる状態が望ましいと痛感しました。治療に10年以上もかかると、現在診断されています。
<p>自然・景観・環境</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・環境のためになるソーラーパネルやゴミ処理等に関する補助がもっと充実していれば、もっと楽に普及していくのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等の自然エネルギーを利用した設備への支援を充実させて頂きたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・自給自足でエネルギーを賄えるように水力発電、太陽光発電、地熱発電を推進し、全国のモデルとなるように政策を進めてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・再生エネルギーへの取り組み。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民誰もが身近に自然エネルギーを利用出来る持続可能な環境都市を目指し、新エネルギービジョンを策定したのは大変素晴らしいことだと思います。行政、事業者、市民が様々な課題を克服し、平成32年度迄に市内の一般家庭で消費する電力の約1/2に当たる9万mwh/年を創出目標に掲げているので、具体的に進んでいるとは思いますが、いまいち情報が伝わっていない気がします。再生可能エネルギーの推進と両輪となるのが、市民一人一人が簡素生活シンプルライフに努めることだと思います。今までの消費生活を改めていくことが大切だと思います。自然エネルギー利用日本一の都市に向かって進んでいくことを楽しみにしています。また、それにとりまなう協力も惜しまないつもりです。
<p>乗鞍スカイラインのマイカー規制を、ハイブリッド、又は電気、水素自動車等、環境に優しいマイカーに限り、乗り入れを可能にしてほしい。可能にする事により、水素自動車等の普及にもつながれば良くなると思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の公用車も、空気をきれいに保つためにも、すべての車を環境に配慮した電気自動車（日産リーフ）にすべきではないですか。（いずれは水素自動車もありかも）
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客等は「高山はきれいな街です。ゴミが少ない」と言って下さいます。我々高山市民としても、非常に嬉しい言葉です。先人達の努力の結果です。後世に残していきたい事です。
<ul style="list-style-type: none"> ・他県に旅行して帰ってくると、高山は街が「きれいだ」と感じます。

<p>・前からずっと気になっている所ですが、国分寺通りの道路がとっても悪い状態です。観光客が多く歩いてみえる所なので、早くきれいにしていただかないと恥ずかしいと思います。もっと細かい所にも気付いて下さい。</p>
<p>・土地の活用という理由で自然破壊が行われないよう、何でもきれいに新しくしてしまわないような方法をとってほしい。</p>
<p>・20年前から当地の自然景観に魅了され、6年前に定年を機に上宝に移住してきました。特に自然景観には力を入れ保全してほしい。又、移住して当地の人情の良さも実感しているので、住み良さを充実する為の取り組みをお願いします。</p>
<p>・私は高山市の景観が好きで、よく景色の良い場所に出かけたりします。これからも、自然は大切にしていってほしいと思います。</p>
<p>・自然は宝です。どんなに寒くても、雪が降っても、交通は不便でも、その住む人達が、心豊かに楽しく暮らせるまちづくり、それが願いです。</p>
<p>・20年以上高山に住んでいますが、アンケートを読んで、分からない事がいっぱいあるなど実感しました。高山の自然、環境、景観はとっても大好きで、のどかな街に住めて幸せだなと思います。これからも、自然豊かな環境や街を維持出来たらいいなと思います。</p>
<p>・最近旧三町地域において、空家、空地等を多く見かける様になりました。所有権等の問題もあるかと思いますが、なんとか行政の力（指導）で高山らしい街並みを造ってほしいと思います。宮川朝市を見た観光客が「高山の朝市ってあんなもんなの？」と話していました。ショックでした。同じ事が街並にも起こりつつあります。増々歯抜になる事は間違いありません。行政の強い指導力を望みます。</p>
<p>・高山市は美しい町並み等ありますので、市内電線を地中化して美しい町並にして貰いたい。</p>
<p>・国府町では今年初めて「国府町桜めぐりツアー」が行われました。天気も良く、ちょうど桜も満開で、あんなにきれいな桜をゆっくり見たのは初めてでした。混雑する遠い観光地に出かけなくても、身近にこんなすばらしい桜の名所があることを知り、新しい発見でした。これからも、だれでも気軽に参加できる行事を計画して下さることを期待しております。</p>
<p>・高山市は、食べ物も歴史もすばらしいと思います。川辺にあやめ、芝桜など季節に咲く花を多く植えて、みんなの目を楽しませてほしい。</p>
<p>・高山市は観光、観光にはしり過ぎていて、環境・景観をきれいに整備しない。あの水のきれいでない汚い宮川にも手をかけない。祭りが近付くと清流（溪流）にまったく不似合のコイを放流するが、川そのものを整備しないから、魚の隠れ場もまったく無く、大水が出ると川が水路になってしまい、魚が皆川下へ流され、まったく川に残らない。だから次の年も又コイを放流するという悪循環を毎年しているだけ。流れが複雑になるようにもっと岩や石を入れて淵を作り、魚がちゃんと住み着き、産卵もし、次々と魚が増えていく理想の溪流の川にすべきではないでしょうか。せっかく禁漁区にしているのだから、魚も溪流にふさわしいイワナ・ヤマメ（アユもありかも）であるべきではないでしょうか。コイという魚は溪流にはいない魚です。高山市イコール空気も水もきれいで美しい所というイメージをもってこられる観光客は、この川を見てガッカリするのではないのでしょうか。もっと花を植えたり、きれいな花を咲かせる樹（花みずきなど）をもっと植えて、誰が見ても美しい街にしていっていただきたいです。</p>
<p>・近所に違法建築の家が有ります。中高生が立ち止まってこの家の看板を見て、「悪い事しても世の中は大丈夫なんや」と言っていたのが印象的でした。</p>

<p>・観光の町・高山について 高山の町も随分と変わっていきませんが、大新町のブリ街道の町並整備は素晴らしいことです。橋を治す、家並を治す等、個々いろんなことがなされますが、高山の町全体をデザインできるデザイナーの下で統一された改装築がなされたら、新しく作り変えられた時のガッカリ感がなくなるのではと常々思います。例えば、千鳥橋・鍛冶橋等のデザイン、中橋の色、どうしてあの様になるのでしょうか。</p>
<p>・景観は良いが、町並み（古い町並み）が崩れている。</p>
<p>・高山は観光地として生きていくには、見る・学べる等が不足している。上三之町も歴史遺産でなく、観光化してしまっている。町並みを大切にするのであれば、せめて一・二・三之町の洋式建物を無くすとか、町並みづくりにもっと力を入れて、前面だけでも補助金を出してでも改装するとか、何か考えるべきである。</p>
<p>・昔の高山の街を思うと、現在の市街は何を売っているのかわからないような雑然とした店が多く、落ち着いた感じがなくなり、日本中どこにでもあるような街になってしまっている。看板や旗とか、もっと規制してもいいのではないかと思う。建物の色も気になります。</p>
<p>・もっと、コンビニとか、大型店とかの外観を高山らしい感じにするとか、全体的に外国の方が、どこを歩いても、高山らしさを感じてもらえるまちにしてほしい。能登地方を観て、「高山も、ああたったらいいのに。」と思いました。古い町並みだけでは、どんどん観光客も離れていくのでは？</p>
<p>・城山に登り歩き、高山のまちを眺めるのが好きな一市民です。ずーっと気になり声にしたいと思いつつ・・・動けずにいます。観光地高山と言いながら、旅館の派手な外壁の色。高山らしくなく、見苦しいです。古い町なみの高山らしくない土産屋さんも嫌で、通りを歩くのも人に自慢するのも躊躇われます。他の区域から「この頃の高山にはがっかりさせられる」と耳にします。高山の良さを活かした街づくり。今動かないと手遅れになるのではないのでしょうか。</p>
<p>・古い町並み近くにある電線が、外観を悪くしています。今後に期待しています。</p>
<p>・高山の住宅は飛騨の職人によって作られる、又は飛騨の職人が作った様な住宅を作るよう決めたほうが、町の見た目が良くなり、観光客も満足し住民も町に誇りを持つのでは？古い街並み以外住宅が最近のものだったりして、景観がいまいちだと思います。</p>
<p>・新築家屋について（風景の観点から）。平成6年頃から、高山市の景観を守る取り組み（下三之町中組景観保存会結成、市街地景観保存区域の指定、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル作成）等を行って下さりありがとうございました。ただ、ここ最近、安価で建てやすい箱型の新築の家が、急激に増えている様に感じます。このような家がダメとは言いませんし、時代の流れなのかもしれません。つまり、小京都らしい家を増やすには、そのような昔ながらの外観の家を建てようとする市民と、伝統と地域景観を良くする建築会社とを、高山市が特別に優遇し、金銭面で補助し、昔ながらの家も、新しい箱型の家と同じくらの選択候補にしなければならない時代とも言い換えれます。長い目で見て、日本原風景を残す街、高山らしく発展する事が、観光客数を伸ばし、地域活性化につながり、今高山で育つ子供達が、より深い誇りを持つ地域へと進化する事につながると信じて疑いません。</p>

・まちづくりについての意見になるかは分かりませんが、学生時代や勤めで高山を離れていた時があり（30年程前）その時に感じたのは、高山はどの家もえのまえ（家の前）がきれいだという事です。よそへ行くまで感じなかったのですが、都会や地方都市では多くの人通り、交通でザツとした感じなのなのに対し、高山はこじんまりとしているのですが、各家の前がきれいに手入れされていて、とても良い印象を持ちました。町全体がそんな感じですが、高山が愛されるのは、程良く手入れの行き届いた町並み・家並み、穏やかで文化的にも程良く上質な愛すべきコンパクトシティであるからだと思います（もちろんどこへ行くにも近く、大自然あり、又都会へのアクセスも驚くほど良くなりましたが）。憂うべきは、コンビニの乱立、およそ高山らしからぬ付け焼き刃的な飲食店等、何とかならないものかと思えます。世界遺産など、程遠い。そもそも自ら名のって出るものではなく、他者から自然と推されるべきものと思えますが…。地道に今あるものを守り、手入れし、質を高めていく…ちやほやされ、もてはやされるのに惑わされるのではなく…地に足のついた考えで高山が進んでいけばいいと思っています。

道路・交通・情報

・まちなかに橋の増設を計画中と聞きましたが、あまりに無駄だと思います。それより、既存の橋の老朽化が心配です。新しく造る以前に、今一度橋の点検・補修・架け替えが急がれるのではと考えます。

・先日、バイクで観光にみえた方々から市へのお願いをされました。二輪車の駐車スペースがとても少ない為、やむを得ず高山を素通りしたり短時間で他の観光へ行ったりすることが多いようです。二輪車の駐車スペースを増やして欲しいとのことでした。

・歩行者、自転車が安全に通れる道路にしてほしい。

・私道を含めた道路の新設・拡張・整備。行き止まりの道路がある。

・歩車道の修繕・工事等の時にデコボコのないように指導して下さい。

・でこぼこの歩道が多いので早速に直して欲しい。

・家の前の公道が、冬の除雪車によって削られ毎年春になると穴が開いており、車が通る度に穴がひどくなっていきます。観光客の方々もよく通る道です。歩行者には危険と思われれます。

・毎年2月～3月頃になると道路工事が集中して、交通に支障が出る事があります。年間で平均的に振り分けは出来ないでしょうか？予算の関係でしょうか？

・あちこちで水害の工事が行われているが、学校近くの道路がまだなので苛立っている。

・細い路地での歩行者と自動車の危険な所がある。

・道路を広くしてほしいです。できれば自転車専用の道路も作ってほしいです。

・高山市の中心地ばかりでなく、観光地から少し離れた場所にも目を向けて整備等してほしい。観光地内は毎年工事などして手入れをしているが、私の住んでいる所は坂のある街です。冬の雪が多い時、道路の整備などもっとやってほしい。まちなみバスやのらマイカーなども、せめて町内の下の通りまで走ってほしいです。

・県道の活用は、現在は良いと思いますが、国道の活用を考えて下さい。県道が、現在、車であふれています。県道を通る大型トラックが多すぎる為、事故が発生します。大型トラックの「スピードを制限」して下さい。県道には、大型トラックは入らないようにしてほしいです。

<p>・飛騨高山の観光客も増加し、高山駅前中央通りを歩かれる人達も多くなりました。高山駅前より本町通り迄歩行者専用道路とし、2, 3箇所に駅前中央通りのアーチ看板を建て、道路に植木、ベンチを設置し、ゆっくり話し合いながら通行出来る「駅前中央通」にされたらどうでしょうか。ご検討して見て下さい。（土・日だけでも可）</p>
<p>・正直言いますと、人口が少ない町なのに歩車分離式の信号はすごく不便です。</p>
<p>・歩車分離式の信号にしたおかげで渋滞が増え、余計に信号を守らない人が増えたり、信号の見方を間違えての事故手前のような状況によくあいます。それほど歩行者が少ない所に限って設置してあるので、イライラしている人も多いのではと思います。</p>
<p>・観光エリアでない慢性的な渋滞箇所には信号を設置してほしい。事故になりそうで怖い。日赤前（日赤に行く人が駐車場から道を渡るのでいつか事故になりそう）やバロー南店前の交差点など。</p>
<p>・基幹バスの運行時間が少なく不便である。（石浦町で）のらまいカーも、スーパーさとうまで行かないとないので、コメリ辺りまで伸ばしてほしい。</p>
<p>・高校生の娘がのらマイカーで高校に通っています。バスの本数が少ない為、朝は乗り換えの時にバスの中が混み合っています。帰りは6時に駅を出るバスに乗り遅れたら、車で迎えに行くしかありません。この交通が不便な地域に、なんとかバスの本数を増やして下さい。</p>
<p>・のらマイカーとってもいいのですが、内垣内まででなく清見支所まで廻って頂けると学生はともありがたい。どうにかならないものか。</p>
<p>・アンケートに○印を付けました。80歳ともなると、分からない事が沢山あり、申し訳ありません。高山市より、一之宮に来ました。とても景色も良く気に入っています。来た頃は、バスが一日に何度か通っていました。此の頃は、のらまいカー、デマンド運行タクシー等、私ばかりではありませんが、腰膝が痛く、バス停まで行くのが遠く、バス停の間隔が辛いです。私の場合、野公民館前～一之宮支所です。何とかその間、一ヶ所バス停がほしいです。いつまでも家族を頼っておれず、此の頃は遠慮して、頼んで病院へ行く事もあります。これは、私だけの気持ちではありません。何とかお願い致します。</p>
<p>・参考となる意見にならず、誠に申し訳ありません。私個人の事を申し上げれば、後期高齢者であり、免許を最近諦めました。郊外に家を持ち、運転をしなくなる事を想定しなかった事を、ただただ後悔している現在です。家の中に居る日々の為、週一回でも、市バスが細く回っていれば良いとか、交通費（タクシー）の割引があれば良いと願うのみです。運転出来なければ、最初からバス停近くに家を持つべきと考えた事でしょうが、残念です。交通費が高くて、街中へ出掛けられず、世の中から取り残されたようで、アンケートは、すべて分からない事ばかりでした。</p>
<p>・市内へ出かける時に市民乗車パス、悠々手形を毎月利用させて頂いており、本当に助かります。本当に有難く、感謝申し上げます。これからも是非バス交通の充実をよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>・バス（のらまいカー）の充実。</p>
<p>・のらマイカーの利用者が少ないと感じています。将来バス停以外でも手を挙げれば停まってくれるようになればなあ。</p>
<p>・のらまいカーで体操に行きますが、有りがたく利用します。いつもガラガラでもったいない気持ちです。どうすればよいかと考えさせられます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・のらまいカーは、必要なような、採算が合わないような気がします。高齢で車のない人が、通院の時、タクシー利用1回につき、1枚使える100円券（一人20枚までもらえる）というのはどうでしょう。費用がかかりすぎますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・富山から高山への電車、又はバスの本数が少なすぎです。
<ul style="list-style-type: none"> ・古い町並み等を中心とした観光面には、年間を通して、高山市に人を呼び込むには、道路の面と、列車の面から、両方とも時間短縮を図る為には、複線化は絶対必要です。あらゆる手段で完成させる事、41号線も、宮トンネルも達成させるまで努力する必要があります。これが達成すれば、観光客は倍増すると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光都市としての中心部の公共交通と歩行者優先のしくみ作り。パークアンドライドなど至急に導入した方が良いでしょう。中橋附近では、大型バスと観光客が入り乱れて危険である。近くの駐車場などで、小型循環バスに乗り換える方法などどうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・電話回線のひかりを通してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビは、身内だけで楽しんでいる。
<p>住宅・公園</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・空家を壊しても税金が上がらないように考えてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・町の中は空き家が沢山あります。空き家にしない様に考えて下さい。今にも壊れそうな空き家・長屋は危険なので何とかしてほしいです。空き家ももっと税金を高くしたほうが良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・町の中央に、空家が多いのはどうした事か。高層ビルのマンションが多く、町の景観はバラバラである。高山市の山都 都市、そして市民を大切に行政を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策。
<ul style="list-style-type: none"> ・空家・空地が目立つので、それを使って県外から来ても生活出来るような農業などがあればいいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策が気になります。増える空家に対して、新しい住宅地もどんどん出来てます。地域に新しい住民が来たとき、その町内や地域に馴染んでいるのか浮いているのか、受け入れられているのか、交流はどうなっているのかと思います。不動産屋の価値観だけでなく、住民による地域の魅力の発信に、まちづくり協議会は威力を発揮できると思う。空家対策は都市基盤の整備と絡めて、強力に進めなくてはならないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・他県の若者たちの移住・定住を推進する上で、空家になった古民家をシェアハウスにしネット等を活用してPRしては。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は低所得で一人で子供を育てています。市営住宅に入れて下さい。アパートは高くて住めません。
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の市営住宅について、もっと活用が進むように、家賃の引き下げや入居条件の緩和をすべきではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は現在市営住宅にお世話になっておりますが、班の2/3は老人が殆どで、若い方は数えるほどしかおりません。入居されてくる方もご年配で、活気ある町づくりにはほど遠いものがあります。もっと活気ある地域になるには、若い方の入居も必要です。市の方でも、これをテーマの一つに取り上げているのでしたら、ご一考をお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の建設

<p>・若い人達や高齢の独身者等が入居できる、公共の集合住宅がもう少しあっていいと思います。その際、ペット同居可にすると、申し込みが増えるのではないかと思います。</p>
<p>・テレビでみた例ですが、子育て世代もお年寄りも各部屋に住み、食事の時は大きな部屋で皆で食べる、その建物の中が大きな家族で、助け合って生活している感じでした。北海道のある市が運営していたと思いますが??色々な当番などもありましたが・・・笑顔の方がたくさんいました。</p>
<p>・市営住宅の入居者へは、町内会への強制入組を条件として欲しい。</p>
<p>・中心地の観光スポット付近での無料休憩所があれば良い。祭りの時や夏季には、家族連れなど休む所がないとの声をきく。</p>
<p>・市内に、公園やちょっと腰を休める場所がとても少なく感じています。周りに山が多く、緑はたくさんありますが、町中にやさしさは少ない。外国の方々も、生け垣などに腰掛けていらっしゃるのを多く見かけます。</p>
<p>・最近、世界で住みやすい国及び地域のランキングで、日本・東京が2位に入りました。その理由の中で、緑が多く公園も多いというのが挙げられています。高山市内にもっと市民が楽しめ、安らぎのある、緑豊かな公園を造っていただく事をお願いします。外国の方も納得出来るような高い文化水準の都市になってほしいと考えます。</p>
<p>・市街地の緑地公園が少ない。多くしてほしい。</p>
<p>・周りが山々に囲まれていて緑が多い様に思いますが、町中にはほっと一休みできるような緑の公園が少ない様に思います。もっと作ってほしいと思います。</p>
<p>・芝生の広い公園。フィールドアスレチックのように、体の様々な場所を使い体の基礎を作れるような遊具を整備してほしいです。</p>
<p>・地域内に公園が少ない。</p>
<p>・飛騨エアーパークについて。子育てしながら息苦しくなると、子供を連れてエアーパークで夕映えの乗鞍を見て気分転換してきました。女の子二人でしたので、何れは親から離れる事になった時、他の土地へ行った時に、「この景色を思い出してくれれば」…そんな願いもあり、今でも気晴らしに、よく行く場所です。いろいろな意見もあると思いますが、今現在、生きている人の「癒し」の場であっていいのではないのでしょうか?古い町並みは外国人に占拠される程溢れています。天気のいい日には高山が一望できる…そういう場所も観て帰ってほしいものです。</p>
<p>・休日は少しでも親子で安らげるように、大きな公園が一つ欲しいです。幼児～大人まで利用できるもので、近くでいうと萩原にある飛騨川公園。富山や岐阜にも色々ありますが遠出になる為、是非高山にも作って頂きたいです。共働きで夫婦一緒の休みも減っており、残業などで家族でゆっくり過ごす日も減っています。一般市民が本当に住みやすいと思える高山になるよう、市民目線から考えて真剣に取り組んで下さい。お願いします。</p>
<p>・他県から高山市に転入した方から「高山には大きな公園が少ない」と指摘されたので、原山公園の様な公園がもう少しあると良いと思います。</p>
<p>・公園の整備ー子どもを遊ばせる公園が少ない。花フェスタなど、高山でもそういった場を提供してほしい。</p>
<p>・活気あるショッピングモール。その近くに老若男女が心安らげる様な公園。子供用の大きな公園。遊具があり小動物がいるところ。(孫が遠方から遊びに来て連れて行くところがなく、牧歌の里ばかりです)街づくりー親子で楽しくお弁当を持って一日過ごせるような人の集まる公園づくりが、今一番必要だと思えます。原山に遊具を揃え、児童公園にしてほしいです。(自転車</p>

コース、ゴーカートコース、幼児用コース等)
・子どもが伸び伸びと遊べる広い場所を増やしてほしい。例) 赤保木公園、城山公園、原山公園のような
<p>・子供が大きくなってしまったので、今は特に関係無くなってしまいましたが、子育て(子供が保育園に行っていた頃)をしていた時に一番困った事は、公園の設備の悪さでした。スカイパークや緑地公園といった広い公園があるのに、晴れの日も日陰が無い。(東屋が無い等)暑いから行けない。雨の日も東屋があれば、暖かい季節はお弁当を持って行けるのに・・・といつも思っていました。緑地公園も昔からあるのに、使いたいと思えない公園です。一番の理由は、トイレが小さく入り辛いことです。トイレが多く東屋がいくつもあれば、もっと利用したいと思っていました。</p> <p>公園ばかりではないですが、雨が降っても行ける所があれば、子育て中のお母さんは助かると思います。福祉センター以外の場所がもう少しあったらうれしいです。というか、あったら良かったなあと思います。緑の少ないはずの都会のほうが、なんであんなにステキな緑いっぱいの公園があるのでしょうか。高山に似合うステキな公園があると良いですね。</p>
・お金が先立つ事なので、難しいと思うけど、よそから来た親戚が、「孫、遊ばせたいけど、何処かない？」返答に困った。原山かなあ？長男家族が、兵庫県に住んでいて、しばらく滞在した時、車で10分～15分の所に、遊具などもあり、広々として自由に遊べる所があちこちにあった。高山にもこんな所があったらいいなと思った。もしかしたら、市町村合併前につくられたのが残っているのかもしれないけど、(丹生川にも、久々野にも…というように。)余り、市内の事は良く分からなくて書きましたので、ピントはずれの内容かもしれませんが、お許し下さい。
・子育てしやすい環境。手当等の金銭面も有りがたいと思いますが、今は昔と違い、外で自由に遊ぶ事が難しくなっているので、すごい遊具は必要ありませんが、走り回ったり、ボール遊びや、砂遊びが出来るような公園を増やしてもらいたいです。
・高山は観光に力を入れて、活気があり良いと思います。しかし、子供が遊べる公園が少ないと思います。帰宅後、子供が遊ぼうと思っても、公園までは遠く、自転車では低学年では危ない道路もあり、子供だけでは行かせにくいです。近所の道路で遊べば、「道路で遊ぶ子がいる。」と、学校へ苦情がいくし、(我家ではないと思うが…)、マンションやアパートの駐車場で少し遊ぶと、やはり苦情がでます。家の中で、ゲームをやっていたら一番いいのですが、小さいうちは外で元気よく遊んでほしいです。子供は毎日遊びます。親も公園へ連れて行きますが、毎日では出来ません。家に庭はありますが、近所の子供達が集まれば、大変な事になります。ボールも思いっきり蹴れません。安心して遊べる公園がほしいです。遊具が少なくても、グラウンドでもいいので公園がほしいです。
・子育て中の若い方から、近くに広場があるといいという声を聞きます。昔の整備されたスポットや遊具を揃えた小公園ではなく、小さな子供が走り回れる様な、せいぜい芝生を張った小広場があちこち身近にあればという思いです。
・町の中に老人や子供等がゆっくり楽しめる公園がほしいと思います。
・高山は田舎なのに、家族で遊べる場所が、一日中居られる場所が無いと思うので、憩える所が欲しいです。
・公衆トイレの整備や遊具の安全確保。(老朽化が目立っているものが多すぎる)

水道・衛生
<p>・ 高山市営火葬場の早期整備。</p>
<p>・ 火葬場移転が中断しているようですが、再度考慮して頂ければと思います。</p>
<p>・ 高山市では、まちづくりに対して、いろいろ考えて頂きありがたく思っています。これはまちづくりと言われるかどうか、私はやはり、火葬場が第一と思っています。何年か前からこの話が出ていますが、何となく消えてしまう感じです。この高山市に、今の火葬場では、道も狭く、家族を亡くした者にしては、とても淋しいです。どうか、早く火葬場が出来ます事を願っています。</p>
<p>・ 私は、高齢者です。誰しも一度は利用する施設、火葬場の建設を早期に進めてほしい。良いまちづくりの一つにしてほしい。</p>
<p>・ 火葬場の移転について、地元の方々の反対意見が多いようですが、環境、道路状況等、適していると思われしますので、何とか地元の皆様の協力をお願いして頂きたいです。</p>
<p>・ 昨年（26年）6月頃、アルプス展望公園スカイパークに火葬場を建設する計画があるときいた。市民の最高の憩いの場所として、子供から高齢者まで多くの人が心を癒し楽しんでいる、高山市中心部の里山の高台で観光スポットです。非常にびっくり致しました。平成27年2月13日発行の市民時報「鷄闘楽」のコラムに「体重50kgの人の場合750×6.02×10の23乗個といわれる物凄い数の炭素原子が火葬されると二酸化炭素となって空気中にばらまかれる。これは地球上どの位置でも1リットルの空気中に炭素が約8万8千個存在するという計算で、人は世界中どこへ行っても亡き人の炭素に出会うことが出来るはず」と記載あった。このようなところで毎日数体火葬すれば、目に見えない莫大な二酸化炭素が充満し、周辺市街地に降り注ぎ、多くの市民や観光客が亡き人の密度の濃い炭素を吸い込むことになり公害です。更にアルプス展望公園を見る度に、亡くなった悲しい思いと人を焼くことの恐ろしい事を思い出して、心の病を持つ人が多くなることが想定されます。また、風評被害が広がり、観光客が高山に滞在せず通過のみとなる事が懸念されます。高山のきれいな自然や空気が汚れ環境が悪くなる事は、絶対に避けなければなりません。スカイパークに火葬場建設は、絶対白紙撤回すべきだと強く思います。</p> <p>①スカイパークの素晴らしさを全国に知ってもらうため、飛騨高山ウルトラマラソンのコースに繰り入れること。高山高校へ下る現在の道を改修して通り易くすること。</p> <p>②スカイパークから眺めるアルプスの頂から昇る太陽や月の様は大きな感動を与えます。太陽や月の出る時間帯等は月々変化するので、カレンダーにしてネット配信。ホテルや旅館等に写真で掲示し、観光客誘致をする。</p>
<p>・ 火葬場はなかなか決まりませんが、現在の場所で山を開いて道路を広くしてはいかがでしょうか。</p>
<p>・ 一昨年から出ている火葬場の件ですが、高山の街の中はきれいになっているのに、他所から葬儀に来られた方は、あの火葬場の貧弱さにびっくりされます。私自身も、あちこちの火葬場に行きましたが、あの様な火葬場に出合った事はありません。人生の最期を迎える火葬場が、あの様ではさみしさを感じます。送迎に時間がかかっても、山の中でもつくれる所はあると思います。どうか、もう一度考え直して下さい願います。</p>
<p>・ 一例、新火葬場の件も、一部地域説明会で終わる事など考えられません。景観のスカイパークと火葬場は、陽と陰の対比です。生きている人は陽で、黄泉の国に召された人は陰です。自ずと陽が主で、陰は従となると思います。以上です。未来に向かう高山、基底にあるものに配慮してほしいものです。</p>

<p>・ごみステーションについて、街の中には、ごみを集積するボックスがありますが、農村地帯は、未だにネット掛けです。（静かにカラスがネットの間からついばんでいます。恐るべしです。）ごみを集積するボックスがあると有りがたいです（大八地区）。</p>
<p>・ごみ処理券に今迄は名前を記入していましたが個人情報・・・とかで今は書きません。番号で判明すると思いますが、名前を書くということだけで責任の自覚ができると思います。ごみ減量のため是非指導願います。</p>
<p>・ペットボトルなどのリサイクルについて。リサイクルが本当に環境に良いことなのか疑問視する声が出ています。ごみからリサイクル製品が完成するまでの工程を考えてみました。雇用には役立っていると思います。しかし、リサイクル工場へ運ぶためにはガソリンが必要ですし、工場でもリサイクル製品を完成させるためには資源を使っているそうです。リサイクルのために資源が使われていなかったら、まだいいと思うのですが。メリットは雇用だけではと感じてきます。リサイクルせず、新たに製品にしたほうがコスト面でも環境の面でもいいそうです。プラスチック・ペットボトル・トレイなどはごみ焼却場では高温で焼却するそうですから、焼却しても有毒ガスは出ないそうです。むしろ、燃えやすいので燃えにくい可燃ごみに混ぜて焼却すると、燃料の節約にもなるそうです。ごみ埋立地では、軽いプラスチック等が突風や豪雨で外地へ散らばりやすいと思います。動物などが間違えて食する危険や環境にも景観にも悪影響のように思いますから、やはり焼却しその灰材で何かに有効利用ができればその方がいいと思います。リサイクルをしないデメリットは、リサイクル関連の雇用者に影響する事だと思います。ペットボトル等とビン類を分類する仕事をしてみえます。障がい者の方は免れるかもしれませんが、そのほかのリサイクル関連で仕事をされている方達にはかなり影響すると思います。</p>
<p>防災・安全</p>
<p>・冬季の除雪の徹底。朝、通学通勤前に除雪してほしい。</p>
<p>・高山には電車もなく、路線バスも私達の家の前は通らない。とても不便。冬は道路を除雪車が通り、家の前に固い岩のような雪の壁を作る。今はなんとかできるが、年を取るにしたがい出来なくなる不安。昨年のように雪が降った時の交通マヒ。高山を離れたくなる気持ちがわかる。</p>
<p>・毎年毎年、冬は通勤に不安を感じます。市内に向かって行く気がしません。雪が多い時は、市内の道路の悪い事！車がおかしくなるくらいのボコボコ道！雪が降るとぞっとします。もっと冬の道路を良くしてほしいです。</p>
<p>・冬期の道路の整備を充実してほしい。</p>
<p>・日々の暮らしが便利で不自由の無い事が第一だと思う。冬場の道路事情はこの地方では市内(旧高山市)は最低だと思う。R41号の飛騨市方面は歩道ギリギリまでキレイなのに、高山市に入るなりひどいもの。技術が低いと思う。これを直せないと住民は大変だし旅行者も困ってしまう。</p>
<p>・屋根の融雪装置などの個人宅への助成等、除雪対策を充実して頂きたいと思います。</p>
<p>・雪を捨てる場所が少ないと思う。宮川全域解放してほしい。または、家の前の川の水量を時間毎に増やして、雪を捨てやすくしてほしい。</p>
<p>・冬の道路の除雪も小さな路地に至るまでしっかり行わなくては、観光都市としては少し失格ではないでしょうか。古い街並みだけをきれいにしていれば良いと思うのは間違いです。生活している住民の軒下の目の前の道路の雪を除雪してくれてこそ、この街に住んで良かった、冬の生活も快適だと思えるのではないのでしょうか！小山の木も切って、重い雪による倒木から守っていただきたい。</p>
<p>・雪をしっかりどけて下さい。</p>

<p>・冬の道路除雪が悪過ぎる。広報で玄関前の雪はご自分で・・・と言われるが、持って行き場がなく難儀している。第一、除雪車が玄関前1m以上雪をかかずに行くので、後が重労働となる。年を重ねる将来が不安。</p>
<p>・除雪の強化。高齢者だけの家の除雪が不安。</p>
<p>・融雪装置の取り付けに対する補助を強く希望します。市内の道路も、融雪や雪掻きに予算を削いでほしい。子育ても終わり、老後は実家に帰ろうと思っています。友人達、何人も同じ考えです。</p>
<p>・自然豊かで、四季が感じられる良い所だと思います。ただ、冬が長いので、積雪での苦勞が多いです。雪道の歩道の確保等、学生や年寄などにやさしくしてほしいです。</p>
<p>・近年良くなったと思っている事があります。市内の道路の除雪です。以前は、町の中へ入ると、もうガタガタでした。市長さんが代わられてから良くなりました。ありがたいです。</p>
<p>・街中から少し離れていますので、冬の雪には困っています。早いうちから、何億という除雪費の予算が、底を突いているという記事が、新聞等（市民時報）に出ていると、納得出来ない時もしばしばです。</p>
<p>・冬の雪掻き、除雪後の雪またじの件ですが、雨水路、側溝を深くしてもらい、雪を捨てる事が出来れば良いと思います。温暖化が続き、本年みたいに、山の木が雪の重みで停電になったりで、お年寄りはお困りだと感じます。</p>
<p>・冬の除雪作業は、委託業者の質により、雲泥の差を感じており、市役所の監督強化や、見回りをお願いをしたいと思います。特に通学路等の対策は必要です。歩道が除雪されていない為、車道を歩く姿をよく見かけます。除雪の際、除雪車が家の前に寄せておいていく雪は、どうにかしてほしい。高齢者所帯は、なかなか片付けられないし、近所の方々も忙しいので頼めない。</p>
<p>・除雪の業者が変更になるたびに、ガッカリします。丁寧にやってもらえる業者と、一回サツとかくだけの業者と極端です。その度に市役所の方に連絡を入れますが、対応もいまいち。良い人もいますが。しっかりやれない業者にペナルティーを与えとか、考えて下さい。</p>
<p>・高山での生活は、特に冬期は、積雪による負担（燃料費、除雪道具、スタッドレスタイヤ、長靴、除雪にかかる労力等）が他の地方と比較して大きい。他地方と比べて、費用や労力負担を軽減するような施策があると良いと感じます。</p>
<p>・防災ラジオが電池式だと良いと思う（コンセントと両方）。災害が起きた時に、電気が通っていないと情報を聞けないし、各家に一台しっかりと良いと思います。</p>
<p>・日頃より、より良いまちづくりにご尽力下さり誠に有難うございます。近年、自然災害が各地で頻繁に起きておりますが、その備えが必要ではないかと感じます。災害を予防するに越したことはありませんが、それは中々難しいことだと思います。しかし、起こった災害に対しての対策や起こり得る災害の対策は、出来る限り行っていく方が良いと思います。何卒、宜しく願い致します。</p>
<p>・今冬は大雪に見舞われ、停電や通行止めなど長時間の不便な状態に大変な思いを致しました。住民が生活しやすい高山市をつくるために市政を中心とした取り組みをされている事に感謝申し上げます。かつて経験しなかった様な災害が近年多い事を考えますと、危機管理的な面での備えを行政も住民も共に努力していく必要を感じます。</p>
<p>・地震、豪雨災害に対する避難所。</p>

<p>・昨年、我家の近辺は洪水にみまわれました。私は走り回って水を防ぎ、車庫や床下浸水でくい止めましたが、この地に住んで10年毎の3回目です。私達が川として認識できる長さは、宮川まで100メートル程で、普通は深さ何センチの流れですが、大雨が降るとゴロゴロ石が流れます。山は開発されて、畑や墓等にもなりましたが、川はそのままです。温暖化で、いつも洪水の心配があります。住人の安心できる改修をお願いします。</p>
<p>・一番思っている事は、災害が無く、安心安全なまちづくりを願っています。</p>
<p>・今後の災害への備え。</p>
<p>・私の知人に、防災意識の高い方が見え、いざという時の準備はすべて整えて見え、感心しています。</p>
<p>・昨年、冬の大雪で裏山も倒木がたくさんあり、地面が見えています。大雪で、3日位は停電しましたが、特に町内、市からも、これといった知らせもなく、不安でした。夏の大雨では、家の前は川だけど、昔もままで堤防もなく、直に田んぼに川の水が流れてきて、道路も浸水します。家も、すぐそばなので、大雨が続くといつも不安です。近年の異常気象で、何が起きてもおかしくないからこそ、河川も見回ってもらいたいです。</p>
<p>・近年、想像もつかない災害が起っていますが、災害が起こった時、自分が住んでいる地域に、迅速な対応をして頂けるのか不安に思っています。</p>
<p>・今年の冬の倒木の処理も早くしてほしい。</p>
<p>・高山市民、皆が安心して住んで行けるまちづくりをしてほしい。</p>
<p>・高山市は、安心して暮らせる町だと誇りに感じます。時代の流れも早く、目まぐるしく変化していきますが、市民が安心して居られることだけは変わらないでほしいです。今後の高山市にも期待しています。</p>
<p>・昔とみると、自然災害などで不安も多くなった。自然と共に生きる高山は、今そういった事と常に戦わなくてはならないと思う。子供たちや年の多い方たちが、安心安全で暮らせる、自然豊かな高山であってほしい。</p>
<p>・虫の寄ってこない街灯に変えてほしい。</p>
<p>・私には、0～5歳の子供が3人いますが、今後、通学など子供だけで道路を歩くことも増えてきます。歩道の確保、街灯の増設をお願いしたいです。また、冬場の除雪も、道幅や歩道の事も考慮してやって下さると更にありがたいです。</p>
<p>・広瀬橋から、名張へ行く地下道は、何となく怖い気がします。私も通った事がありますが、子供達もそのような話をする事があります。安心通行が第一なので、分からないながら考えてしまいます。</p>
<p>・最近、外国人が多くなって、街を歩いていて少し不安だし、防犯の目がどうかな？と思います。</p>
<p>・防犯面では、訪問や電話などが多いと聞きます。近所で情報をシェアし、町ぐるみで防犯できるような何か対策をとれば嬉しいです。あとは、子・お年寄りに優しい町であればと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>・消防操法で疲れ切った夫を見ると、かわいそうになってきます。毎日夜も家に居ることも少ないですし、もう少しどうにか出来ないのかと思ってしまいます。</p>
<p>観光</p>
<p>・現在の高山は、観光の発展により沢山の観光客の方々に飛騨高山を知っていただけています。私もずっと観光業をしています。高山市民がもっともっと高山の良さに惚れていき、誰もが尊敬して誰もがPRできる市を作っていけるといいです。</p>

<p>・観光客が、「高山っていい所だね！また来たい。」と思えるまちづくりをしてほしいです。</p>
<p>・観光について 高山はブランド化されていると思います。どこへ行っても岐阜出身では通じませんが、高山出身というと話も弾みます。農産物も高山ブランドが出来つつあると思います。住みよいまちづくりにどうか今後ともご尽力下さいますよう、よろしくお願い致します。</p>
<p>・高山市は、観光地ですので、もっと高山市のPRをしていただきたい。</p>
<p>・国内外の観光客の方々が「来てよかった、また来たい」と思って下さる町にする為に、色々な方法を考えて取り組んでおられる現状ですが、観光コースの説明、見直しが必要だと思います。何もこんなにもないところに、と気の毒になることが多々あります。パンフレットにあるコースも歩行してみる等、遠方からの旅を有意義に利用頂きたく、よくお見かけしています。</p>
<p>・観光のあり方について一問1の「誇り」「愛着」と関係することになりますが、地域経済を考えれば観光への依存度が大きいことは十分に理解できるが、本当に誇りを持って高山を知ってもらおうとしているか少々疑問です。媚びや迎合に近い観光客対応は親切とは又違ったもので、長い間には地域の人々の誇りを失うことにも繋がりがかねない。高山の文化に自信を持った毅然とした姿勢が、かえって観光客からの高い信頼感、価値観を得ることにつながると思います。</p>
<p>・観光一豊かな自然の安全管理をしっかりと、国内外の人がどんどん来たい高山を希望します。</p>
<p>・観光場所の歩道の整備。</p>
<p>・観光地の拡大。車の駐車スペースの確保。</p>
<p>・公設の温泉施設（銭湯でないもの）を街中につくり、市民のみならず日帰りの観光客も入れるようにできないか。温泉と森林ウォーキング、温泉とクロスカントリー、というように夏・冬通じて健康志向をくすぐる発想は広げられないか・・・この地域が、旧高山市内以外が過疎集落になってしまう前に手を打って欲しいと思う。</p>
<p>・春・秋の高山祭りの日程について、もっと観光面を考えて行うべきではないかと思います。自分が小学生の時（約30年前）は10/10体育の日と秋の高山祭りが一緒だった為、地元の方以外にも観光客が多く、賑わっていたように思います。最近では平日になるケースばかりで、年々人数も少なくなっているように思えます。もし可能であれば、10月の第2土・日に行うというようにしてしまえば、地元の方や観光客の方にも多く見て頂けるのではないのでしょうか。少し考えてもらえれば良いと思います。</p>
<p>・高山祭について、雨が降ると中止になりますが、観光客がたくさん見えるので、屋台のからくりだけでも見る事が出来たら良いと思います。その為に、広い屋台会館があった方が良いと思います。</p>
<p>・高山が好きです。実際のことには知りませんが、今は昔より観光客の方が多いような気がしています。以前高山祭を見に行った時のこと。屋台からくりの待ち時間に観光客の人たちが、からくり奉納の回数の少なさや、せっかく祭（からくり）を見に訪れているのに狭く、遠く、近くに寄れず、見辛いと文句を言っているのを聞きました。少なからずショックというか、ずっと忘れられず悲しい気持ちになりました。なので、祭（からくり）をもう少したくさんの方々が見やすいような場所などの工夫はあるかなあと自分でも想像していました。そして、どこかでこのエピソードを発信したいとも思っていました。今回、ちょうど良い機会がいただけました。町中ですので広い場所の確保も難しいと思いますが、よく都会にあるようなビルについている大きなテレビ(?)みたいなものでからくりを同時に流せれば、遠くの人にも少しは見えるかなあと想像しました。回数については、実際からくりをされている方々の苦労もあると思いますので、</p>

<p>考えねばと思いますが・・・。とにかく、せっかく来て下さった方々が、気持ち良く、そしてまたリピートしたいと思ってもらえる高山になるといいです。（からくり、祭に限らず普段から）</p>
<p>・店員が客に慣れすぎたせいか、冷たい対応の土産店もある。たまたま買い物をした時、嫌な印象を持つことがあった。よその人間に冷たいと感じる時がある。高山市民に「おもてなしの心」を呼びかけてほしい。</p>
<p>・ウルトラマラソンは良い事です。ずっと続けられるといいと思います。</p>
<p>・外国人観光客への町案内の充実が必要だと思います。（英語、中国語で、駅や主要施設の道案内をする機会が多い）</p>
<p>・外国人観光客に向けてもっと地域で語学を学習し、地元の高齢者の経験を生かし、外国人への対応を増やすべきだと思います。都会出身の高齢者が、外国人ガイドをするのはおかしい。もっと地元出身を優遇すべきです！特にシルバー人材は地元を優先してほしい。</p>
<p>・最近、外国人観光客を以前より多く見かけるようになりました。北陸新幹線も開通し、これから、より増加すると思います。しかし、為替の変動や、災害後の観光客減少のリスクに備えるべきだと考えます。現在は、過去の文化財によって観光客が来ていますが、それだけでなく、新しいものをつくり出していくべきだと思います。20年30年先を考えたものをつくっていくべきです。</p>
<p>・外国人観光客が年々増えているので、この波に乗って、どんどん高山がよいまちになれば良いなと思います。</p>
<p>・外国人観光客の増加に伴い、信号無視や、道路上の集団での立ち話等、マナーの悪い外国人も見受けられる。せっかく来てもらうのだから、WIN WINとなるよう、外国語の話せるガイド、店員、役員など配備が必要ではないかと思う。</p>
<p>・外国人観光客の増加に賛成します。しかし、ホテルに勤めてますが、マナーが悪すぎて、日本人のお客様のクレームが、手紙で部屋に置いてあるのが目立ってきました。高山へ来て下さる外国人の方も大事ですが、他の方（日本の方）が、楽しくないと思わないでいいように、観光課で手をうっていただきたいです。</p>
<p>・海外からの旅行者を増やす活動をされているようですが、トイレ使用やマナー等トラブルが多いように思います。旅行会社へのサービスが先行して、基本ルールを守ってもらう指導等が行われていないように思います。パンフレット等に予算をやたら使う前に、もう少ししっかり伝わる方法を考えた方がよいのではと思います。</p>
<p>・観光の仕事に携わっていますが、最近外国人が多く、世界の人々に来ていただく事は大変ありがたいと思っています。高山市でも、たくさんのお金を使われたと思います。ホテル業界は収入があると思いますが、お店関係・製造関係としては、日本人のお客様にもっと来ていただきたいです。外国人はあまり買っていきませんし、食べ物の好みが違うので、見にみえるだけなのです。外国人誘致にお金をかけるのでしたら、その分日本人ももっと誘致していただきたいと思いません。商店や飲食店、製造や農業にも潤いがでてくると思います。また、日本の人に住んでもらえるよう、企業にも来てもらいたいです。</p>
<p>・観光客が多くなり、特に外国からの人が増えました。マナーが悪く、「来てほしくない。」という人もおります。</p>
<p>・高山の観光客－外国人を呼ぶのはどうかと思う。たまに高山へ出ても、マナーの悪い客も多いし安心して歩けない感じがする。</p>

・将来の事でなく、今の事で申し訳ありません。外国人観光客の積極的な誘致について、否定しているわけではありませんが、とにかく中心地の外国人観光客の増加に伴い思う事が最近多くある。

①交通マナーの悪さ（信号無視、道路を車道まで大幅にとって歩く）が目立つ。とっても気を使って車の運転をしなければならない！！

②食べ歩きや、スーパーの前で食事をしているなどのマナーの悪さ。古い町並み等、大切にするのであれば、金沢市のように食べ歩きを禁止するべき。高山の観光地には、品がないと強く思う。観光客のせいで、市民が住みにくくなっている現状を何とかしてほしい。

・近年、外国の方がたくさん増えてきました。日本の方もですが、マナーの案内など、将来すばらしいまちづくりにつながるサービスと人々の意識が大切ですね！人生で一度は行きたい場所を思い浮かべた時に、日本の高山市と言うフレーズが出るようなすばらしい街にしてください。

・活性化の為には観光客の誘致は大切な課題だと思います。しかし最近の様子を見ていると、信号無視や写真撮影の為に道路いっぱいに広がって自動車の走行を妨げたりなどのマナーの悪さが気になります。又、聞く所によると、店先に並べてある果物などの品物を写真を撮る為に手に取り、それを又元に戻すといった行為があったそうです。ちょっとお行儀が悪いですよネ！我々でも他国で行く様な事があれば、その国のお国柄を理解して少しでも順応できる様に心掛けて行きますが・・・。また、街並・商店がだんだん観光化されるにつれ、昔からある”飛騨たかやま”の愁いや趣きを失う事のない様にあってほしいと思います。駅舎の完成を楽しみにしていますが、付近の発展だけでなく、高山市地域全体での色々な生まれ変わりを期待しています。

・観光客（外国人）が増えたのは喜ばしい事ですが、マナーがなっていないと思う。信号無視なんて当たり前のような顔をして横断されると、こちらも「カチン」とくる。城坂下の神明パークの信号は本当に腹が立つ。歩行者用の信号もつけてほしい。

・観光がメイン産業であることは理解するが、観光中心のまちづくりのような気がする。また、観光客が交通マナーを守らないため、自動車を運転していて危険なことがよくある。

・ストリートライブ、パフォーマンスを公認化してほしい。勤めをしながらだと、行政と衝突しないか不安で出来ない。外国人観光客の多い町なので、ストリートライブを認可する事で、「古い町並み、伝統的な田舎」以外の活力ある観光資源にならないだろうか。

・観光について・・・観光を大切にしている割に、乗鞍やアルプスの展望を大切にしていない（駅、市役所、レストラン、喫茶、また案内等）のが不思議である。惜しいと思います。

・一つ苦言を申し上げます。観光面ですが、高山地域中心の施策が多かったと思いますが、各支所地域が、従来より受け継いできた歴史、文化があります。高山市を中心として、各支所を線で結んだ観光客の誘致を図られるよう、高山市全体としての施策を考えてほしいと思います。旧高山市のみ観光客が増えるのではなく、各地域の良さをアピールするよう一層の努力をして頂くよう望みます。春、秋の高山祭と、上三之町だけ賑わいがあればいいのではなくて、一体感のある観光行政、支所地域の良さをアピールしてほしいと思います。

・小さな喫茶店を営んでいるものですが、私の市及び市民への提言をしたいと思います。

私は高山の観光について、一度見直す必要があるように思います。現状を見てみますと、観光客に対して土産物売り、食べ物売ることだけで、まったく金儲け一辺倒のような気がします。広辞苑で観光とは、「他の土地を視察すること。また風光などを見物すること。名所旧跡を観てまわること。」と書いてあります。まさに欧米の外国の方は、日本の墓地や史跡などを回られています。つまり、高山の歴史なり生活様式を観光しているのではないのでしょうか。

私は高山において一番恥ずかしい事があります。それは現在の城山公園の姿です。以前がら思っていました、大木が覆っていて光は入らないし、景色は見えないし、動物が徘徊し危険の上ありません。散歩が出来ないような公園は聞いたことありません。公園の管理がずさんです。公園を生まれ変わるにはどうしたら良いかと考えました。高山には歴史があり、名所旧跡があるではないか。そこで城跡に高山城を復元すれば、立派な観光ができるのではないかと思います。城を造るにはお金も掛かりますし、人手も要りますが、城を造るにあたり大工が必要です。いま宮大工の人たちは、仕事が無いので出稼ぎ仕事をしているのが現状です。その人たちが仕事できるようになるわけです。また城の木材は、城山の大木を利用すれば良いし、土木会社、建設会社も潤いますし、また税金として市へ入りますから市も潤います。ただ造るのに10年から100年掛けて、市民の憩える場所をお願いします。外国のピラミッドばかり、ガウディの建設ばかり、それが観光に結びついていると思います。またつくる過程が人を呼びますし、できた暁には、城の中で市民が憩える場所にすれば良いと思います。

それから、城山公園を桜の木いっぱいにして、昔懐かしい花見ができればいいと思います。まさに長野県の高遠城の桜山のようにしたらと思います。市民の力を借りて、苗木を買っていただいて、市民一人ひとりが植林をする活動すれば、すばらしい城山公園になると思います。

・それからもう一つ希望があります。飛驒の里の活用についてですが、残念ながら白川郷の方に観光客が取られています。なぜ、飛驒の里へはこないのか考えてみますと、やはり人が住んでいるか、いないかの違いではないかと思えます。つまり、生活実態が知りたいという外国人の人たちの思いがあるのではないかと思えます。そこで、飛驒の里を民宿群にして、観光客ばかりでなく、市民が宴会等しながら利用できる場所として活用すればにぎやかになり、人が増えていくと思えます。

最後に、外国の都市は、自分たちの文化、伝統、芸術を大切にすることで観光客が集まって来るように思います。まだ言いたい事がありますがとりあえずこの位にして置きます。

・奥飛驒温泉の活性化をもっと考えるべき。観光地としての魅力を高めるために、まち、市内での宿泊を増やすためには、広域で観光を見る必要がある。さらに、奥飛驒地域は観光業の比重が大きく、どのような政策を考えるよりも観光地として活性化させればほとんどが解決するだろう。

農林畜産業

・農業の基盤は出来ているのに、農業経営の人材不足で上手くいかない、人材確保に協力して欲しい。

・農業振興地の変更。農振を取り外してほしい。空いた土地の活用がしたい。

・子供達が大きくなった時、高山でこの仕事をして働いてほしいというビジョンが持ちにくく、都会に行ってしまう気がする。人口が減っていくなか、農業、林業がとてもしっかりと大切になって来る気がします。しかし、実際、土地が高くて農業とか出来るのでしょうか？素人ですみません。

<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は、農山村が合併した町であり、農山村の担い手の確保と、作業の一元化などによる効率化と省力化によって、余った労力を合同作業、又は、（協同組合的）な団体による生産手段により、資金を得る手段がないとやっていけないと思う。現在、個人個人が野菜作りにハウス栽培で、ホウレン草やトマトなどが作られています、それを更に発展させたら良いのではないだろうか。少なくとも、旧の町村単位に発展させるべきと考えます。都市部から若者を呼び込む事にも繋がるのではないかと考えます。その為には、準備段階から市の財政支援などが必要かと思いますが、将来的な人口減少や、雇用対策などを考えて、地場産品の生産に取り組む必要が有ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関して、若者がやってみたいと思えるようなPR、又、体験教室などを広く設けていただけたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興の充実ー例えば地元で生産された物を一貫して加工→多種類の加工品まで地元でやるプランの拡大。それが人口増加、町の発展や利益につながれば良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・倒木処理を市でして頂きありがとうございました。助かりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・新たに畜産をやりたい人に離農した農家の牛舎を貸し出したり、機械等の購入の助成、就農者の婚活の積極的な推進等、県・市町村などが協力して新規就農者や後継就農者に対して手厚い助成を行ってはいかがですか。20代未婚の農業者と20代未婚女性たちのお見合いの推進をしてみてもは。
<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨牛を、また日本一にして下さい。
<p>商工業・労働</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい視点での起業。
<ul style="list-style-type: none"> ・起業家の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・「飛騨及び高山」の物産や食品が多く、何が特産品なのか解からない！！（多すぎ）
<ul style="list-style-type: none"> ・下呂市や高岡市で行われているような、一つの商品やブランドを使った食材をそれぞれの飲食店でアレンジしたメニューマップを提供してくれるとおもしろいと思います。例えば、飛騨牛マップを作り観光マップにすれば、わかりやすく色々なお店を廻れていいと思う。ただの飛騨牛取扱店マップではなく、各店のメニューやお店の一押しメニューが載っているとか！高山市の産業は、全体的に横のつながりが薄い気がします。何かもっと地域が一丸となっている事が分かるような事をしてほしいなと思います。高山のご当地メニューももっとアレンジを利かせてもいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・果物や野菜など地域の特産品を使ったスイーツや、食べ物などを売り出し、広くアピールする。
<ul style="list-style-type: none"> ・特産、観光、家具、牛等にブランド化、強化。
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統産業である春慶塗もそうであるが、もっと助成金を出してでも発展させるべきである。そう遠くない将来には無くなってしまうと心配している。後継者の養成も大切である。高山の観光は木造建築と伝統産業ではないか。スーパーも大切かもしれないが、今本町等を買物袋を提げて歩いている人がほとんどいない。昔の様に野菜屋・魚屋等の店がぜひ復活して、人が寄せられる町づくりをしてほしい。二十四日市は、高山・飛騨の市である。それが現在はどうか。飛騨の伝統産業は、追いやられ細々と遠慮した様な営業である。一位、春慶、さるぼぼ、漬物、味噌、朴葉餅等、もっと堂々と営業できるスペースをとるべきだ。飛騨にはもっと紹介し宣伝できるものがあるはずだ。飛騨を活かした昔の二十四日市にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興券を配布してほしいです。

<p>・地域振興券もよいが、生産性はゼロなので、もっと他所から当地にカネをもってくるようなシステム作りが必要と思います。</p>
<p>・商店街の活性化。</p>
<p>・本町商店街。シャッター街を活性化できるよう、何か考えていっては！</p>
<p>・本町をもっと活性化できる様になればいい。あまりにも活気がないのでさみしい。</p>
<p>・本町のゴーストタウン化を見直し、アーケードを撤去するべきです。古い町並みのようなつくりにして、人を引きつけるようにすると良いと思いました。</p>
<p>・高山の街には、海外からの観光客の方々も増え、観光地高山が日本、海外に愛される事、良いなって思います。ただ、夕方位になると、安川通りの商店等、早くにシャッターを閉めるお店も多く、夜の高山の街中は、暗くて淋しい街になっているように思えます。飲食街も、お店の中では賑わっているのですが、外を歩く人も少なく、市民の一人としても淋しいと思う。もし私が観光客だったら、夕食後、高山の街をそぞろ歩きしてみても、シャッターの閉まった通りで、夜眠るまでの時間、宿のお風呂だけで終わるのは少しつまらないなって感じると思います。夏のイベントの期間だけでなく、高山の夜の街を活性化…。これも大事な事ではないかと思います。</p>
<p>・私は、商店街に住んでいます。時代の流れは早く、商店の経営も苦しく、店を閉める方が多くなりました。いわば、シャッター通りと言われる街が、少しずつ近づいています。観光に今一番力を入れる事は、誰もが理解出来ますが、商店街のアーケード（アーケードの上の蛍光灯）も夜のまちづくりに大きく寄与しています。安川、本町、国分寺通りの灯りが消えると想像すると、もう観光地ではありません。大型店の来高から、商店での売物がなくなりました。大型店には敵いません。私の考え方は、店を閉める際、シャッターを下に、中は見えない状態ですが、これをシャッターをはずし、中の生活の明りが見える事により、多少、街の構成上、少しは助かるのではないかと…と思います。シャッターを取り外し、玄関の模様変等の費用の補助等を考えて頂けないか…と思います。一度お考え下さい。</p>
<p>・税金を使つての商店街のイベントなど必要ない。店の努力が足りないだけ。欲しい物があれば、名古屋まででも行く。都市とは生き物であり、自然に任せるべきだ。市民の税金を使つて芸者遊びがしたいなど、とんでもない事で、高山には旦那衆などいません。</p>
<p>・味まつり等のフードイベントを増やしてほしい。買い物出来る所（ファッションストア）が無く、高山にもっとお店があつたら、高山にお金をおとせるが、お店が無い為、ネットや他県ばかりでお金を使わなければならない。</p>
<p>・インターネットの普及や、大型店（チェーン店）が多くなってきた為、地域の商店街が潤わなくなつてきている。高山市を潤わすには、商店街の活性化を計る必要があるのではと…思います。又、観光地にもかかわらず、観光がまだまだ充実していないと思います。北陸新幹線が開通し、金沢の街や駅の様子をTVで見ますが、高山も魅力ある駅やまちづくりをしてほしいです。</p>
<p>・高山へ他県より、大手チェーン店等が余りにも入り過ぎて、市へ税金が入らない状態と、地元で商売をやっている人達が伸び悩んでいるように見える。</p>
<p>・伝統産業（伝統工芸）を高山市はまったく大事にしていない様に思います。後継者もいなくなり、いずれ廃れてしまうでしょう。もっと大切にして高山市もしっかり保護すべきでないでしょうか。</p>

<p>・商工業への支援では、インターネットや物流革命によって以前より商圈が大きく広がっている。安い商品を探したり特色のある商品を探した結果、地方の店舗から商品を購入というパターンが増えてきている。今後、特色のある商品作りや、インターネットを活用した販路拡大など支援していく必要がある。</p>
<p>・朝市で販売されている品物が、高いと思われる。観光客に対して販売するのにこれでいいのか？これからも来てもらう為にも、見直す必要があると考える。</p>
<p>・私は高山で生まれ高校卒業まで高山で暮らしていました。高山から離れてみる事で高山の環境の良さと買物をする時欲しい物が無いという葛藤がありました。今回また高山に戻ってみて、生活に不便はあまり感じないように思いました。しかし、本町の空き店舗を見て、なんだかもったいないと思いました。せつかく古い町並みに国内外からたくさんの観光客の方々がみえてい。その方達に高山の魅力が分かってもらえる様な素敵なお店が増えるといいと思いました。高山で働こうとしてもなかなか仕事が無く、賃金も安く、生活していくには持ち家が無いとなかなか難しいと思うので、雇用についても力を入れて欲しいと思います。このまま自然を生かしたすてきな町づくりを協力してやっていき、高山を盛り上げたいと思います。なのでもっと市民の意見が言える様な場所がほしいですね。</p>
<p>・子供が都会へ行かなくても、地元で働けるよう、企業誘致の推進に力を入れて頂きたいと思えます。</p>
<p>・多人数の働き口が確保できる大企業の工場を作ってほしい。</p>
<p>・雇用の場を増やしてほしい。外部からの企業誘致等。その為に積極的な道路、鉄道、空路の整備が必要だと思う。</p>
<p>・市内に大手企業を誘致して雇用の創出が出来たら、活気のある町になるのでは・・・若い人も定着すると思います。</p>
<p>・自分は、他県から結婚を機に高山に引っ越してきた。雇用の場も職種も限られているのが辛かったが、住宅補助が出たことは有難かった。住んでいる数年の間に高速道路が整備されたり、高山市の取組は評価している。どうしても自分の育った場所と比較してしまい、なかなか前向きな評価ができない部分もあるが、広い土地を利用してショッピングセンターなどの大きな施設を誘致すれば、富山や岐阜などでなく、より地元で活動を広げる若者が増えると思う。もちろん、昔からある地元のお店も大事にしていかななくてはいけないのも分かるが・・・。</p>
<p>・これからの企業誘致は無理であるから、既存企業に対する行政の協力をお願いし地元産業を伸ばす努力をしてほしい。</p>
<p>・雇用確保に伴う企業誘致について。企業とともに外国人労働者が流入してくると、その定住エリアの街並みが損なわれ、「小京都」または「日本の農村風景」と呼べないエリアになってしまい、観光産業に重大なダメージを与えかねない。本件は、然るべき規制を伴わせて実施すべきである。</p>
<p>・雇用の場の創出。</p>
<p>・雇用の場を増やしてほしい。</p>
<p>・働ける場所を多くしてほしい。</p>
<p>・雇用を生み出す行政の力が必要。</p>
<p>・人口減少が加速していて、生産年齢人口も大きく減少する事が予測できます。難しい事は重々承知ですが、雇用の場をもっと拡充してほしいです。</p>
<p>・若者達が地元で働ける職場が大事です。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・子供が高山に帰ってこれる職。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が学校など卒業後に帰って就職したいと思う職場が少ない様に思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が、高山に残れ、暮らしていける環境づくり。働ける場所の確保。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達が減少しているので、雇用の場の創出や、魅了ある環境づくりをして頂きたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり働けるなど、住みやすいまちになり、移住など人が増えるような所にしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が高山で生活できるような仕事・環境。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業、福祉以外での働く場所が少ないため、若年層が都会へ流出していると思います。IT産業等、若い人がもっと働ける場所を創出することが重要だと思えます。労働の賃金水準が全体的に低いと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の就職出来る職場がなく、高山を離れ他県に就職しなければならず、高山に帰って来れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・とても大好きな地元です。比較的地元が好きという若者が他の地域に比べて多いですが、進学等で市外に出ると帰ってくるための仕事・場所がないため、帰りたくても帰れない人がたくさんいると思います。外で学んだ優秀な人が高山で働いたり、能力を活かせるような市になってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が益々進む中、日本一広い高山市は、いろいろな課題を抱えているまちです。このまちに、いつまでも住み続けていきたいものです。何よりも若者が安定して、職場で働き、希望を持って暮らせる地域が必要です。仕事です。日々の生活では、安定した職場はまず必要です。高山市の中心へ、一時間あれば通勤出来る時代です。皆で考え、住みよいまちづくりを目指したいものです。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少という大きな課題に対し、少子化対策などの施策を講じてゆく事は、徐々に将来への効果発見につながると思う。しかし、最も重要なのは、現在市内で成長している児童、生徒の流出をくい止め、他都市で大学生生活を送った後、高山市へ戻って、郷土の担い手として活躍してくれるための意識教育と、企業誘致などによる雇用の場の確保、各種Uターン施策ではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は治安も良く、災害等の面でも比較的安全で、水も食べ物もおいしく、地域の人々も温厚である。無論、歴史も文化も豊かである。然しながら、これだけすばらしい土地にもかかわらず、また殆どの子どもや若者が高山に愛着を感じているにもかかわらず、この地を離れていくのは何故か？それは単なる郷土愛や郷土教育といった心情的な問題ではなく、仕事、経済、そして職業を通して個性や自己実現を図ることが難しいからであると思う。大きな農家の後継ぎ、行政の公務員、医師、教員、旅館の後継ぎなど、限られた人しか生活できないのが現状である。単に昔からの産業を盛んにし人口を集めるといった方法ではなく、もっと新しい枠組みでの雇用の創出を工夫する必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の最も重要な課題は、若者の働く場の確保だと思います。生活水準は低いのに物価が高い。進学先も遠方にしかなく、学費プラス生活費の仕送り。都会で生活するより、暮らしにくいと思えます。雇用の場を確保し、安定した暮らしが送れることが一番の願いです。
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、Iターン、Uターンの若者への助成金（？）が支給されるとの事で、喜ばしいと思えます。今後も、若者が働きやすいまちになるよう願っています。

<p>・高齢化については言いにくいですが、労働は働く場が多いと人口が増えますが、地域的に難しくそうですね。でも将来大企業が増えれば、若者が増えて平均年齢が下がるので、いいことそうですね！そうあってほしいです。</p>
<p>・働く場所（子育て中の母親が働きやすい場所）が少ない。</p>
<p>・雇用や福祉が心配です。ハローワークに何ヶ月も通っている方とか・・・現状は厳しく感じます。少しでも良い方向に改善されることを望みます。</p>
<p>・雇用に関して、給料をもっと上げられるように。正社員で働く事が出来る場を増やしてほしい。</p>
<p>・他と比べると仕事量に対して給与水準も低い為、やりがいがなく意欲もなくなります。景気回復は全く感じていません。</p>
<p>・高山は観光の街ですが、観光に携わる仕事（例えば、宿泊業等）の給料が少なすぎると思います。高山に来てくれる人が増えても、迎える側が大変になるだけで、それに見合った報酬がなければ、そういう仕事に就きたいと思えません。私は、実際、宿泊業の仕事ですが、辞めて行く人が多く、人手不足でお客様が増えても満足なサービスも出来ません。残業ばかりで給料も少なく、休みもなく、本当に辞めたくくなります。高山に来た人を、気持ち良くおもてなししたいと、そう思って働きたいという人が増えるといいなあと思います。仕事は24時間体制で、キツイのに給料安いでは誰もやりたいと思わないです。どうか、考えてもらえると嬉しいです。</p>
<p>・以前岐阜市の方で仕事をしていました。こちらに帰ってきて一番にびっくりしたことは、とにかく給与水準の低さです。今はそれなりに慣れてしまいましたが。やはり暮らしていくには、仕事とそれなりの給与が必要だと思います！</p>
<p>・若者の職場も都会のように大企業がある訳でもなく地方の経営者の哲学の薄さを感じ、少子化対策などは無理な事と思います。一口で言うなら、働きがいのない企業が多いと思います。</p>
<p>・高山市にまず仕事（雇用の場）が無い。会社は人を大事にしない（給料も安く、定年になっても退職金も支払わない）。それなのに定年になり退職し、再度働きたくても60歳を過ぎた者には全く高山市には仕事が無い（全く雇用してもらえない）。たとえあっても、給料が安くとても生活が成り立たない。</p>
<p>・高齢化社会が進む中、高齢者が多くなるのであるならば、雇用の方法、やり方をもっと考えるべきであり、高齢者でも働ける場をつくって頂ければ、多少なりとも活性化されるのでは…。各会社でもそういった取り組みをしてほしいですね。</p>
<p>学校教育</p>
<p>・町内の子供達の減少により、子供どうし、触れ合う事がなくなり、残念に思います。西小学校と、北小学校の人数の差があります。道路を挟んだだけで、校区がわかる為、西小学校はとてもいい所ですが、やはり1クラスだけでなく、バランス良く小学校の子供達がわかれ、共に素晴らしい学びが出来るとありがたいなあと思います。</p>
<p>・私は問7の今後重点的に取り組むべきことの一つに、15の学校教育等の充実を挙げました。現在もいろいろな形で支援していただいておりますが、今後も引き続き相談員の配置等推進していただきたい。様々な子どもがおり、少しでも多くの人數で教育していくことが大切だと思います。</p>
<p>・高齢者とのコミュニケーション。幼稚園の時、子供は施設を訪ねて、一緒にゲームをしたり歌を歌ってきたりした。小・中学校でもそういう交流の場を増やし、お年寄りを慈しめる心を育ててもらいたい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育・・・郷土教育よりも外国人観光客が訪れることを活用して、英語教育「日本一」。高山に行けば英語が学べる、「英語を学ばせなければ高山に行け」というような進歩的かつ大胆な施策を打ち出されてもよいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での部活動について考えてほしい。子供の少数化で、十分な部活動が出来ていないと思う。自分のやりたいと思う部活動がなく、仕方なくやる部活動。好きな部活に入っても人数が足りなくて、試合に出られない為、他校との合同チームで試合に出る。中学校を統合したら、十分な部活動出来るようになるのかと思う。
<p>生涯学習・スポーツ・文化</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の人口では無理と云われるが、飛騨に大学があれば良いと昔から思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が集まるように、高山市の公立大学ができれば良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の高山を背負う若い人や子供達の為に、スポーツ施設の充実化を計ってほしい。岐阜県下の各市の中で、スポーツ施設が一番不足しているのが高山市である。このアンケート調査票にあるように第八次総合計画の前半に、積極的にスポーツ施設の充実化を計画してほしいです。例えば県大会、東海大会、全国大会等ができるようならば、観光地高山へは選手、選手の家族や知人など、応援と観光を兼ねて宿泊してくれる人達が増加すると思う！！
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ（健康推進）で、市民の活力を育てる事など、世論がスポーツ庁の設置や、2020年のオリンピック、パラリンピック等、今後スポーツだけの単体だけでなく、いろいろな分野との関わりを持たせ、スポーツ振興（文化）の推進が深まればと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが強いまちに。
<ul style="list-style-type: none"> ・趣味（スポーツ等）を行う場所を気軽に借りられるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ専用のグラウンドもつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・プールなど、市民が楽しめるレジャー施設を建ててほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市には、本当に素晴らしい伝統、文化があるので、それをたくさんの方で、維持、継続し、また将来へつなげる事が出来ればと思います。その為、子供達にも、市の文化などを学んだり、触れたりする場をつくり、興味を持ってもらえると良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の保存と、継ぎ手の育成に力を入れてほしい。伝統文化（高山、飛騨の文化、工芸品等）が無くならないようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は誰もが羨ましがれる素晴らしい街であります。歴史、文化、伝統、食物どれをとっても素晴らしい側面ばかりです。しかしこの伝統文化がなかなか継承できない。また若者、女性には引き継がれないのが残念でなりません。雇用の場、教育の場が少ないからではないでしょうか。本当の意味での地域独自の教育も再認識が必要だと思います。まちの歴史、文化、食物、周りの樹木、草花、動物、魚など伝えてほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・従来各地域で行われてきた神事、仏事が失われたり疎遠にならないよう、このことに積極的に参加し、最も重要であること、第一優先とした方向性であってほしい。

<p>・飛騨の里では細工物作り（あじろ、みの作り、傘作り、竹かご、ぞうり（わらじ）等）イベントとしてはあるのだが、ノリがいまいち。越中のささらのような踊り。誰もがいつも格好良く出来るように。インカの方のような伝統衣装の着方。市民が全員こぞって習得できる事。（例えばめでた、古川のぜんぜの子が歌える）あるいは、伝統料理（おこわ、こも豆腐、わらび、ぜんまい、ぎせい、竹の子、こごみ）は小学生～年寄りに至るまですべての方ができるように、あらゆる機会を得て習得できる様になれば良い。飛騨独自に存在する植物の知識を得る。</p>
<p>・国際都市高山として日本をリードするような街に成長し、若者たちが憧れて住みたくくなるような文化交流を行っていただきたい。飛騨人としての奥ゆかしさは保ちつつも、異文化を取りこむ懐の深い高山として次世代へ残せるような地域性を育ててほしい。</p>
<p>・広報などで知ったイベント・映画会などに参加しています。「100年ごはん」ーオペラ唄から始まり語り、地元食材でのbuffet式食事会、とても良かったです。飛騨地区に映画館がなくなってしまう、娯楽の施設がないです。緑があり住みやすい町ですが、もっと娯楽方面への何かがあるといいと思います。</p>
<p>・去年、高山で唯一の映画館・旭座が閉館となりました。非常に個人的意見とは思いますが、残念でなりません。文化の芽が一つ消え去ったという感じです。とはいえ、個人的経営は大変な事だと思います。DVD レンタルが主流の昨今ではあっても、映画を映画館で観るというのはDVDとはまた違い、非常に文化の香り高い事と思えるのです。市の運営で文化の香りを取り戻していただけたらと、切実に思っています。高山の中心地に、洗練された映画館をぜひ作っていただきたい。人を街に集め、コーヒーを飲み映画を観る場所があると、街力UPになると思うのです。</p>
<p>・既に考慮されている事かと思いますが、一言申し述べます。町村合併の際、配布された「市民生活便利帳」、観光と商工について、商工課、観光課の業務記載がありますが、一例として取り上げます。この2課は、全市民（就労年齢者）何れかに所属しています。商工の対象は、生産が主で対物です。観光の対象は、販売が主で対人です。観光客の言う「人柄がよい高山人」は、販売する事と共に、基底には飛騨人が持ち合わせている人間性、公德心が滲み出ているからではないでしょう。よき飛騨人の醸成は長い時間かけ、伝統文化に根付いて出来るものと思います。速効はありません。</p>
<p>・現在の高山市の市政実況から、この国府町に現存する貴重な古墳や文化遺産等を、市当局は、私一町民の感じとして申し上げれば、知っていてもわざと無視。行政としては、一番にタチの悪い無視をされているように感じられる。</p>
<p>地域・市民参画</p>
<p>・高山市のまちづくりの活動は、今始まったばかりだと思います。広く市民の皆様に向けて、まず、まちづくり協議会という言葉と、その意味が一致するようにイメージ出来て行けたら良いと思います。幅広い年齢の方が誰でも参加出来、かつ観光にもなるような事が実現すればいいと思います。例：他県ですが、阿波踊りとか、皆が参加し、観光にもなっていて、芸能人も参加する話題性のある事。なかなか案は浮かびませんが、色々なアイデアを募集してもいいのかも？と思います。</p>
<p>・まちづくりの件は、主人がシルバーセンターで働いており、先日、文化会館でお話を聞いて来て、私に説明してくれ、良くわかりました。これからは、お年寄りも少なくなり、老人会、子供会等の分かれた集会は考えなければなりません。老人、子供、皆若い人達で色々行動する事になると良いと思います。まだ、まちづくりと言葉で言ってもわからない人も沢山います。もっと市民にわかるように広報等で知らせてほしいと願います。</p>

・まちづくりに関心を持つ人はお年寄りでも耳をちゃんと傾げるけれど、人ごとに思う人も少なくないです。それは硬い文章での回覧だけという実態も影響していると思います。恐らく、町内会で回覧物を出す人の意識も左右しているかと。そういった周知の細やかさは、合併前の方があった気がします。もっともっと広く住民に分かりやすく説明する機会を作っていただかないと解決しないような気がします。興味のない人は、トコトン耳も傾けてくれません。

・たまたま、昨年度、地域の役をしていて、“まちづくり”に関しては知っていましたが、市民一人ひとりに浸透していくには時間がかかります。もし知らなければ、このアンケートも「何の事？」といった感じだったと思います。まちづくりについて、子供達、若者、高齢者の方々に対しても、知ってもらえる何かいい方法があったらと思います。行政の中で、中心となる方、また地区の役員の方、大変だと思います。まず、まちづくりの実行がうまく運営され、地域が活性化していく事を願い、小さな事でも自分に出来る事があればと思います。

・協働のまちづくりなどは、負担であり、近所とのトラブルの一因となっている。協働などといっているが、どの地区も同じ組織、同じ活動で、トップダウン（市がトップというのもおかしいが）のお仕着せでしかない。自主性などない。地域活動は①防災・防犯②災害発生時の体制・対策作りを主とする。一人住まい、高齢者住宅に対してはシステムだけ作り、自由対応・自由参加とする。以上以外は負担でしかない。地域の連携は自然に任せ、くだらない組織など作らない。教養、思想、生活レベル等が異なる人達が、近所というだけで付き合わなければならないが、極力必要時以外は浅い関係で良いと思う。町内会への入会率は70%というが、借家の場合家主が町内会費を負担しており、その分も家賃にカウントしてあったりする。又、参加せずとも金だけは支払わされている人も多い。実質50%を割っている可能性もある。まずその数字を把握し、50%以下ならば町内会の推進などやめるべきと考える。

・「市民が主役」「協働」 もっともですが、ますます町内の役員数が増加するのが心配になる。町内の平均年齢が高くなり、役を出来る人も少なくなっている。これらの対策が必要になってくる。

・まちづくり協議会の役員の方々及び、それに携わる市の職員の方々には大変なご苦勞をおかけし、感謝申し上げます。ただ残念なことに、私たち市民と協議会役員、市の職員の皆様との間には、まちづくりに対する温度差、根本的な考えに違いがあるような気がします。地域の人々は、まちづくり協議会の役に当たらないことを祈っています。なぜなら、役に当たると話し合いやイベント運営に多くの時間を割かれるからです。地域にはすでに地域の人々を結びつけるたくさんの集まりが存在（神社、仏閣、学校、消防団、町内、祭り、ボランティア活動、スポーツ団体）し、その活動だけで精一杯なのです。これ以上の結びつきは、必要ないと考える人も少なからずいます。そこで、市が中心となってまちづくりを進めてください。運動会など参加率の低い無意味な活動はすべて省いて、極力市だけで進めていける活動にしてください。文化活動なども民間に任せて、補助金を出すなどの工夫をしてください。もちろん、高齢者や子供を地域で見守っていく活動は必要だと思います。市は、地域にお金を渡して市の仕事を減らすのではなく、自らお金を握って無駄を排除することを考えてください。高山市の人みんな気がよく、上の方のやることにあまり文句を言いません。でも実際は、地域を結び付ける活動に少し煩わしさを感じています。どうか、勇気を持って地域の真の声を聴いてください。お願いします。

・医療、福祉、子育て、防災などに関しては、行政が責任を持って取り組んでもらいたい。まちづくり協議会では、地域の絆が作られるような取り組みができたらいと感じる。

・高山市まちづくり協議会の組織に、女性部の組織が無いのは、今後の女性活動を促す上におか

しいと思う。女性部活動は、見守り隊が、一部引き継いでいるようだが…。

・急激な高齢者の増加になっています。これから、市のまちづくりの役員の皆様方、何かと大変だと思えます。どうか若者に御指導下さいますよう、よろしく願います。

・他地域の先進的な事例（海外も含め）があれば知りたいし、まちづくりへのイメージが広がると思う。

・「協働のまちづくり」の意味がよくわからないので、建設的な意見は出せそうにありませんが、町内会の問題としては、どの町内会も高齢化とともに、段々加入数が減ってきています（その理由の多くは、「問9-2」のアンケート項目かと思えます）。特に最近は、「役員が回ってくるのでやめる」というケースが多いようです。町内会をやめても、特に何の不自由もない。道路はあるし、ゴミは出せるし、雪もよけてもらえる…そんな打算は無いかもしれませんが、現実には、余分な人付き合いをしなくても良いし、会費もいらぬのだから、町内会への加入の意義がなかなか実感できないと思います。災害の時、近所の人々の助け合いが一番大切という説明も聞きましたが、近所の助け合いは町内会でなくても行うのでないでしょうか。行政と住民組織がお互い手を携えるには、組織されない人や組織されたくない人も居るなかでは、協働のまちづくりということも難しいのではと思います。地域の各組織は自主運営組織だと思うのですが、組織をされていない住民をどう取り込むのかが明確でないのではないのでしょうか。

・今まで町内役員の名称は、町内ごとに多少の違いがあったように思います。今年からは統一された役員の名称になっているようですが、それでは自主組織と言いながら、行政の下請け組織となってしまうませんか。また、それによって役員の業務が増加するようであれば、ますます役員のなり手が無くなるのでは…と心配します。こういった事業に反対しているわけではありません。自分達も年をとり、生活の不安や自然災害、最近のきな臭い情勢などになんとなく不安を感じています。ますます、行政や近所の世話にならなければならなくなっています。安心して暮らせる高山市であってほしいと思っています。

・まちづくり活動一知らないうちにどこかで誰かがお膳立てして参加させられ、主催者が表彰され……。地域住民は何なんだろう？あんな姿を見ていると、参加意欲はなくなる。主体者感なんて、かけらも味わえない。協働のまちづくりー現段階のシステムも予算消化のために何かやらねばならない……。と追い込まれて、消化のための行事で終わっている。結局は押しつけにすぎない。つまらん。

・地域の特性を生かした町づくり計画活動について提案があった時、市職員が専門的立場かつ市民の目線までおりにかに真剣に対応できるか。当然市民の活動の視点や姿勢が変わるのに対応して、市当局の姿勢がいかに変化進化するかの方向が一向に見えてこないのが気がかりである。例えば「それは他地区に例が無いので特別扱いは出来ない」などの件。今までの対応では地域の意欲は盛上らないと思う。

・いつの頃から、“協働のまちづくり”という言葉が目の付くようになった。これは、一言でいえば、“行政の怠慢”である。町内会へ丸投げした感じがする。少子高齢化が叫ばれて久しい、どこの町も四苦八苦している気はする。高山市の職員は、皆丁寧で優しいと思うがその本心はわからない。まちづくりとは何か？その本性はわからない。ただ、現状では、町内会へ無理矢理、押しつけている感じがする。町内の役員は、皆ぼやいている。

①高山市の市議会議員は、18人位がいいのでは…？

②まちづくりとはどういうことなのか？もっと具体的に考えるテーマではある！！

市役所の人間全体の意見を調査して、発表すべきと思うが…。

<p>・社会環境・構造の変化により、隣人、町内会、校下の人々との繋がりが極めて簡素になり、それぞれ地域内の情報や連携が無くなって来ている。高山市のどこかの部門が窓口となり、市民が活発に連携できる組織化を考えてほしい。</p>
<p>・行政もまちづくり協議会に丸投げにしないでほしい。協議会に丸投げするのであれば、市職員を100人ほど減らしてほしい。</p>
<p>・協働のまちづくりの仕組が全く分からない。今までの町内会や長寿会、女性部などとの関わり、行政との関わりなど、その目的や目標としているあるべき姿が見えてこない。果たして、小学校単位の中でこの事業が成熟していくのであろうか？立派に活動できるようになれば、市の職員は不要になるのではないかと？市長が変わったら、この事業は無くなってしまわないか・・・。</p>
<p>・協働のまちづくりが、どういう意図で、突然出されてきたのか理解できません。このまちづくりが、イベント的なものになるような、そんな感じを受けます。しかし、市民はどこ（高山市郊外や支所地域等等）に住んでいても、毎日の生活が安定していて、安心して暮らせる事を一番望んでいるのではないのでしょうか。（買い物難民という事を知ってみえますか？）このような事を、一番大切に考えてほしいと願います。その為には、市の職員がやたら減らされているのは、問題だと思います。市民のいろいろな悩みや、困難にやさしく、丁寧に対応できるのでしょうか。少ない職員で、あせってやりくりされているような事も聞く事があります。どうか、この素晴らしい自然ある、伝統ある高山を、市民皆のものと感じられるような、やさしい思いやりで満ちた行政となりますよう願います。その為でしたら、私も一生懸命に協力していきたいと思えます。</p>
<p>・高山市どの地域も、高齢者の数が多く、事業の推進、神社、仏閣、公民館施設の管理（協同事業等）が大変苦しくなっております。私の集落も、半数以上の家が高齢者で、今後の協同作業を心配しております。若い人が少なく、子供も一人も居ない集落の今後が不安です。生きがいを保てる集落の対策を常に頂いていますが、今後も力強い御指導、御協力をお願いします。85歳の老人。</p>
<p>・町内の方々の高齢化が進み、役が多い為、先が不安。町内又は班をまとめるなど、役を減らしてほしい。困っている方が多いと思う。</p>
<p>・私、63才です。現在、町内のやおしという事で、地域の大役をしております。役員会など出席した時、パソコン等の専門用語が出たり、現代の携帯などのEメールなど、ついていけない事が色々あります。年齢に合った仕事があると思えます。町内の話し合いで解決すべきとも思いますが、これも色々難しい問題です。頼む若者がいない場合の高山市の対策はありますか。</p>
<p>・町内会の加入について一独身者や仕事を退職した人はやる必要ないと言われる方が多いと聞きます。子育て世代が、町内会の役や班長、祭り話し合いや活動に参加するのは大変です。班構成も偏りがあり、私たちの班は8軒で班長、祭り、町内の役をやらなければいけないため毎年大変です。人数の多い班は、50軒でまわすため、やらなくてもいい人がいると聞きました。町内会の見直しをしてほしいです。</p>
<p>・少子高齢化により、空町地域の一部町内などでは、1、2年ごとに町内役員が回って来るような所もあります。大きな町内では、役になった人は大変ですが、一回やれば、10年20年と回って来ない。又は、一生回って来ないような町内もあります。役が回ってくるたび、会社に迷惑をかけ、お願いをして役をこなしていかなければなりません。町内会長が出来る人がいなくなってしまうとか、年の順に会長をやってもらおうなど、普通ではないように思われます。例えば、市が中心となって、そのような町内を集め、連合町内をつくったり、大きな町内と同規模の町内会をつくるなど、検討する必要が出て来ているのではないのでしょうか。人口が減って、町内が消滅</p>

<p>する前に。</p>
<p>・町内会について。子供会や、地域との交流の為、以前は入会しておりました。しかし、会費の経済的負担、入会すぐの役員強制、町内行事の強制参加等、とても負担が多く、子供会が必要なくなった時、退会しました。退会時も色々あり、本当に苦労しました。入会時も、「入会しなければ…村八分扱い。」という言葉で、入会前から不安になるような対応にうんざりしました。何を言われても、子供の為、また住みにくくなる…という不安から、数年間はひたすら我慢しましたが、これ程、町内会に苦痛を感じたのは初めてでした。他の地域に居住していた時も、入会していましたが、これ程大変な町内会はありませんでした。町内会とは何か？もう少し考え直す時が来ているのではないのでしょうか？「新入りは、いじめる。」こんな町内会は必要ありません。</p>
<p>・町会長、副会長等の役員の、行事、役割等が多めで、毎年役員にならない人が多い。いつもその事で町内会にひびが入り出しています。特に喧嘩沙汰になり、何の為の町内会なのかが分かりません。町内会長等の地位の低さも気になり、「裁量なしの小間使的役職」にならないよう、今まで以上に地位や権力を与えて下さい。町内会への加入について、自分は、今のままでは、町内役員の奉仕が苦痛になり、今後は、町内から籍を抜きたいので、「大反対」です。大きな町内と極小町内での運営は均等じゃない方が良い！！役所では机上の理で物言いますが！文章にまとめる事が出来ないのも、もう少し会話で直に接してからお願いします。</p>
<p>・高山市は一所懸命やってみえると思います。文句を言えばきりがないです。町内会もうまく成り立たなくなるのが現状だと思います。町内会長になるとかなり会合に出席しなければいけないのですが、それを効率良く、コンパクトにして頂ければと感じております。残さなければいけない事は残し、大胆に変えられる事は変えれば良いのですが、それも又難しいですよ。</p>
<p>・60代以上の人材をもっと地域の力とする取り組みを。若い人の力ばかりが強調されていて高齢者の力は軽視されがち。おもしろ味がなくなってしまう。</p>
<p>・私の場合、夏休み・冬休みなどの子供の長期休みの留守番が心配です。そういう時に本町商店街や空き家などを有効に使う、団塊世代の手の空いている方などにお手伝いをしていただく。勉強とはいませんが飛驒のこと・どんなことでも子供たちに語り継いでいってもらったり、何かを作ったりとか（さるぼぼ、刺し子、甘々棒とかなんでも）。そんな形で見届けてもらえると、働く母としては大変うれしく思います。</p>
<p>・姉妹都市はそれほど増やさず、高山独自の良さをアピールしたり、深めていったらと良いと思います。</p>
<p>・地域運動会などのイベントの活性化。</p>
<p>・一番しっかりしている中学生から、参加出来る各種イベント、会議等を考えてほしい。</p>
<p>・夏まつりなどの大規模なイベントをもっと開催してほしい。</p>
<p>・高齢化、少子化と今までにどの市も経験した事のない状況が、訪れようとしていると思います。行政に任せきりにしないで、あらゆる団体、あらゆる機関、そして地域が本当に協力していかないといけないと思います。私達、市民も出来る事を出来るだけ（例えば、ごみのルールを守る。ごみを減らす。地域の奉仕作業に出る等）やって、皆で高山市を守っていきたいです。</p>
<p>・近所付き合いを大切に、仲良く暮らせる町であってほしいと思います。</p>
<p>・子供からお年寄りまで近隣で交流のある環境（地域）作りを。</p>
<p>・地域全体が自分の地域の特性を知り、お互いに理解し合い、住み良い町作りをする、という意識を高めていくことが大切です。</p>

・私共高齢者にとって、年々横のつながりがなくなっていくという事はさみしい事です。都会化しているのでしょうか？少なくとも昭和の後年までは、隣の人職業を知らないという様な事はなかったと思いますが・・・。近年、町内においての長寿会・婦人会等という集まりがなくなっていく事が多く、自分本位の生活に満足している人達（若者）が増えつつある様に思います。もっと仲間を作ってワイワイと楽しく話をしながら遊び合える場があっても良いかな・・・？それが横のつながりとなるのではないのでしょうか？個人的な意見として・・・丹生川町は老若男女そして子供達、縦横のつながりの良い町だと感じます。

・高山市どの地区でも同じだと思いますが、私の地区も急速に高齢化が進み、次の代を担う人がいなくなり家を継ぐ者が無く絶えてしまうことが心配です。若い人や地元に戻って仕事をしたいと思う人に、戻って来られるような環境を考える、整えることが大切だと思います。子供をたくさん産み育てられるよう支援し、活気ある高山市となるよう切望します。

・地域の絆が薄れていく今日、近所の子供がわからないという話を聞く事が多くあります。私は、他市の出身ですが、高山に来て同世代の友達が出来、毎月会う機会をもっています。高山市に嫁いで以来、30年経ちますが、良き友達に出会えた事で、長くいられるのだと思います。自然豊かで住みやすい所ですが、雪の始末は毎年大変です。高齢になりつつある中で、独居老人の方が増えている事も事実です。地域でどれだけ支えあい、絆が保てるかどうか、これから益々大変になるだろうと思います。行政の方々も、多方面にわたる問題を抱え、大変だろうと考えますし、休日返上で働いてみえる市役所の方々には頭が下がります。未来を担う子供達が、出来るだけ地域の行事に参加出来る事が大切だと思います。スポーツ少年団、部活、習い事、子供達も忙しい毎日ですが、「家庭の日」位は、全市あげて地域に帰す取り組みも必要かと思います。建前だけの「家庭の日」になってはいないでしょうか？

・青少年の育成。

・若者が、高山を離れ、高山を素晴らしいと思い、帰りたと思った考えや、心の中を聞いて、根本を大切に、小さい事から活動に活かしていけるといい。

・形だけの文化、伝統の継承や、周りに流された町並みの保存では、これからの観光地として、魅力は失われて行くばかりです。なぜ、高山市が、これまで主に観光を資源財源として成り立ってきたか、もう一度根本から学べる機会が必要です。特に高山の若者にそういった機会を。大学がない高山に、Uターンしてもらうためには、小さい頃からの教育が大変重要と思います。経済も大切ですが、経済最優先の社会では、魅力あるまちになれるとは思いません。一番大切な事は、心を育てる事だと思います。

・私は喜々として通学している学生を見るたび、彼ら彼女らのために我々に何ができるだろうかと考えます。また、教育、産業育成、就労や文化支援等の地方行政の努力が無駄にならないことを祈ります。我々も日ごろから家庭教育においても「教育、就労、そして引退後の生活までの長いスパンを故郷で暮らせることが基本である」と示す必要があります。少子化の時代だからこそ、着実に地元根付いてもらいたいと思います。今後は行政とともに、ここに暮らすもの皆が知識・経験を出し合い、協力してふるさとづくりをしていきたいと考えます。我々は協力を惜しみません。ふるさとへの恩返しと生きがいにもなると思いますから。

<p>・高山は、とても住みやすい田舎の町であるという誇りがあります。自然環境や人情などがあり、文化や食べ物など発信できると思います。しかし、世代が変わるにつれて昔のように生活してはいけないところにジレンマを感じることも事実。生まれ育ったこの町が持続発展していくためには、若い世代を巻きこみながら考えていく必要があると思いますが、やはり日々の仕事や生活に追われ地域のことは二の次になりがちで、どうしても面倒事というイメージがついてまわります。そこをどう乗り越えていくかによって、物事は大きく変わるような気がします。</p>
<p>・現状、外国人の集客による収入に、かなりのウエイトがいつているように思われるが、長期的なスパンでいけば、一時的と考えた方がよい。若者層の県外流出は止められない状態の中で、今後の後継者の育成や、地域におけるつながり等が続けていく為の、参加方法を考えていく必要はあるように思える。高山市に対する住民のイメージが、観光のみのイメージが強く、愛着を感じにくい。祭りの来客数も低下している中で、祭りへ参加する人のイメージも上げる必要があると思う。</p>
<p>・若者は学校（主に高等学校）を卒業すると、進学や就職等で高山市を離れていきます。それまでの期間に郷土愛を育む教育（家庭教育を含む）が重要と考えます。「郷土に戻ってこよう」「自分達で高山を支えるんだ」という若者が増えてくることが、活気あるまちづくりとなると思います。そのために、中高年者は何が出来るのか。ボランティアの力を結集して、若者と語り合い触れ合うことから、将来に向けた手応えのある方策が地域ごとに見えてくるのではないのでしょうか。地域力の源は、地域愛があるかどうかではないのでしょうか。</p>
<p>・高山に対する誇りや愛着・・・高山に限った事ではない。「飛騨地方」と言った方が当てはまる。又、誇りや愛着もあるが、わずらわしさも感じる。</p>
<p>・他市から空家制度を利用させて頂き転入してきました。制度を利用させて頂いた事で高山市には負担を掛けたのですから、地域のためにできる事は積極的、主体的にしていきたいとは考えています。古い家を譲って頂き、地域の方にも大変良くして頂いています。転入する者の不安（地域に馴染めるか、行事参加、家のリフォーム代、冬の対策など）また、譲る側、受け入れる側の不安も多いと思います。まちづくりを進める上で、ボランティアを引っ張り出す。何かをしたいと思っている人は沢山いると思います。人の力は大きいと思います。</p>
<p>・地方移住に関して、岐阜県は最低レベルと聞きますが、「飛騨高山」のブランド力で呼び込む事は可能でないか？現在も多くの方が、農業、地場産（特に木工業）に従事、あるいは独立起業していらっしゃいます。お金の問題だけでなく、もう少し行政の支援がほしいとの声を良く聞きます。</p> <p>生産年齢人口が、逆ピラミッド化し、修復も難しいとなると、やはり外部の方の力が必要と思います。</p>
<p>・周辺地域の過疎化に対しては、従来の社会に比べて対応しやすい環境になっている。大型のタブレット端末等によって、高齢者の生存確認や買い物支援は可能であり、都市部と比べて情報の格差も減ってきているので、十分できるだろう。さらに、いかに若者をそれらの地域に呼ぶのか。現状では消防活動や地域活動等負担ばかり大きくて、若者が住みたい状況であるとは言えないだろう。</p>
<p>・今回の質問には、一項ずつに多くの業務が記入されていて、それを分析して重要度を記入する方法が取られていない為、統括的な解答しか得られないのではないかと疑問を持っている。行政だけでは高山はどうにもならないと考えると民間との兼合いどうするか、何も触れられていない。民間の力をどう生かすか知恵のいるところであり、最重要なことかと思う。「協働のまちづ</p>

<p>くり」に関しては、伝統的に「おかみ」の強い地域だけに、行政の関与をいかに薄めるかがカギだと思う。</p>
<p>・市民アンケートはよい企画だと思いますが、果たして皆さんが真剣に答えているのか分からない。統計をとって、本当に参考になるのか分からない。こういうアンケートすること自体おかしなことだと思う。将来どの様なまちづくりをしたいのか、アンケートする側の意見も聞きたい。いくら切手不要だといっても煩わしい時間を費やしたことどう思っていますか。</p>
<p>・アンケートはもっと分かりやすい方が良いのでは。これでは、あまりにも役所の書類作りの為に結果が出てくるのではと思ってしまう。市民全体の意見として使うアンケートなら、考えなくてもスラスラ書けるようなアンケートにするべきだ。集約されてから、どんな意見があったかなど、一部公表されるのだろうか。悩みつつ時間をかけてこのアンケートを書いている市民は、何人位いるのでしょうか。たぶん私のように、ブツブツ言いながら、仕方なく書いている人が多いのではないかなア。（自由に記入したので申し訳ありません、あしからず）</p>
<p>・ちなみにこのアンケート結果はどこでみられるのですか？又、この調査はいくらかかっているの？</p>
<p>・（市民アンケートについて）問8のように題目から意見を求められても、明確な回答に困る場合がある。問8～問13まで共通して感じることだが、この調査で確固とした答えが導かれるかどうか。結局、漠然とした問いに対する答えは漠然としたものとなるのではないか。回答者一人一人が施策すべてを認識しているわけではないので、○印の位置に責任が持てず中間位置に○印をふることが多いのではないか。</p>
<p>・設問の回答3、4の間に「普通」があった方が良いと思います。</p>
<p>・問8多すぎ。</p>
<p>・満足度と重要度のアンケート。多いし、分かりづらいし、何をききたいのか漠然としていて、途中からものすごく面倒くさくなった。</p>
<p>・アンケート、専門的な事項が多く、私には難しく十分な回答でなく申し訳ありませんでした。</p>
<p>・高山市に住んでいるのに難しく（知らない事が多く）、答えるのが大変でした。アンケートの量が多すぎました。</p>
<p>・アンケートの質問で項目の関連がわかりにくいところがありました。例えば道路、交通…「のらまいカーの運行見直し」と「飛驒エアパーク」がひとくくりになっていることが、違和感がありました。</p>
<p>・アンケートの内容が難しすぎる。市政に本当に利用できるのでしょうか。</p>
<p>・今回のアンケートー熱意は判りますが設問が多すぎる。</p>
<p>・高齢者にとって、このアンケートは非常に難しかった。そして、アンケートが多すぎでした。疲れました。</p>
<p>・年寄には分からないので、なにも書きません。</p>
<p>・私は71歳になります。子育ては遥か昔に終了し、老人介護も済み、やっと夫婦二人安穏とした暮らしをしています。先もさほどに長い道のりではない今、他の事に余力も関心も余り湧かず、折角のアンケートですが、答えることができません。今実際に困っている方、これからの若い方の将来のためになる意見を集めたいかがでしょうか。</p>
<p>・アンケートの内容を読むだけでも大変な80歳以上の者に、この様なアンケートをいただいても協力できる力がないので、解答者の選び方も考えて欲しい。</p>

<p>・このアンケートは18歳以上の市民から、無作為に抽出されたゆえ、せつかくの計画で立派なアンケートですが、私は88歳の年寄りで、間に対しまして難しいところもあり、シドロモドロの回答になりましたすみません。</p>
<p>・このアンケートの調査は、私のような高齢者（93歳）にとって、とても重荷で分からない事だらけでした。書けない所もあり申し訳なく思っています。今後益々、高山市すみからすみまで行き届いた行政をやっていただきたく思っています。よろしくお願いします。</p>
<p>・高齢者にアンケートを出してもらおうより、もっと若いの方が良いと思います。</p>
<p>・アンケート調査が届きましたが、今迄あまりに平平凡凡と暮らしてきたので、高山市の将来に向けて真剣に考えた事などなく、申し訳なく思います。もう少し若い方に届いた方が良かったのではと思います。</p>
<p>・後期高齢者の私ですが、分からないままにアンケートを読ませていただき勉強しました。高山市が良い市になるよう祈ってやみません。ありがとうございました。</p>
<p>・アンケート調査をやってみて、高山市の取り組みについて「知らない」「分からない」ことが多かったです。もっと市政運営に関心を持たなければいけないと感じた。また、様々なかたちでの情報提供を考えてもらえるとよい。</p>
<p>・設問に答えながら、どう答えていいか分からなくなって来た。大きく「国や県」の事についての問いでなく、市政について考えればよいのだが、一番困った事には、具体性に欠けるという事だ。設問そのものがいまいで、どう解釈していいか迷った。具体性のある設問であってほしい。回答がいまいであるから、そのように集計して下さい。</p> <p>①冬の通学路の除雪。 ②市道側溝の傷み。 ③火葬場の新設。 ④マイマイ蛾の問題。 ⑤小中学校での問題行動に対する処置。 ⑥豪雪による倒木の処理。</p> <p>等、生活に深い関わりについてのアンケートなども考えて下さい。</p> <p>・空家問題、老人を大切に作る取り組み、ウルトラマラソンは市民は案外無関心、選挙投票率を高める工夫。</p>
<p>・まちづくりに向けて具体的な事が分からず、アンケートも答えにくい内容でした。市の方で、たくさんの働きかけや動きがあるかもしれませんが、市民としては何をしているのか、いまいち分かりません。アンケートの内容も言葉が並んでいるだけで、専門的な言葉だったり、違いのはっきりしない言葉だったりした為、大変答えにくかったです。また、今回答えた内容が、どのようにまちづくりに活かされていくのかも不明なので、真剣に答える必要性があるのか？と考えてしまいました。アンケートをとり、市民の考えを知ることも大切だと思いますが、もっと別の方法で市民の声を聞く事も考えてみてはいかがでしょうか？アンケートよりも、もっと「生」の声が聞けるような気がします。高齢者が増えていく中で、古くても良い物、また残していかなければならない物が、確実に残していけるような環境づくり、また、子供達が、安心安全に暮らせる地域づくり、働き盛りの大人の就職先、障がいをもった人たちにやさしいまちづくり、もっと市民の声に耳を傾けてもらいたいです。誰にとっても（高山市民、観光客等）やさしいまちづくりになるように、もっと市民の目に見える動きをつくって頂きたいと思っています。その為に、もう少し具体的な動きづくり、市民の生の声を聞く動きづくりをお願いします。</p>

<p>・このアンケートをしっかりと役立てて下さい。</p>
<p>・市との活発な意見交換。</p>
<p>・具体的な策や市民にわかりやすい説明など、もっとやってほしいと思います。ほとんどの方が毎日の生活に追われて忙しい時を過ごしていると思いますので、何らかの形でまちづくりの意味や必要性をもっと理解できる方法があれば良いと思います。</p>
<p>・目指す具体的な将来像を広く市民から吸い上げていますか。</p>
<p>・いろいろ町が良くなるのは良い事だと思います。でも、その場所に住んでいる住民の話も良く聞いて、上から押し付けるのではなく事を進めてほしいと思います。</p>
<p>・誰もが安心して安全で笑顔で暮らせる高山。若者、女性で活気あふれる高山になるように行政主体ではなく、市民からの意見も取り入れ本当の意味でのコミュニティーを充実してほしいと願っています。</p>
<p>・高山中心市街地の人口減少が気になります。まちなか推進事業の継続と、もっと多くの人に知ってもらえる様、働きかけも必要かと思ひます。現在「広報たかやま」は新聞折り込みだと思ひますが、アパートに住んでいる方、新聞を取ってない方にも広く読んでもらう様、一戸に一冊配布したらどうでしょう。（市の取組など解かりやすい為）</p>
<p>・イベントは市の主催なのかわかりませんが、ちょこちょこ見ます。でも一部の方のみが参加されているのか・・・皆には知られていない様な、もったいないかんじがします。イベントが多いのはいいことですが、知られないのは残念なかんじですね。</p>
<p>・施策についての市民説明会が多く開催されているが、参加者が非常に少ない状況である。大変重要な内容があるにもかかわらず、このような状態である事は無関心と言わざるを得ない。よって、今後、市民説明会のあり方を考えるべきである。</p>
<p>・現況は詳しくわかりませんが、テレビで國島市長さんがいろんなイベントに参加してみえて、すごいな～と思ひます。現地でたくさんの方の人々と話して知り合えないと、お互い今後向かう所がズレてしまいますよね。だから、市民とふれ合うって大切なことですよ。すごいな～と思ひます。</p>
<p>・私は、年1回、國島市長さんが御出席されます会合に参加させて頂いておひます。お話を聞いておひまして、積極的に前向きに市政に取り組んでいらっしやると感じておひます。</p>
<p>・市民が意見を言う場が少ないと思ひます。時間をかけて、住民の意見をすいあげる必要があると思ひます。現実的ではないですが、全市民アンケートや、意見を集めるのが、将来に向けたまちづくりになると思ひます。関係ないかもしれませんが、市長のブログを見ておひると、旧市外地への会合の出席が多く感じられます（元町村部）。よばれる事が多いと思ひますが、旧市内での活動もアップしてもらわないと、勘違いされると思ひます。市長の行動力（フットワーク）は、素晴らしいと思ひますが、アピールやパフォーマンスで終わらないようにしてほしいです。</p>
<p>・インターネットを活用した広報活動がありますが、年配の方にとっては、パソコン等の使用自体、難しい方がみえます。「広報たかやま」で、最低限の情報は得る事が出来ませんが、幅広い情報を得るには、なかなか…という状態です。その辺、高山市ではどのように考えておひますか？</p>

行財政運営
<p>・地域の活性化も大切だとは思いますが、人口減少は、もはや避けられない問題です。それを見越したミニマムな市政運営、将来への負債を、少しでも減らす努力を行ってほしいと切に願います。</p> <p>高山市は、範囲が広大なので、ハードウェアを市政がささえるという今の形では、どうしても市内と僻地とで、利便性等で不平等が生じてしまいます。それならば、インターネット環境を、公的な資金で整備するなどして、住む地域に左右されない情報共有環境があると、広域に渡って定住しやすい環境の一助となりうると考えます。</p>
<p>・市を良くして行こうとする姿勢は認めるけど、いろいろな活動をすればするほどお金がかかるのは間違いないと思う。まず、市民から何もしていないと言われるのでやるのか、本当に良くしていこうとしてやるのかは分からないが、別に市民は最低限の生活が出来ればいいと思う。高山市は市民税が高いと思うので、まちづくりも大事かもしれないが市民の生活の事も考えてほしい。国も市もあまり国民の事（生活）を考えていないと思う。本当にあなた達が考えなければならぬ事は何なのかをもう一度、枠をくずして考えたほうがいいと思う。不満は言うつもりはないけど、個人的には高山市には魅力を感じないです。政治とは答えがないものなので、大変ですががんばって下さい。</p>
<p>・子どもや孫の世代でどうなっているか不安である。将来的な展望をもった政策をお願いしたい。</p>
<p>・現状維持が出来れば十分と考え、「このままではこうなる」といった数十年後の市の姿を様々な分野から予測したものを皆が共有し、危機感を持った取り組みを官民が行えるようにすると良いのでは。今より良くなることは、なかなか考えにくい。</p>
<p>・少子高齢化は、何をやっても止まりませんので、「まち」をもっと、コンパクトに集約すべきだと思います。インフラ維持に莫大な金を使いざるを得ない。広い高山市では、何もかも分散させるメリットがあるとは思えない。</p>
<p>・行政の改革具体化。第八次総に行政改革を明言する必要がある。行政体質の改善。（行政の株式会社的な考え方が必要。）有能な職員の育成が必要である。</p>
<p>・市は七次総・八次総と計画を立てていますが、意味があるのでしょうか？七次総で「公園を増やす」計画を書きながら市長の一声で公園をつぶすのだから、計画もへったくれもあつたものではない。公園をつぶすことの是非を問うているのではなく、市長の都合でコロッと変えられるような計画のために走らされる職員が気の毒だし、そんな計画なら作る意味がない。作つたのなら、それをきちんとやり切ることが必要なのではないかと考える。この結果の処理も大変だと思います。</p>
<p>・行政の皆様、日々御苦労さまです。高山市がより住みやすい町になる様、一人一人が意識していかなくてはいけないのではないかと感じます。ただ、行政が中心となつていただかなくては、難しい事がたくさんあります。広い範囲である高山市ですが、市中心街の方々も安心して、住み慣れた土地を離れる事なく生活できるよう、よろしく願います。</p>
<p>・財政の安定化—これから税収の減少、インフラ整備（修理等）費や福祉関係費用の増加が見込まれます。バラマキはやめて、未来に向けた健全な財政を進めて下さい。借金のない経営を望みます。</p>

<p>・地域住民が住みやすいまちづくりには、環境整備や福祉の充実が不可欠になると思います。それには財源が必要であり、観光など地域の特性を生かした経済の活性化や少子高齢化による歳入減への対策を重点にして、今後の重要度を選択しました。町内会や地域活動に参加していないため現状について分からないものが多く、満足度や重要度の選択も”分からない”としましたが、どれも大切な活動だと思います。限られた財源を有効に活用し、将来へつなげてほしいと思います。</p>
<p>・まちの博物館をはじめ、市で作った施設、なぜ無料なのでしょう？維持費や職員の方の給料を賄える程度は料金を取るのが当たり前なのでは。無料にしなければ入館者がいない施設は、必要ない場所なのではないかと思います。同じお金をかけるなら、もっと楽しめる所にかけてほしいです。</p>
<p>・人口減、高齢化は、この先避けてはいけない問題になります。箱物施設の統合や廃止も、本当に必要か、市民で話し合い、コンパクトな市政運用が必要だと思います。</p>
<p>・まさに少子高齢化です。市内の小中学生も年々減り、学校の統合（合併）も必須だと思う。市はどの様に考えているのか？子供が減れば教員数も減る。議員も同様に削減し、市職員も削減が必要だと思う。今こそ、ターニングポイントの時です！！まちづくりも大切だが、ムリ・ムダ・ムラがないかもっと議論すべきである。</p>
<p>・本庁職員と支所職員の隔たり。</p>
<p>・市役所にみえる方の対応が悪いと思います。窓口に立ってもなかなか席を立たず、「それはダメ」等の職員同士の対話も気になります。</p>
<p>・市役所の一部の人は、どうして熱意がないのでしょうか。部署交替がはげしいのも原因では？</p>
<p>・市職員の対応、もう少し丁寧に。</p>
<p>・まちづくりには直接関係ありませんが、市の職員の方たちの行政に対する意識が低すぎます。安定し約束された職場なので、もっと市の職員だという立場で仕事をしてほしいと思います。市役所の窓口に行くと、たまに大きな声で呼ばないと気づいてもらえなかったり、ご自身の机の上にフィギアを並べている方がみえたりします。借りている机だという事を分かっていないのではないのでしょうか？全ての職員の方ではないと思いますが、もっと職員の方の意識及びレベルの向上を望みます。</p>
<p>・市役所の職員も、町に出て色々取り組み、声を聞くべきだと思う。机の上のパソコンだけでは、見えないものが沢山あると思う。私達一般企業では、生き残りの為に、一人ひとりが知恵を出し合って頑張っている。それでも多くの企業が倒産している。多くの若者が地元で頑張れるよう、お願いします。</p>
<p>・市役所職員が多すぎるのでは？</p>
<p>・市役所の職員の方々が、どの面でも頑張ってみえるので、議員はそんなに見えなくても良いと思う。議員の支払われるお金を、他に使われた方が良いと思う。</p>
<p>・一昔前とは違い、市役所の方の対応も親切でありがたいです。これからも市民が親しみやすく、頼りにできる市役所であってほしいと思います。</p>
<p>・市役所内で職員の対応がすごくよい。</p>
<p>・支所の職員の方が親切で、やさしく接して下さるので嬉しいです。</p>
<p>・行政の業務の効率化は大切なことであるが、雇用の場を広げていくためには、もっと採用の枠を広げるべきと思う。非正規雇用やパート採用が多く、優秀な人材が流出することにつながって</p>

<p>いると思う。</p>
<p>・高山市は全国的に見ても、税、国保料、介護保険料は高く、議員も多いと聞きます。年金暮らしの我家には大変重い支出です。若い人達の負担が、多くならないようにするには仕方がないかと思っていますが、簡素で効率的な運営をお願いします。又、寝たきり等を防ぐリハビリ等の健康づくり教室をつくって、保険料の減少を！</p>
<p>・子供達が、将来かなりの増税に不安をもっていると思います。年金増加、子供の減少。今でも大変なのに、この先20年、30年…目に見えていると思います。住みやすい＝環境ばかりではなく、お金の事も考えてほしいです。</p>
<p>・市民税が高いのもっと安くしてほしい。</p>
<p>・税金の負担を減らして下さい。働いても、働いても余裕がありません。生活が大変です。物価が高いので、高山は住みにくいです。</p>
<p>・税金を安くして下さい。</p>
<p>・バランスの良い税金の使い方。市民税が高すぎる。高い税金を上手に使って下さい。</p>
<p>・減税。サービス向上。</p>
<p>・税金の使い道が良くない気がします。若者の声を聞く。カットできる所はして、資金を増やしてあげてほしい。</p>
<p>・合併して、広域な行政都市となった。その為一律的な行政施策は困難と思われるので、地区事情を考えた施策も必要であると考えます。福祉・保健・文化・歴史等への配慮を望みます。</p>
<p>・支所地域を軽視している点が問題である。各地域のイベント縮小、廃止などが地域の衰退に拍車をかけている。</p>
<p>・高山市と大野郡が合併して数年が経ちますが、格差があります。市へ要望を出しても、旧高山市の要望が先行され、旧大野郡は何年経っても、要望を実行してもらえない。（例、環境整備、側溝、街灯等）バス交通にしても、旧高山市は100円、旧大野郡は300円。しかもバス運行本数も、旧大野郡も多い所と少ない所がある。同じ税金を払っているのにおかしいと思います。将来を担う若者が遊ぶ場所が無い。これでは若者が高山市に住んで仕事をするのでしょうか。同じ税金を払っているのに、旧高山市と大野郡で、格差があると思われない行政のまちづくりを希望します。</p>
<p>・旧市内ばかりに重点が置かれていると思う。町内会の活動、役割等が郡部の方が負担が多い割に、行政は、いつも旧市内中心の考えで動いているようで、とても不満である。</p>
<p>・旧高山市内だけでなく、旧町村に対しても、公平に助成面、人事面等、気配りを願います。郡部の人も、一つの市になって良かったな～と思えるようにしてもらいたい。</p>
<p>・旧高山市の住民と、旧郡部の住民とでは、色々な面で温度差が大きいと思います。</p>
<p>・住所は高山市であっても、中心部から遠く離れ、何をするのも不便で、とても将来が不安です。飛騨市とは隣接している為、買い物、病院等、そちらへ行く事が多く、行政はまったく違いますが、もっと協力して行ってほしいと思います。</p>
<p>・日本一大きな市ですので、なかなか行政の施策が隅々まで届いていない気がしていますが、いかがでしょうか。旧市内の方に力が多く入っていないのでしょうか。市内全体が良くなるよう、よろしくお願い致します。</p>
<p>・過疎化している地区では除雪、福祉、交通面などの対応が遅く、高齢者が不安を感じていると思う。平等にサービスが受けられるよう把握してほしい。一人一人大切にしてほしい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・高山市内、各支所ごとに特色を明確にして、観光客が広い地域で飽きない場所を作る！
<ul style="list-style-type: none"> ・支所長にもっと権限を与えてほしい。
<p>・高山市へ合併して以来、10年が経ちました。あらゆる面で異なり、それぞれ旧市町村の特色があるにもかかわらず、どちらかという、高山市中心の行政、重点の施策等が多かったように思います。例えば、支所機能力が弱く、ほとんどの住民の要望等があっても、まず本庁へ聞いてみなければという体制でした。旧高山市としては、一体感のあるまちづくりということで、あらゆる面についても努力されてきた事は、事実であったと思います。今からは、協働のまちづくりとして、各地域の特色を活かしながら、住民主体の地域づくり、まちづくりが重要であるということで、自分達の住んでいるまちは、自分達の力で活力とあたたかさをを目指そうとしています。</p>
<p>・予算の削減はわかるけれど、小さな地域の補助金が無くなると盛り上がりなくなり、子供達の地域への感心や愛着が薄れて、地元に戻って来なくなるのではないかと思います。これから若者達に、高山を背負って行ってもらうには、削減、削減はいかなるもののでしょうか。考えてほしいです。小さな地域にも目を向けて下さい。</p>
<p>・様々な課題がある中、苦勞され行政を行っていらっしゃることに感謝しております。財政などきびしい面も多いかと思いますが、各支所地域においても不公平感がなく、将来の子どもたちのために尽くされる高山であってほしいと思っています。私たちも我慢できるところはして、協力する気持ちが大切だと考えています。恐れず、市民に提案していただきたいと思います。どんどん市民の声が届けられる市政をよろしく願いいたします。</p>
<p>・市街地中心ではなく、合併地域へも目配りをしたまちづくりが必要だと思います。行政のスリム化・効率化のために「支所の必要性」について見直す時ではないでしょうか。</p>
<p>その他</p>
<p>・問7の1～20は、どの項も必要で欠く事のできないことと思います。今後ともどうぞお取り組み下さいますよう念じます。</p>
<p>・問7「今後の重要度」はすべて重要だと思います。一応1～5までに○印をとの事で書き込みました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・封建的な社会を打破すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・山を良く歩きます。遊歩道の整備、期待しています。 ・子供達が安全に暮らせるまちづくり。 ・自転車道路、歩行者道路の整備。 ・交通量の多い所（交差点）へのセパレート信号の設置。 ・今一度、子供110番の家の再認。 ・仕事における相談所の設置。 ・介護に関する簡易相談所。 ・観光スポットにおける町並み整備。 <p>（レジャー施設等の建設、集客へのアイデア集めの活動、恒例行事の確立。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園整備。（昔のように外で遊ぶ事がない事が問題。）

<p>・未来の飛騨高山について。飛騨高山は伝統文化と豊かな自然を活かし、生活に根差したテーマパークのような地であるべき。観光客のためだけの観光ではなく、そこに暮らす人々が生活を営みつつ、伝統文化・産業を未来に継承する手段にもなりうる観光を目指す。</p> <p>(1) 周辺の農山村を活用して、フルシーズンの体験型観光を定着させるべき。</p> <p>課題は人材育成と体験メニューの整備・発掘</p> <p>(農林事業者・スキー場・その他異業種等との連携)</p> <p>(2) 外国人観光客のために英語教育(成人対象)に力をいれるべき。</p> <p>英語に対応したスタッフはもとより、観光事業に携わる人々の英語力UPは急務である。</p> <p>(言葉が通じるということは、その観光地の魅力UPに直結する)</p> <p>(これまでの英語教育は学校教育に偏り過ぎ。英語力が必要な現場にこそ注力する)</p> <p>(3) 教育の一環としての場を提供すべき。(1)の活用。</p> <p>農林業を中心として、都市の学校と連携したメニューを開発。</p> <p>これらの施策により、若者及び高齢者の就業を確保できます。</p>
<p>・グローバルな視点、観点をもちつつ、根本的には高山という土地の魅力、なぜ高山が高山なのか、これからも高山であり続けるために、何をすべきかを自覚して、市の統一したブランドデザインを描いてほしいと思います。例えば、経済活動を、活発化や効率化するためであっても、これ以上のコンビニはいらないと思うし、安易な利便性や都市化は必要がないと思います。高山の顔にどんどんと特徴が無くなってきていると思います。“高山”をもっと特化させるといいと思います。その反対に、教育や医療など、人の生命や基本的人権にかかわる事はどれだけでも充実していけるようにしてもらいたいと思います。</p>
<p>・高齢者対策、空き家対策、文化事業、防災拠点の整備や不良箇所の改修に力を注いで欲しい。</p>
<p>・少子高齢化対策、子供を育てやすい環境・補助の充実、高齢者の介護支援の充実を進めて欲しい。観光だけでなく、農畜産業の発展・補助の充実。若い人達が地元で働ける様な産業、企業誘致の推進。空港等の交通機関の充実。地元食材や地元特産物の海外輸出推進。</p>
<p>1、子供は、良く学び、良く遊び、のびのびと。</p> <p>2、成人は、趣味を楽しみ、共同生活に馴染む。</p> <p>3、老人は、健康で、やさしさと、責任と公道を。</p>
<p>・日頃気になっている事</p> <p>①北山地区において、古木が多数枯れて危険を感じる。</p> <p>②土砂崩れの多発、森林の放置が目につく。</p> <p>③外国人観光客が上がって来られて、案内標識もないので、うろたえているのを良く見かける。</p> <p>④国道158長坂地区において、毎日通勤しているが、道路の狭さや、特に冬、歩道がないに等しいので、学生等が気の毒に思われる。</p> <p>⑤獅子会館駐車場の歩道に植えられたドウダンは、どこの管理なのか、植えられたまま手入れされた事がない。</p> <p>以上、いろいろ書きましたが、一つでも叶えられたら嬉しいです。</p>

・こんなアンケートは、みんな体が健康な人ばかりだと思っておられるようで。病院通いばかりで、とても読んで書く事ですら、えらいようですよ。誰でも若い時があり、高山市にも協力しておられた人ばかりです。子供に代筆してもらわなければならない人もいます。あまりにも多いアンケートで、ちょっと無理な事ではないでしょうか？とにかく皆さん歳を取っていくばかりで、病院・福祉・交通の事とか不満があらうと思います。企業の少ない事で、孫たちの世帯の事を心配しているようですよ。もう少し、思いやりをもってやって下さい。お願いします。年金も少ない人もいます。大企業がないので働く所が無く、年金も少なく、子供もいない（少ない）、活気のない高山市になっていったのではないのでしょうか。大学を出た人は高山市を出てしまい、悪循環のような気がします。なんとか企業が多くなる事を願っております。

1、松本までの高速の早期開通の実現。

（長野県にとっては、余り必要がないという事を、もっと考慮して取り組むべき。）

2、JR高山線の複線電化。

（富山までの本数、車両数の増加。）

3、人口が恒久的にミニマム8万人を切らない施策。

①前述1、2により、精密機器等のニッチな企業（世界レベル）の誘致。

②賃金レベルの向上。（少なくとも、富裕な富山県レベルを目指す。）

③大卒の70%余りが、高山に戻る様な就職環境の創出。

④農業（高山のブランド品、牛、トマト、米等）の後継者の育成と継続。

4、力のある県議、国会議員の創出。（世襲ではなく、党等にこだわらない。）

5、市議の定数削減、又は手当の削減。

6、市長の手当の削減。（副市長、教育長等含む。）

7、前途5、6公僕としての意識の再確認。（同規模市等との比較ではなく、高山市全勤労者の平均賃金、又市財政内容を勘案して職員賃金も考慮すべき。）

問8については、内容がかなりアバウトと思われるので、今後のアンケートは考慮頂きたい。

・三世代が一緒に同じ家で暮らす所は、税もしくは手当てなと優遇があってもいい。何か少しでも得する事を作り、他県から高山に住んでみたいと思ってもらえるようにして、他県にピーアールをする。どうしても、岐阜市や名古屋市など都会に仕事がある。JR・濃飛バス会社に間に合う用ビジネス便を作ってもら。都市で働いてもらい、住むのは自然豊かな高山。それも三世代で暮らしてもらえば他市にない優遇がある。今人口が少なくなる日本だから、他県から人を引っ張ってくるぐらいの事をやらないとダメだと思う。自然環境を守りつつ、住みやすい高山らしい街並みにする。外見は古びた情緒的にし、住む人は新しい物を使い、住みやすい、良かったと思ってもらえるようにする。街がある程度統一されると、市全体が美しく見えると思います。

・移住者から見た高山の良さ、活かしていない点など、よそ者からの意見。飛騨人（飛騨人の考え・飛騨人のみの人口）だけで維持していけない。もっと飛騨に1ターンしてくれた人の意見や外部の意見を取り入れ考えていかないと。

<p>・岐阜県の全国的知名度は低い。何故か？私のような「旅の者」からすると住めば都であるが、印象としては「暗い」と感じる。私の見方からすると、保守的体質は選挙にもあらわれている。地域の住民にとって良いことは全国的発信力には成り得ていないのではないか。そこで、交通アクセスの悪い全国一の広さをどのように活用していくか。私は「大いなる田舎」を売り出し文句に出来ないかと考えたい。具体的な方策はすぐには見つからないが、何も他と同じことをする必要はないではないかと思う。「田舎」故の良さは多くある。行政と民間で知恵を出しあっていないものか。ともかく、魅力ある職場づくりをしていかないと定着していかない。行政の指導は「働く場所」の確保に全力をあげるべきかと思う。</p>
<p>・他地区から来た者には住みにくい。人付き合いが悪い。人が冷たい。地方からの者に対して受け入れが悪い。もっと優待してほしい。もっと地域発展に努めてほしい。老人には買物が不便。交通の便を良くしてほしい。お金お金と物欲ばかり。私から見ると汚くみえます。もっと心を開いてほしいと思います。損して得取れの精神がほしい。他から来た者を食い物にする処有り。</p>
<p>・少子化が目に見える程進んでいるので、それに対する有効な策を立てて実行していただきたいです。</p>
<p>・少子高齢化に対する政策が必要。人口減少が進めば、どんな政策を立てても効果はないと思う。若者を大事にして下さい。</p>
<p>・人口が減ってしまえば、まちに活気が無くなります。魅力が有る高山市にしてほしいです。若い人達が住みたいと思うようなまちにして下さい。</p>
<p>・人口減少は、時の流れで、その事を覚悟の上で、事をすすめていく。</p>
<p>・人口減少の歯止め。働く場が少ない。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業誘致を積極的に推進。 ②工業団地の開発。雇用の拡大。 ③観光一辺倒とならない施策も必要。 ④安心して子供が産める環境の整備。
<p>・高山は素晴らしいまちです。まちが美しく、人情が厚い。でも、若い人は、外に出て行く方が多いと思いますので、出来るだけ人口減少にならないように望みます。</p>
<p>・今、一番心配に思っている事。少子化の為の生活環境。この地が大好きで、ずっと住み続けたいと思っても、生まれてくる子が少なくなり、多人数の中での教育が困難になってくる。すると、どうしても居住地を替えざるを得なくなる。現在、私は、息子夫婦と孫二人に囲まれて、六人で幸せな日々を送らせてもらっています。息子夫婦も同居してくれ、職場にも恵まれ、私達は孫までこの地で養育する事ができました。しかし、孫がここで自分の子供を養育するとなると大変心配でございます。若者が減るという事は、職場がないという事につながります。何とか、市内の真中はもちろん、郡部の山の中が生き残れる、いい知恵はないものかと、日々考える者でございます。市民一丸となって考えて頂き、奥地がこれ以上過疎にならないよう努力する事が、この地で子育てができる第一歩と考えております。</p>
<p>・人口減少→若年者流出→税収減 合併交付税終了→地方交付税減額→社会保障費増大→独居高齢者増大→空家対策 消滅都市対策急務</p>
<p>・各分野の質問を読み、分からない、知らない事ばかり多くありました。毎日、自家用野菜作り、運動、孫との交流の生活で暮らしているのが、「当たり前」だと実感しています。これからは、若い人の結婚、妊娠、子育て、中学生までの医療費の無料化、70歳以上の医療費の無料化もお</p>

<p>願います。</p>
<p>・若い人達が、快適に働く場所が多くなり、もっと人口も増える市になるように願います。子供から、老人までいい環境で暮らせるようなまちでありたいです。少子化で、将来は大変だと思いますが、若い人達が、結婚出来て、子供を育てていける良い行政を望みます。</p>
<p>・子供達が、高校、大学を卒業して、高山に帰って来たくても、雇用の場がない為、帰って来れないのが現実です。また、帰って来たとしても、今の高山では満足出来ず、また都会へ出て行く事もあります。自然豊かで住みやすく、安全なまちですが、若者達への魅力が何かあったらいいと思います。</p>
<p>・高齢化社会となり人口減少等問題が多々ありますが、今後は国や県の財政を当てにした行政はますます困難となると思います。観光産業に力を入れても限界があります。私は今後は「自給自足」的な考えが必要だと思います。住み良い町とは、「他力本願」から脱皮することにあると考えます。他都市へ出て行く人のアンケートを見れば明解です。住み良い町から、住みたい町にどれだけ手段を提供できるかが、問題解決への糸口だと思います。産直店（例：国府町あじか）に成長していく町の姿があると思っています。</p>
<p>・自家、近所も含めて、長男夫婦が他都市で生活しています。退職後でも、少しでも働く場が無いと人口減少がますます加速すると思います。学校の統廃合も地域の衰退につながると思います。自分達夫婦は暮らしよい高山市ですが、次の世代にとっても暮らしよい町であってほしいです。</p>
<p>・私の生活エリアは、病院、銀行、スーパーなどがとても近くにあり、住みやすい場所でありがたいと思っています。家族（高齢の両親）も安心して生活しています。反面、子供達世代（30代～）には、働く場も限られた中で、子育てなど大変な面も多くあると思います。今後はやはり、若い世代が沢山住んでくれるようなまちづくりが大切だと思います。私の娘二人は、進学・結婚を機に高山を離れてしまいました。やはり若い人達には、がんばって高山に住んでもらいたいです。</p>
<p>・現在息子三人が成人し就職をしています。高山では就職を選択することもできず、ましてや高山に就職しようと思うことができないほど、高山は若者にとって住みたい町ではありません。就職先もなく、遊ぶ所もなく（映画館までない）、どうして帰って来ることが出来ますか？結婚して二人で住もうにも、二人の就職先がありません。だんだん老夫婦だけになって行くのが、目に見えています。どうぞ、高山を若者が帰って来れる、元気のある町にして下さい。切実な願いです。福祉は充分です。若者（納税者）を大切に考えて下さい。もちろん子どもも増えます。老人だけではダメです。</p>
<p>・若者が定着できる環境（職場、生活、文化等）の整備・充実が先ず重要だと思います。また、短期的なスパンでの最重要取り組み事項を全市をあげて推進して行くような試みも良いと思います。</p>

・観光のまちとしての高山は、すごく魅力的に感じます。しかし、実際住んでみると、雇用者に対する賃金の低さ、子供達が思いっきり遊べる公園の少なさ、本町通り3、4丁目の静けさ、若者の定住の低さ等々、今後の高山市の危機感を感じます。又、今は古い町並みだけで、進んでいるように思いますが、本町通りの活発化もして行かないと観光客の方々にあきらまれてしまいそうです。身近を見ますと、私共の町内、班も、若い方々が都会へ出ていく為、60代以上の方々が、約9割を占めるようになりました。

それでは、高山市の人口が減少→働く人もいない→高山市の財源が減少→市政の運営悪化になり、市民（高齢者、子供達）へのサポートも出来なくなるという最悪の結果を招くのでは…と思います。

①高山市の自然を活かした、農業、林業の重要化。子供達の育成に。

②特に町中に、子供も老人も楽しめる公園の整備。

③若者の定住。（少子化対策、雇用者の賃金に低さ。）

④本町通りの活性化。

もちろん、高齢者に対するサポートも必要ですが、今後、未来の高山市を考えると、以上の4点が必要に思います。宜しくお願いします。

・高山市は観光地なので、国内だけではなく、各国からいろんな人が訪れる。なので、言葉でのコミュニケーションは大切です。バイリンガル育成に力を入れ、若者が地元に残って活躍できるよう助成してもらえらる制度ができたりしたらよいのでは・・・。

・観光ブームの中、高山市の観光についての取り組みは素晴らしいと思いますが、将来、ブームが無くなった時、古い町に残された物（市外の業者）がどうなっていくか心配です。観光だけに頼ることのないようにしてほしい。

・最近外国人などの観光客も多く、街がにぎわい活気にあふれた姿はとても嬉しいです。高山市も観光第一で進めていると思います。但しこれにはリスクも伴います。何かあった場合、風評被害があれば誰も来なくなり、街は一気に機能を果たさなくなります。高山の従来からの基幹産業であった農林畜産業。これを基幹とした街づくりをコアとする戦略が重要になるのではないのでしょうか。

・「観光が主たる産業」という一極化しつつある現状の考え方に疑問がある。観光は地域の副産物であって、主たる産業としては地域に根ざしたものが出来ると良いと思う。（林業、木材、農業、畜産などの発展）

・子供達が、高山に生まれて良かったと思える市にしてほしい。観光ばかりに“力”を入れないで、地元の産業を育てて、子供が大人になった時、働く場所があるようにしたい。

・一般市民、特に高齢者や、身体不自由者に対しての対応が不十分。自分の住んでいる身近な所で、買物も出来ない、不自由な生活を強いられている人が多い。市の中心・重点を観光としているが、市民全体の生活をもっと考えてほしい。現在、高山へ観光に来て下さる外国人が多いのは良い事だと思うが、このままでは、高山は少しずつさびれて行くと思われる。市長や、市議会議員は、上ばかり見ていないで、もっと市民全体の事を考えてほしい。市議会議員の報告は、文章が硬すぎてほとんど読んでいない人が多い。

・高齢化の進んでいる今の時代、若者が町から出ていくのを引き止め、また戻ってこられるような高山市になってほしい。観光都市としての高山も重要だが、それ以上にそこに住む一市民を大切に。観光客のための町づくりだけを考え進めていくのだけはやめてほしい。本当に必要なことに財源を使い、無駄なことに使うことがないようにしてほしい。今の市政が市民の声を反映して

いるか疑問が残る。課題も多くどれもというわけにはいかないが、さらに魅力のある高山市になることを願う。

・疲れました。高山に生まれ、高山で育ち、この年になって文句なんて、自分達にも責任があると思います。偉そうな事を言うことは出来ません。子供や孫にも、自分の立場や人への思いやり等を教えてこなかったのではと思い知らされました。市内を車で移動していると、信号機が左右が赤でも、観光客（アジア系の人）は、平気で信号無視。行政の方々は観光客誘致に必至の様子です。観光客誘致の前に、受け入れる前にやる事があるのではと思います。私自身、どのような案があるわけではありませんが、職員の方々に知恵を出して下さい。生意気な事を申しましたが、無能な私が頭を働かせました。ごめんなさい。では、期待しております。

・高山市は素晴らしい観光地になりましたが、観光地で暮らしていくのは本当に大変なことと感じます。観光業に関わらない一般市民にとっては、生活し辛い部分がたくさんあります。大学や専門学校・製造業等の大手企業がほとんど無く、高校を卒業するとほとんどが他県に出て行く・・・もう長い間、皆の意見として出ていると思いますが、きちんと対応・結果を出して下さい！

・世界遺産登録等すると、観光客が増え町が汚れる。また、今のままが高山らしさ、ということもある。駅周りや町並みを綺麗にしたり工事をしたりすると、逆に景観が失われてしまう。無理に登録しない方がいい。人が増えりゃいいってもんではない。

・次世代を担う若い人達が、この町に住み、この町で働きたいと思えるような町にしていかなければならないと思う。観光だけに依存しては、観光に携わらない人達は恩恵を受けない。真庭市のように、再生エネルギー、自然エネルギーに対して、もっと強く深く思い切って取り組むことが必要ではないか。観光についても、町並みの保存だけでなく、新穂高のようにもっと大自然を利用した取り組みの方がリピーターが増えるのではないか。文化、芸術では「素人めでた大会」はどうか？原山で野外コンサートをやるのはどうか？今までと大きく変わった施策を行うべき。

・外国人観光客の流れが、このところも多いようです。実際、観光地外のスーパーや、ドラッグストアでも、外国のお客様を目にします。高山は今のところ、観光地としては安定しているように見受けられますが、その安心感なのか、視野が狭いのか、他の地方で早々に行われている自然エネルギーへの取り組みや、地元の住人が、地元を愛せるまちづくり（医療費が軽減したり、冬の灯油代が安くなったり、本当に高山への文化の想いをはせられたり…）がおざなりになっている感じ。挑戦が少ない土地だなあと感じます。観光客が、き続けたとしても、人口が減って、次を担う人々が少なくなったり、出て行かないような魅力ある都市づくり。それは決して大きな道路づくりだけではありません。お金をうまくまわして、今ある資源を探し出して使って行く、広い視野が必要かなと。

・私は農家の嫁です。子供達を育てながら、飛騨の野菜を少しでも多くの方に知ってもらい消費してもらえように、家族で頑張っています。子供達は高校を卒業後、各々他県へと進学・就職していきました。この飛騨高山では、希望する夢のある職場がありません。スーパーやコンビニばかり増えても、人口が減少してしまえば店もいずれ潰れます。娯楽施設も減る中で、何を楽しみに生活すれば良いのか。駅を新しく変えても、娯楽施設が少なければ、人々は都会に出てしまうのではないのでしょうか。最近、外国人ばかりが目につきます！！国際都市づくりがそんなに大切なのではないのでしょうか？治安が悪くなりませんか？不安になります。安心して農業が出来る環境を作して下さい。冬は高山市観光のガイドをしています。こんなにも高山市の観光に協力しているの

<p>に、不安になるのはなぜでしょうか。</p>
<p>・道路が良くなり、若者も外に出る事が多いです。観光にも力を入れ、沢山の方が利用して活性化されるのは良い事です。でも、残されてる若者や他の者が住み易くする方法があればと思います。映画館もプールもなくなり、市民の楽しみが無い高山。観光ばかりに力を入れている様に感じるのは、私だけでしょうか。長野県松本市には、ゴミ処理場の隣に市民プールがあります。余熱を利用しての室内型温水プール。クアアルプの様に山の上ではなく、自転車でも行けます。冬の雪が多い高山。もう少し冬のある他県の情報を集めてはどうでしょうか・・・？といってもそうは簡単にはいきませんね・・・。</p>
<p>・自然に囲まれた高山市に移住してきたばかりなので、これからもっと高山の良さを知り、感じて、よりよい街にふれていきたいと思います。伝統文化や町並み、歴史のある高山は、海外の人からも人気があり、観光の面でも賑わっていると思います。しかし、タバコ（喫煙）についてがとても気になります。東京から高山に移住して来て驚いたのは、喫煙者が多いことです。そして、飲食店でも喫煙する人とならない人とが分かれていない（分離されていない）ことが多々あり、タバコを吸わない身としては、長くお店にいることもなく外食は避けるようになりました。国内外から観光客が多く集まる高山なのに、喫煙（タバコ）できる環境が目立つのは、少し違和感があります。他県から来客があっても今では禁煙の方が多いので、外食できる（紹介できる）お店も限られています。子どもも小さいですし、妊婦の時も度々お店で嫌な思いをしたので、禁煙についてもう少し力を入れてほしいと思いました。店内の時間毎の分煙化や、市内に喫煙スペースを設けその場所のみでの喫煙等。タバコについてが今一番生活する上で悩みです。前向きに考えて頂き、良い対策をして下さい。</p>
<p>・公共工事（土木、建築）多く発注して下さい。</p>
<p>・城山の城跡に高山城を建てること。夢でしょうか。</p>
<p>・冬季の積雪や凍結は、生活する上でどうしてもマイナスになってしまう。冬の生活を良くする政策があったらいいなと思う。</p>
<p>・若者のハートを刺激するイベント等を開催し、市民としての意識改革を図る。</p>
<p>・誰もが参加出来るイベント等を利用して、高山市民全員で、まちづくりを行ってほしい。</p>
<p>・活力とやさしさのあるまちとは、具体的にどういうことなのか分からない。</p>
<p>・30歳も過ぎると仕事する場が無い。使ってもらえない。将来も見えない。死にたくなる。もっと高山も活気ある町、大手企業等あればありがたいのに。今は自分の将来が見えない。早く死にたい。</p>
<p>・ポストーあるところには近い距離にいくつもあるのに、石浦地区ではひだしんにあるのみで不便である。せめてコメリの辺りに一つ設置してほしい。</p>
<p>・高山市だけではないが、地方に住む人間は、給与は低いのに税金は上がる、年金は減らされる、保険料は上がる。庶民は苦しいだけ。</p>
<p>・高山市との合併後、光熱費等を高山市内の市民と統一されたが、正直きつい。合併した地域をもっと大切に、そこに住む人の事を考えまちづくりをして欲しい。</p>

・子育て支援が重要。学童保育は1～6年生まで必要。共働きには、子供を安心して預けられる場所が必須です。母親（妻）については女性の雇用の場、条件の向上が必要。男性も低賃金・低条件の労働が多い様に思いますが、女性は特に低賃金・低待遇・低条件だと思えます。これでは少子化は解決しないと思う。教育にかかる費用負担を軽減して欲しい。給食費も高い。義務教育にかかる費用は市が全て負担して欲しい。核家族には負担が多い事ばかりで、生活が困難！！町内会の事についても同様。自営業や農業の方は参加しやすいと思うが、共働きでは困難な事が多い。負担も大！！地域の住民にやさしい町づくりを！福祉の充実や高齢化への対策よりも、少子化・教育の問題を解決して欲しい。高齢者はイヤでもこれから増える一方！！負担は増すばかり。その充実を考えていたら、金がいくらあっても足りないし、生産年齢の負担が増すばかり！！これからの将来を担う子供にやさしい未来のための町づくりを考えて欲しい。

・旧上宝地域の成人式は、未だに元旦に行われています。毎年、その時期になると、成人を迎える子を持つ親達の不満を耳にします。特に女の子の場合、美容院でセットや着付けをお願いしないといけません、元旦営業している美容院は限られています。式会場までは車以外の交通手段もなく、親の送迎が必須です。特に奥飛騨地方は、ほとんどが観光業で、その時期に行う事はとても大変です。

今の時代、どの職場でも成人を迎えらるれば、休みを頂けます。一般の成人の祝日の日に、そろそろ変更を考えていただけないでしょうか。このような意見を言う機会が無かったので、こちらに書きましたが、宜しくお願ひします。

・息子が田んぼをやってくれるのかが心配。

・一番最初に何を行わなければならないか、わかっていると思いますが、今は対外的な事をやっているみたいです。確かに駅舎などでお客様をひこうとしているみたいですが、古都高山のイメージからして新設するのではなく・・・JRが変わらないのに！！一部改装で両側に出れる様になります。昨年の災害（雨・雪）に対しても、本当に動いている姿すらみえず残念です。本当に高山を良くしたいのなら、住民が元気になれる、安全対策がきちりできている様にして下さい！！町中であれだけ閉店している所をみれば、観光している人からすればガッカリしますよネ。商店がバシッと開いていて活気があれば・・・何で店が5～6時に閉店するの！！いないのは過去からやっているからそうになっているんですよ！！我々が高山に住み続けていきたいと思えらるとしたら、災害や教育面で安心できる環境と設備が必要です。これは常に話している事です。我々は役所を選べないですが、役所の人を選べるんですよ！！

・各種団体、役員が同じ人。役員に先生、公務員よりが多い事。もっと無名でも良く知っている人、熱意有る人の登用。行政の枠をはなれ、自由な発想。住民のエゴ認めない。声の大きい人が正論ではない。住民の協力。行政がなんでもできるわけではない。国全体にいえる事ですが、金持ちが、社会的地位の有る人が、えらいのではない。自分の仕事、立場に力を尽くしている人が立派。

・自分は60代で、今まで伝統の強い所で頑張りやってきた。今は緩和されてきたが、家族を作るのも考えられない位だった。結果我々には経済面、家族的なもの、あまり残らなかつた。今は「あれは何だったの？」という感じ。（旦那の頭が固く考えが古い。）身体も気も弱い人々でも、ちゃんと人間的にある意味ゆっくりと考えられるシステムが以前からあつたら、と考えます。今は随分改良されて来た。自分もこの時代に所帯を持っていたら・・・郊外行く程戸数が減り大変！！今後は合理的に残りの人生を過ごしたいです。例えば気の合う身内、他人と住居を共にするとか・・・要するに補助のない人はシステムに潰れるから、身近で支える人間を増やしたい。

・もっと近くに働く所があればありがたい。若者は仕事がなく車で40分程かけて旧高山へ通勤しなければならない。そのため、高山地区にアパートを借りて住んだり家を建て出て行ってしまふ。段々と田舎の町、高齢者ばかりになっていくのか。さびしいと思います。

・高山市民の為に日々の活動に感謝しています。私たちも2人きりの老夫婦です。(夫70才、妻63才)気持ちは若く元気ですが、周りの人たちを見ていると、いつれはこうなるのか?と思ひ淋しいところもあります。私たちが目標としているところ・・・周りの方たちに世話を掛けない、家族やそれぞれが自立している子供たちに心配させない・・・です。国では福祉等に力を入れています。もちろんとっても大切なことであり、必要です。又、医療費も大変です。これらの原因を見つけることも必要だと思います。いつまでも健康で、元気で、明るく、楽しく、若々しく、生活できることが、誰しもの願いです。食生活から始まり、運動、地域交流等、又病院に頼るだけの生活ではなく、私達市民が楽しく日々の生活に取り入れることで、結果として、高山市が明るく元気になれる。都会に行くと、緑が多くあることに気がきます。高山は山でありながら、緑を感じるところが少ないと思います。今は車で行くこともできますが、数年経ったら無理です。高山市が心から好きな私達。四季どこをとってもステキな高山市。この町を守っていくのは、市民一人一人の健康と気持ちです。将来の子供・孫のために、私たちの体力健康で明るい町をつくりたいです。安心して楽しめる場所を作ってほしいです。又、健康のための食生活活動もお願いします。

・岐阜市から移住して22年になります。とても住みやすく、転出した子供三人のうち、二人が地元へ帰って来ました。親としては、この地を選んでとても良かったと一安心しています。近年、Iターン、Uターン等、色々な施策で、人口増加につなげようとしていますが、小京都高山の良さは人の多さではありません。あまり背伸びをされず、現状の古き良き町並みを守る事が一番だと思います。今のままで、役所の方は不満かもしれませんが、住民にとっては大満足ですよ。50過ぎのオジさんより

・私は他県から嫁いできて、飛騨市に5年、高山に7年位になります。とても住みやすいと感じています。国内だけでなく、外国人観光客も多くなっている魅力あるまちなので、これらも、あたたかく優しい町並み、市民であるように個人としても努力したいです。

・100年～200年生活スタイルが変わらなかつたむかし、50年前の世の中と今!そしてこれから。100年が1年に感じられる移り変わりのスピード感。1年前の常識が通じなくなっていく、この世についていけなくなった。すべてが、むかしは良かった。(高山市そして市長はじめ職員はよくやっている)これからの子供、孫達の為に、我々はどうしてやったら良いのか真剣に考えなくては・・・!!夫婦が仲良くし家庭円満、そして班、町内、校下、地域が良くなければ「高山市」もよくなならない。「倫理」「ふる里」「親」「日本国」「日の丸」を大切にする教えを是非進めてもらいたい。原点を忘れていないか?自然に手を合わせる様に!!

・飛騨高山は全国各市の中でもトップレベルの名声を持った市だと思います。歴史・文化もあり、飛騨匠というブランド名もありますので、それを活かしてもっともっと発展してもらいたい。

<p>・希特な文化、根強い人気の自然、素直な子供たち。良い物がたくさんあるので素晴らしいと思います。でもあと少しだけ意識の向上を、昔から住んでいるからこそ甘えている人々に促して頂きたい。驚くほど人柄が良いのに、どこか「現状維持」意識ばかりで時間が止まっています。自らが持っている地力は強く上手く自然とつきあっているのに、もったいないなあ～といつも思います。中途半端にごっそり先行技術を取り入れて、変な町並みになった他地域は沢山あります。失敗例はあるので、焦らず計画的に少～しずつ。今は言われても何にも思いませんが「昔働いていたんだ～」と友人に言うと「何でわざわざソコ？」と100%言われました。そんなふうに驚かれない町になってくれることを・・・願います。</p>
<p>・高山独自の味わい深い良い魅力を育てて、販売に繋げていかないと長続きしない。大型チェーン店にはない、丁寧な接客やものづくり、野菜づくり、森づくり、店づくり、人づくりが、やがて高山の魅力になると思う。大きな変革、土地整備や建設は行政の力を借りるべきと思います。「小さな花がたくさん咲いている町」が私の理想の町です。さらに、何度でも訪れたい町になるよう、少しハードルを高くした観光地づくりも目指す姿では（金銭的にも体験的にも）。</p>
<p>・市長様、毎日ご苦労様です。年寄と病人と、毎日どうにか生きて居ります。毎日、お月様に手を合わせ、毎日元気で居ります。この年になるまで、甘辛の人生でしたが、草花を見ながら暮らします。</p>
<p>・昭和3年88歳になります。老いの私如きに指名を頂きました事を、とても光栄に存じますが、十分の思いが届きましたかどうか、とても不安です。これからは、ますます高齢者が多くなっていく時代ですから頑張ってみました。2歳から現在まで大きな戦争三度、そして敗戦、そして今現在は、又別の時代に代わり、高齢化時代に入ってまいります。こうした初めての時代にお入りになる、市長様のご苦労が目に入ります。素晴らしい指導力をお持ちの市長様に、心からありがとうございますと申し上げたいと思います。他の都市に恥ずかしくない高山です。どうぞ職員の皆様も、其々お体を大切になさいますて、ご活躍あらんことをお祈り致しております。</p>
<p>・高齢者故、何も出来ないが、皆さんに迷惑をかけずに生きていく事が大切だと思います。まず、人は一人では生きていけない、皆様のお陰だと思います。</p>
<p>・お陰様にて、夏は扇風機をつけ、冬はストーブやこたつで温まり、車で買い物に街まで行け、贅沢はしなくても食べたい物を食べ、毎日を楽しく、時には悲しく、何とか暮らせるこの高山。10年位、都会生活をして来ましたが、住みやすい、根っからの高山人です。有りがたい事でございます。</p>
<p>・私は、高山に40年近く住んでおりますが、現在、家の近くに医者、ストアー、コンビニ等、増えました。年寄りの私には、有りがたい事です。運転も出来ず、自転車にも乗れませんので、生活する上で一番大切な事と思います。どんな場所で生活しても、不便のない住み良いまちになる事を祈ります。</p>
<p>・困っている時に、迅速な対応が出来るまちにしてほしいです。</p>
<p>・高山市のまちが、これからも住みよい安全なまちであります様に心から願い、観光に農業に発展していきます様、よろしくお願い致します。</p>
<p>・将来に向けた「まちづくり」は、もっと若い世代が中心となって、活動が出来るようになるといいと思います。</p>
<p>・今の子供達が将来暮らしやすい土地にして欲しいです。</p>
<p>・子供が希望が持てる市。</p>
<p>・将来の子供達が、高山市を好きだと言えるような「まちづくり」を考えてほしい。</p>

<p>・私は高山が大好きです。将来戻ってきたとき、もっと住みやすく良いまちになっているよう願っています。</p>
<p>・このアンケートが、しっかりと反映される事を望みます。本気で頑張る若者を、もっと柔軟に応援できる体制をつくってほしいです。イベントなどを行う若い人の中には、素行の良くない人も目立ちますが、彼らを排除するだけでは高山は良くなりません。なぜ、18歳～24歳位の間の若い人達が、岐阜や名古屋などに出て行こうとするのかを考え、若い人にとっても、魅力のあるまちをつくってほしい。頑張ってください！！</p>
<p>・若者が帰って来たいと思える高山市のまちづくり。</p>
<p>・暮らしやすい高山市になりますこと、お祈りします。</p>
<p>・飛騨の高山市が発展する事と、皆の健康を祈念し頑張っていこう。</p>
<p>・田舎らしくあればいい。</p>
<p>・國島市長の施策に期待しています。</p>
<p>・高山に移り住んで30年になりますが、自然風土、伝統はとても素晴らしく、魅力的なまちだと思っています。故郷の親戚や友人も、大変気に入って、度々遊びに来てくれます。ただ、冬場の生活は、年を重ねる程に、不便さ、不自由さを感じ始め辛くなってきました。近い将来には、故郷の暖かい土地へ引越すことも考えています。高齢者が、車が無くても、快適に便利に生活出来る環境が整う事を願っています。</p>
<p>・私は85歳という高齢である為、現状が良く分かっていません。吉城郡が高山市となり、合併という形で新しい住所となりました。今は、ディサービス利用者となり、自分の生活も色々と変化して来ました。ディサービスでの利用日では、大変良くしていただき、介護士の方には大変感謝して居ります。今も生活が出来ているのも、家族や福祉の方々のお陰であると感じています。家は、現在息子夫婦と三人暮らしで、孫三人は他市に別々に生活しております。将来的にも同居する可能性はゼロに等しいと思っており、さみしいと感じています。周辺は田畑に囲まれ、小動物が出現するような場所で、周りにも昔のような人影も少なくなりました。こんな場所は今後は、良くなる可能性は全くないと感じますし、人口の減少をくい止められることもない。高齢化して行くこの地域に、若者も希望を持っているとは思えず、力があるなら、若いうちに便利の良い地域での生活を望んでいます。</p>
<p>・大学進学等で高山から出ても帰って来たいと思える環境。労働条件、賃金等の改善や、林業や農業等、一人では無理なので、地域で特産品や、ブランド等、新しいものが出来るといいと思います。年老いても安心して暮らせるような、愛される高山にしたいし、なってもらいたいと思います。</p>
<p>・子育て世代への現金支給は、やや疑問に思います。それよりも、若い時から働き続けた方がメリットが多くなる給与体制や、企業環境をつくってほしいと思います。シルバー世代でも、意欲的に働きたい方達には、頑張れる仕事に就いてもらえるよう、行政から取り組んでもらえれば、ディサービスやゲートボールで時間をつぶしに行くよりも、ずっと健康でいられます。他人同士でも助け合って、子供や老人と関わり、それぞれ出来るだけ働いて生活にゆとりを持ち、今の若い世代が、将来、働き者で心優しい大人になって、増えていく老人達を支えていけるまちになってほしいと思います。</p>

・今回のアンケートを頂いた事で、行政の仕事がいかに広い範囲なのか、実感しました。細々とも、家族支えあっているまちであればと思う反面、その為には、支えて頂かなければ生活できない事もあり、福祉や、補助、助成が多ければ、そこに甘えを感じる人もいます。又、大きく考えると世界中でテロや、I Sなど、どうしようもなく大きな不安もある。何を一番とは言えないと思いました。でも、子供から老人まで、人間らしく暮らしていける最低限度の保障と、世界に大きく夢を羽ばたき、働く事（生きがい）の持てるまちにしてほしいと思います。